

平成 30 年度
指標達成度調査
(事業の効果に関する市民意識調査)
報告書

平成 31 年 3 月

札幌市

目次

1. 調査実施の概要.....	4
(1) 調査の目的.....	4
(2) 内容.....	4
(3) 設計.....	4
(4) 回収結果.....	4
(5) 回答者の特性.....	5
(6) 本調査結果利用上の注意.....	6
2. 調査結果の詳細.....	8
(1) 「暮らし・コミュニティ」について.....	8
子どもを生き育てやすい環境.....	8
仕事と家庭との調和.....	10
子どもの権利の保障.....	12
相談相手や情報収集手段の有無.....	14
相談等により不安や負担を軽くすることができる環境.....	16
保育サービスの利用.....	18
ひとり親家庭の生活に対する不安.....	20
障がい者の暮らしやすさ.....	24
生活や健康福祉の相談先.....	28
孤立死の心配.....	31
継続的に行っているまちづくり活動.....	33
市民参加の機会.....	37
市政への関心や参加.....	47
市政への参加しやすさに必要な事柄.....	49
海外交流への関心.....	52
行ったスポーツ（運動）.....	54
スポーツの頻度.....	61
直接観戦したスポーツ.....	63
札幌の水道.....	66
水道に関する取り組み.....	72
(2) 「産業・活力」について.....	75
自然・社会・文化体験をしやすい環境.....	75
(3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について.....	77
生ごみ減量・リサイクルの取り組み.....	77
「生物多様性」の言葉の意味.....	79
環境配慮活動について.....	81
(4) 「戦略を支える都市空間」について.....	88
住環境の満足度.....	88

公共交通の満足度..... 90

3. 調査票..... 92

1. 調査実施の概要

1. 調査実施の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意識を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「産業・活力」について
- ③ 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ④ 「戦略を支える都市空間」について

(3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域： 札幌市内
- ② 調査対象： 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数： 4,000 人
- ④ 調査方法： 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間： 平成 31 年 2 月 1 日（金）～2 月 22 日（金）
- ⑥ 抽出方法： 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数： 4,000

回収数（率）： 1,447（36.2%）

(5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答
全 体		1,447	38.7	58.8	2.5
性別	男性	560	100.0	0.0	0.0
	女性	851	0.0	100.0	0.0
	無回答	36	0.0	0.0	100.0
年代別	18～19歳	16	50.0	50.0	0.0
	20～29歳	92	38.0	62.0	0.0
	30～39歳	185	30.8	68.6	0.5
	40～49歳	269	33.1	66.9	0.0
	50～59歳	226	35.8	63.7	0.4
	60～64歳	144	37.5	61.8	0.7
	65～69歳	180	49.4	50.0	0.6
	70歳以上	306	48.0	50.0	2.0
	無回答	29	0.0	10.3	89.7
居住区別	中央区	179	39.7	60.3	0.0
	北区	192	39.1	59.9	1.0
	東区	177	37.3	62.7	0.0
	白石区	150	40.7	59.3	0.0
	厚別区	106	37.7	61.3	0.9
	豊平区	160	36.3	63.8	0.0
	清田区	84	47.6	50.0	2.4
	南区	107	38.3	60.7	0.9
	西区	159	40.3	58.5	1.3
	手稲区	97	41.2	57.7	1.0
	無回答	36	11.1	13.9	75.0

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数の分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

2. 調査結果の詳細

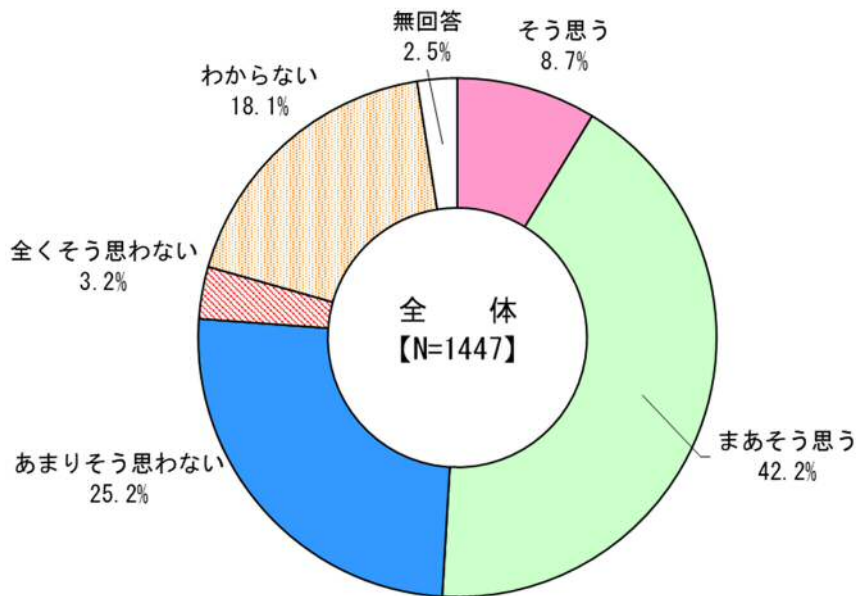
2. 調査結果の詳細

(1) 「暮らし・コミュニティ」について

子どもを生き育てやすい環境

【問 1】あなたは、札幌市が、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」（8.7%）と「まあそう思う」（42.2%）を合わせた割合（50.9%）が全体の5割強を占めている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が42.2%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が25.2%、「わからない」が18.1%、「そう思う」が8.7%、「全くそう思わない」が3.2%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で42.1%、女性で42.4%となっている。

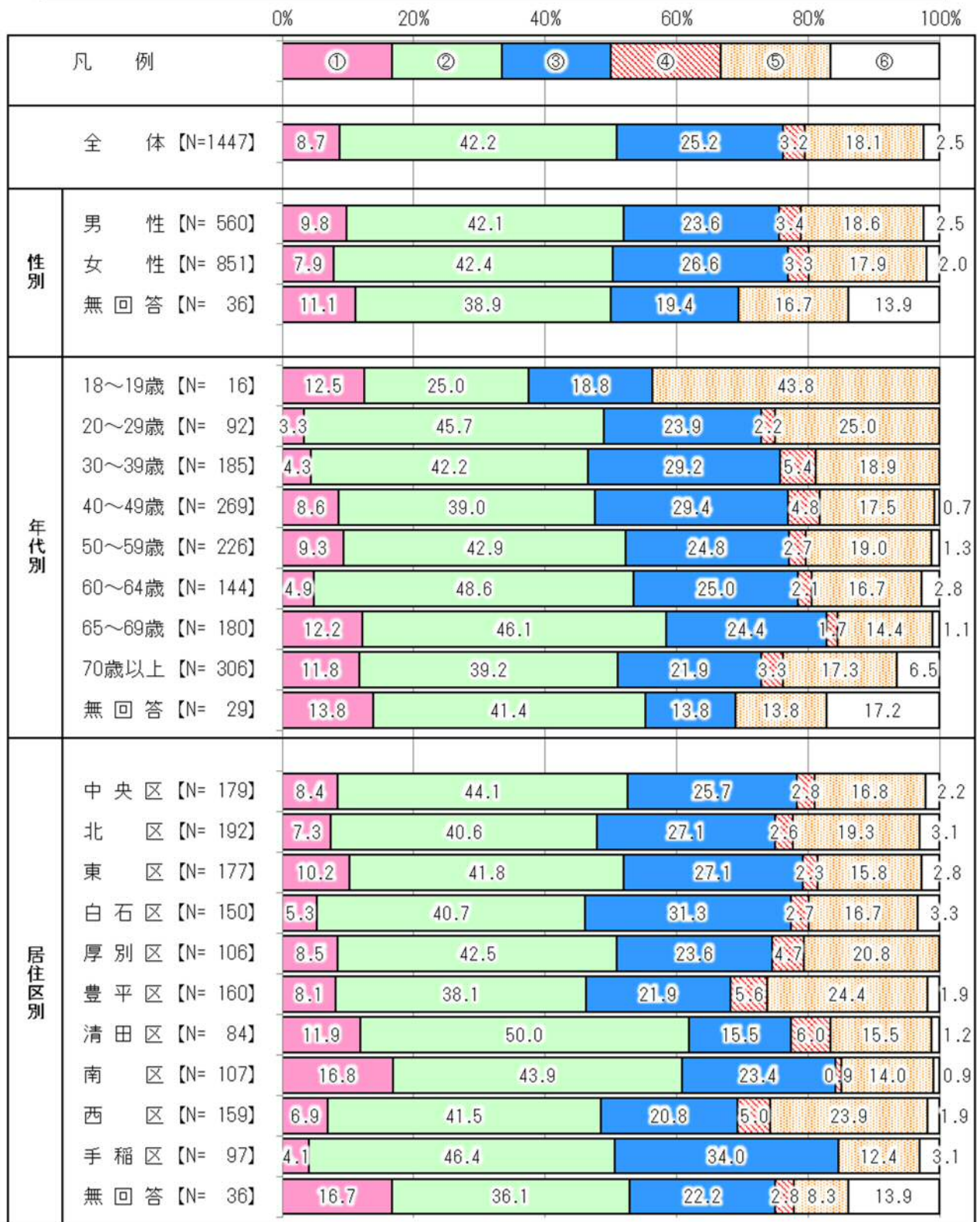
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代において「まあそう思う」が最も高く、その中でも60歳代前半が48.6%と最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、その中でも清田区が50.0%と最も高くなっている。「そう思う」は南区で16.8%と最も高く、手稲区で4.1%と最も低くなっている。

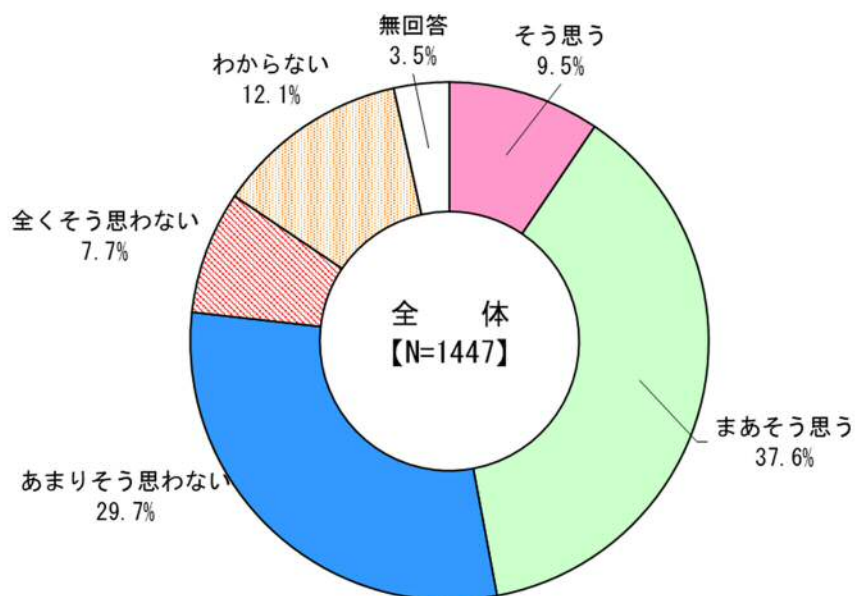
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



仕事と家庭との調和

【問 2】あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

仕事と家庭との調和については、「そう思う」(9.5%)と「まあそう思う」(37.6%)を合わせた割合(47.1%)が約5割となっている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が37.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が29.7%、「わからない」が12.1%、「そう思う」が9.5%、「全くそう思わない」が7.7%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が37.0%、女性が38.2%となっている。

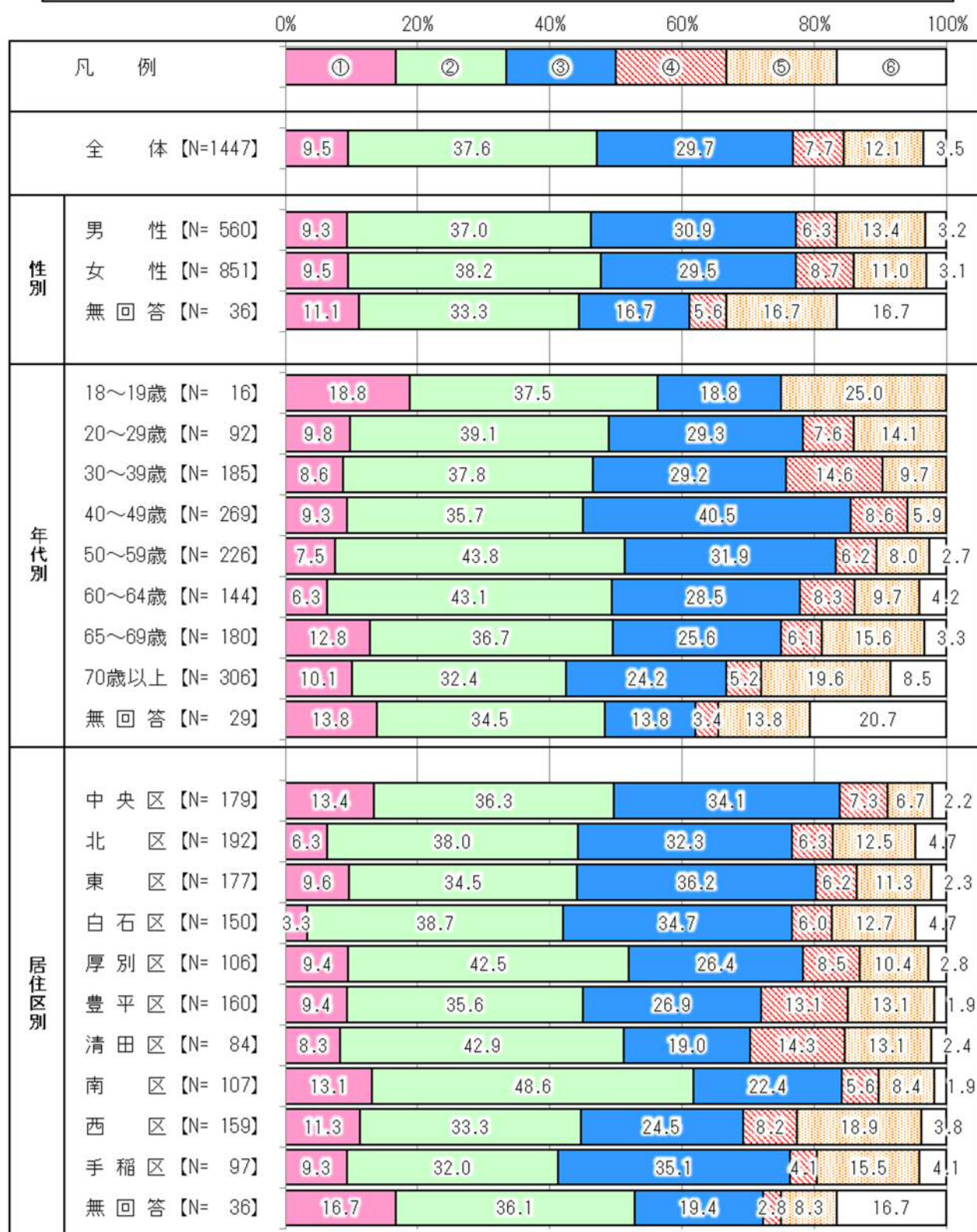
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも50歳代で「まあそう思う」が最も高く(43.8%)、70歳以上で最も低くなっている(32.4%)。「あまりそう思わない」は40歳代で最も高く、40.5%となっている。

【居住区別】

東区と手稲区を除く全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも南区で「まあそう思う」が最も高い(48.6%)。「あまりそう思わない」は東区で最も高く、36.2%となっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

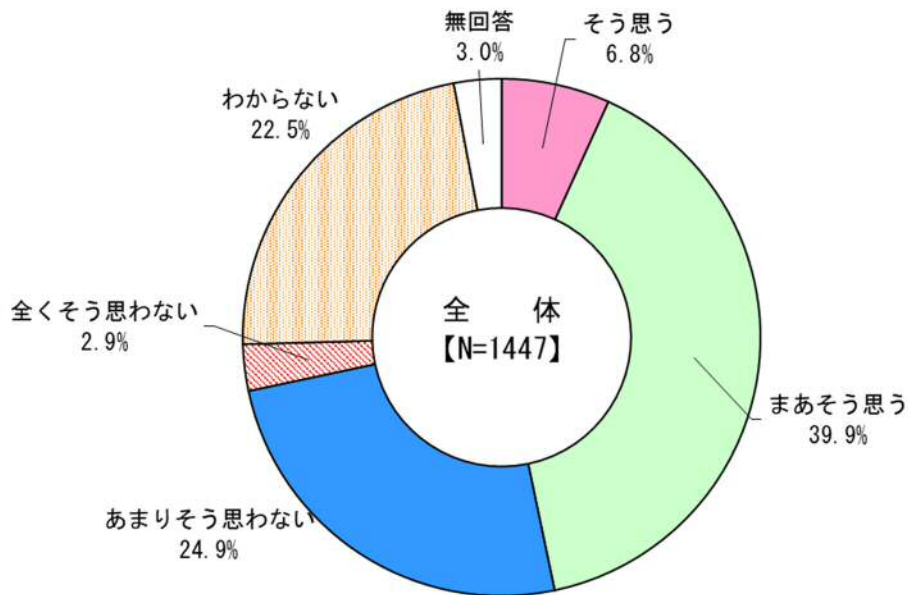


子どもの権利の保障

【問 3】あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利の保障については「そう思う」(6.8%)と「まあそう思う」(39.9%)を合わせた割合(46.7%)が全体の約5割となっている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が39.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.9%、「わからない」が22.5%、「そう思う」が6.8%、「全くそう思わない」が2.9%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で37.7%、女性で41.8%となっている。

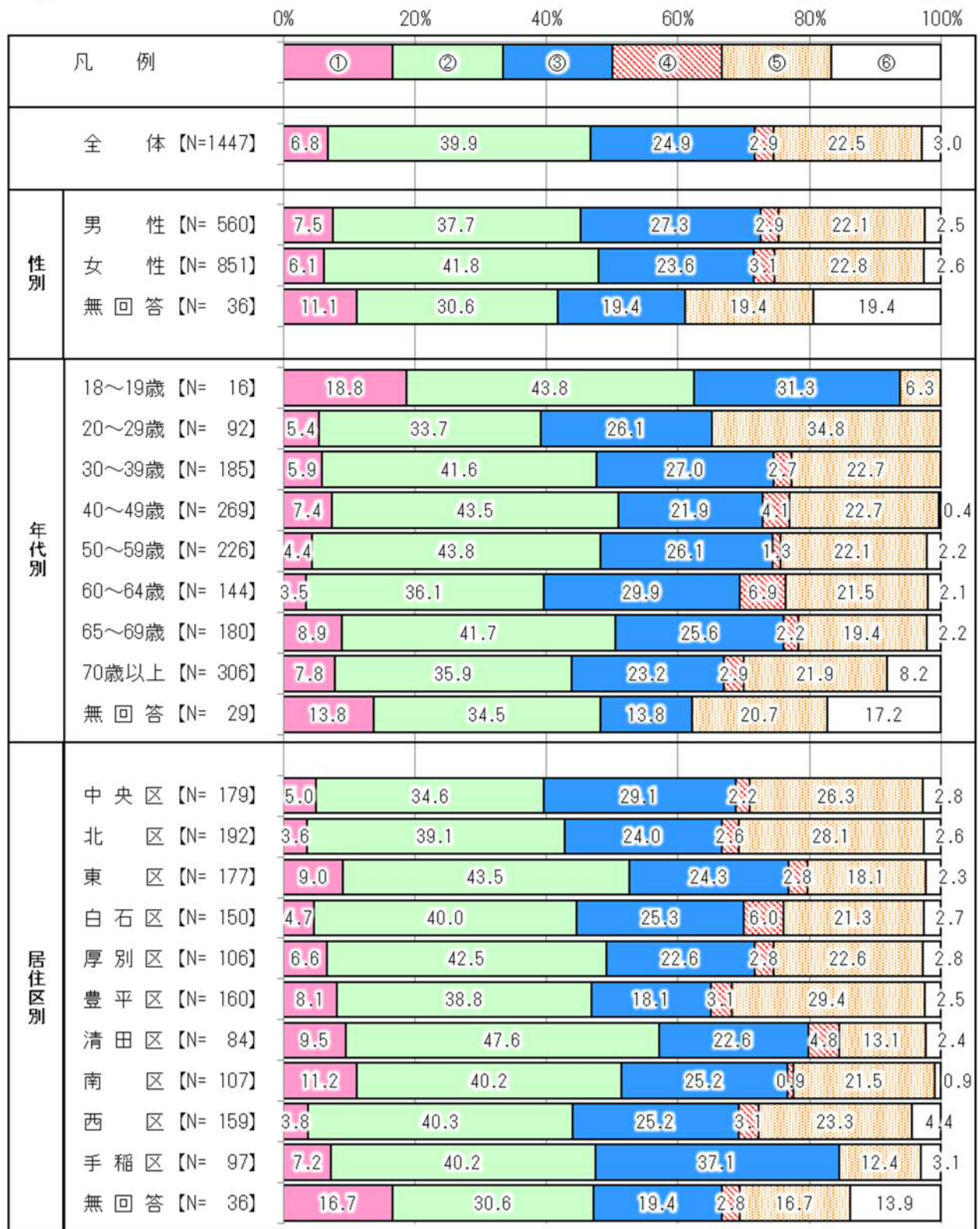
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも50歳代で43.8%と最も高く、20歳代で33.7%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも清田区で47.6%と最も高く、中央区で34.6%と最も低くなっている。手稲区では「あまりそう思わない」が37.1%と他区よりも比較的高くなっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

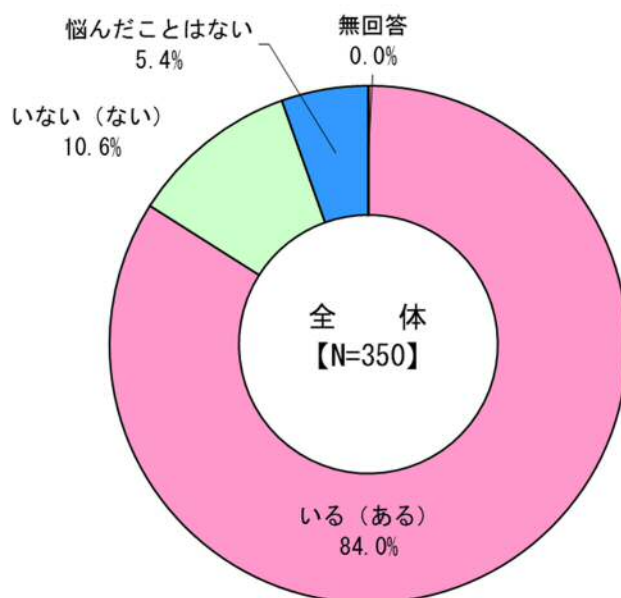


相談相手や情報収集手段の有無

【問 4】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無について、「いる（ある）」が 84.0%と全体の 8 割強を占めている。



【対象者全体】

「いる（ある）」が最も高く（84.0%）、次いで「いない（ない）」が 10.6%、「悩んだことはない」が 5.4%となっている。

【性別】

男女ともに「いる（ある）」が最も高く、男性が 70.4%、女性が 90.7%となっている。男性よりも女性が高くなっている。男性では「いない（ない）」が 17.6%、女性では 6.8%と、女性より男性が高くなっている。

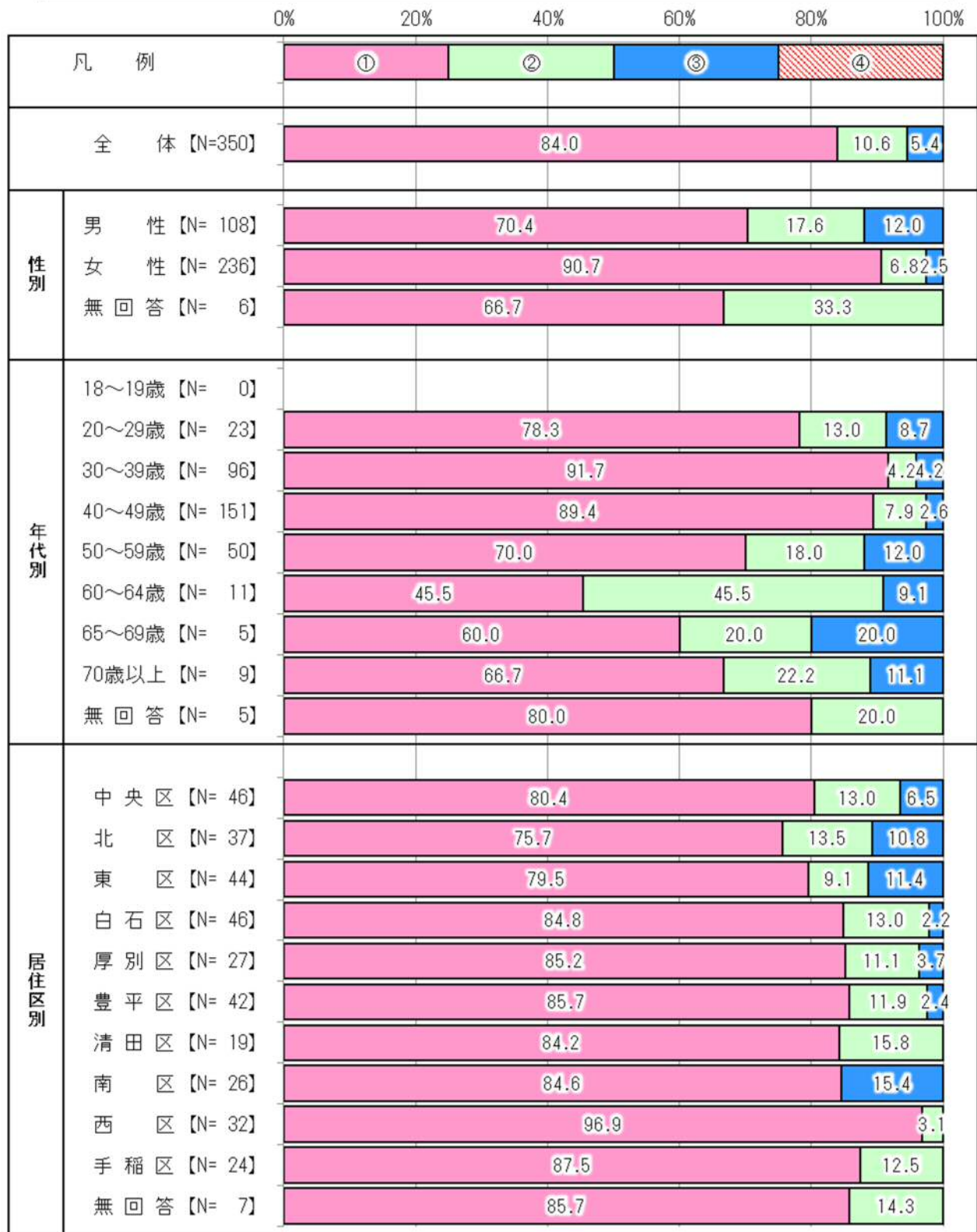
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

30 歳代から 50 歳代いずれも「いる（ある）」が最も高い。その中で最も低いのは 50 歳代（70.0%）で、次いで 20 歳代（78.3%）となっている。（※その他年代は少数のため参考値とする）

【居住区別】

全居住区で「いる（ある）」が最も高くなっている。

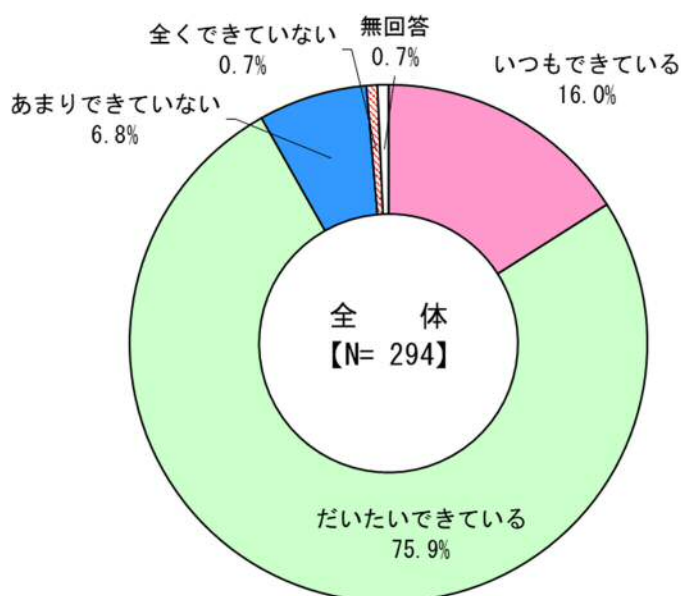
①いる（ある） ②いない（ない） ③悩んだことはない ④無回答



相談等により不安や負担を軽くすることができる環境

(2) (1)で「1.いる(ある)」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「いつもできている」(16.0%)と「だいたいできている」(75.9%)と合わせた割合(91.9%)が全体の9割を占めている。



【対象者全体】

「だいたいできている」が75.9%と最も高く、次いで「いつもできている」が16.0%、「あまりできていない」が6.8%、「全くできていない」が0.7%となっている。

【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が75.0%、女性が75.7%となっている。女性では「いつもできている」が17.8%、男性が11.8%と男性より女性が高くなっている。

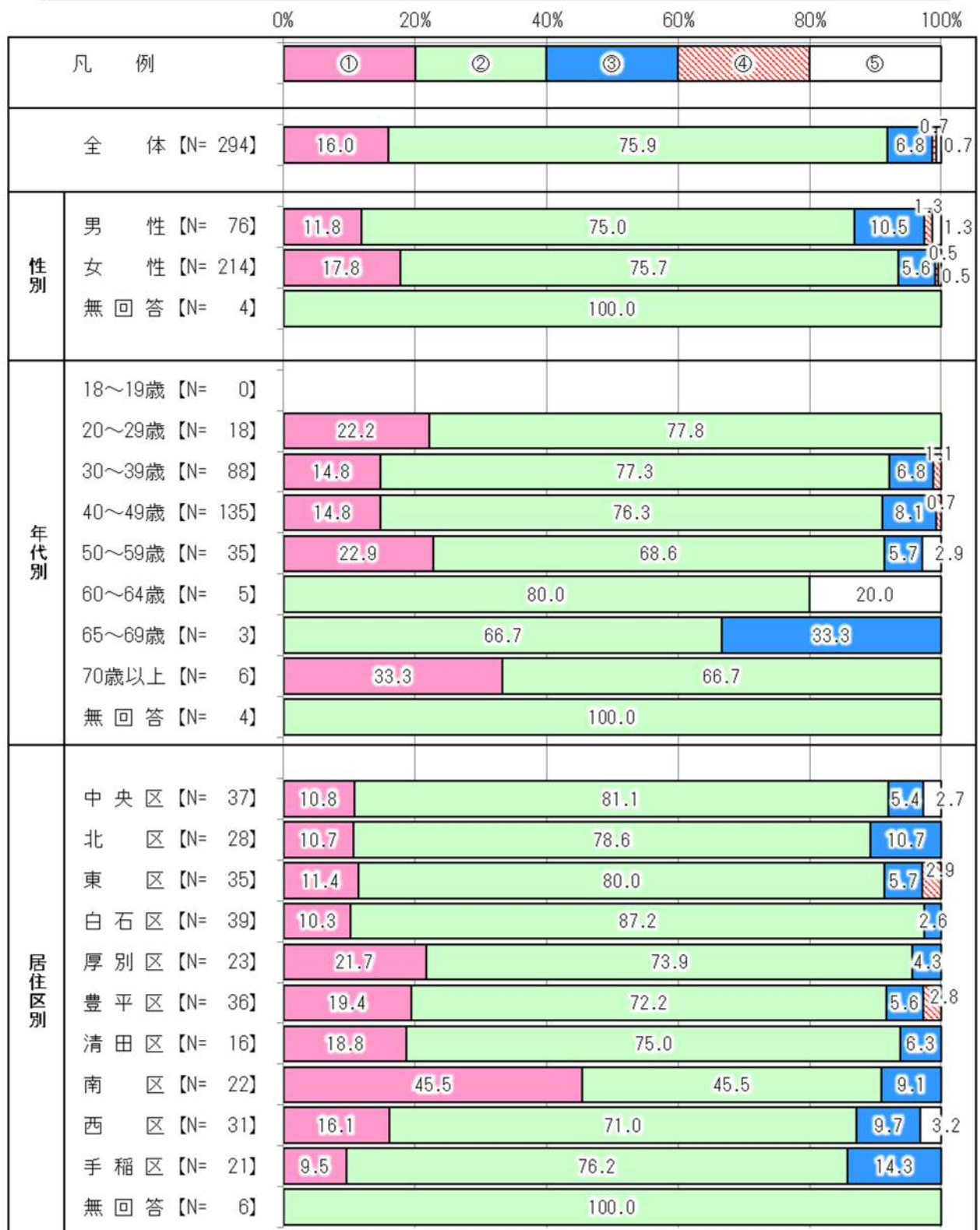
【年代別】

30歳代から50歳代で「だいたいできている」が最も高くなっている。(※その他の年代は少数のため参考値とする)

【居住区別】

南区を除く全居住区で「だいたいできている」が最も高くなっている。南区では「いつもできている」が他居住区と比べて高く(45.5%)、「だいたいできている」と同率になっている。

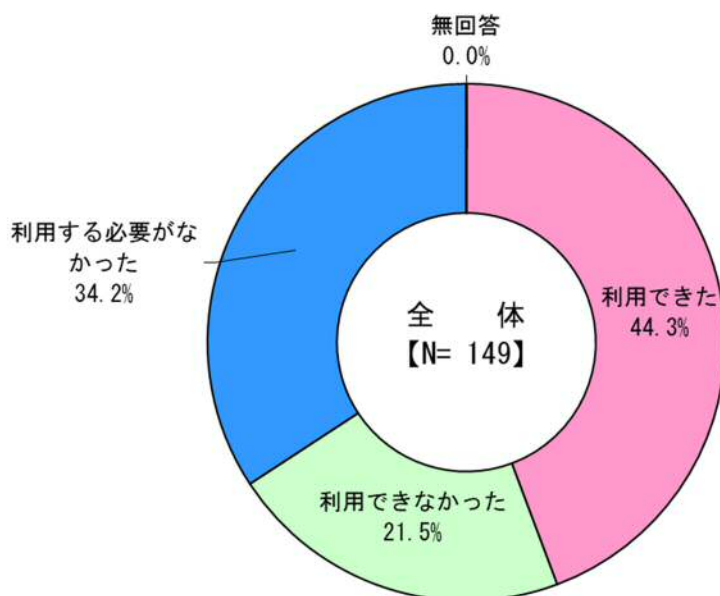
①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答



保育サービスの利用

【問 5】 この設問は小学校入学前のお子さんがある方のみお聞きします。あなたは、この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

保育サービスの利用については、「利用できた」が44.3%、「利用できなかった」が21.5%となっている。



【対象者全体】

「利用できた」が44.3%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が34.2%、「利用できなかった」が21.5%となっている。

【性別】

男女ともに「利用できた」が最も高く、男性が40.4%、女性が47.0%となっている。

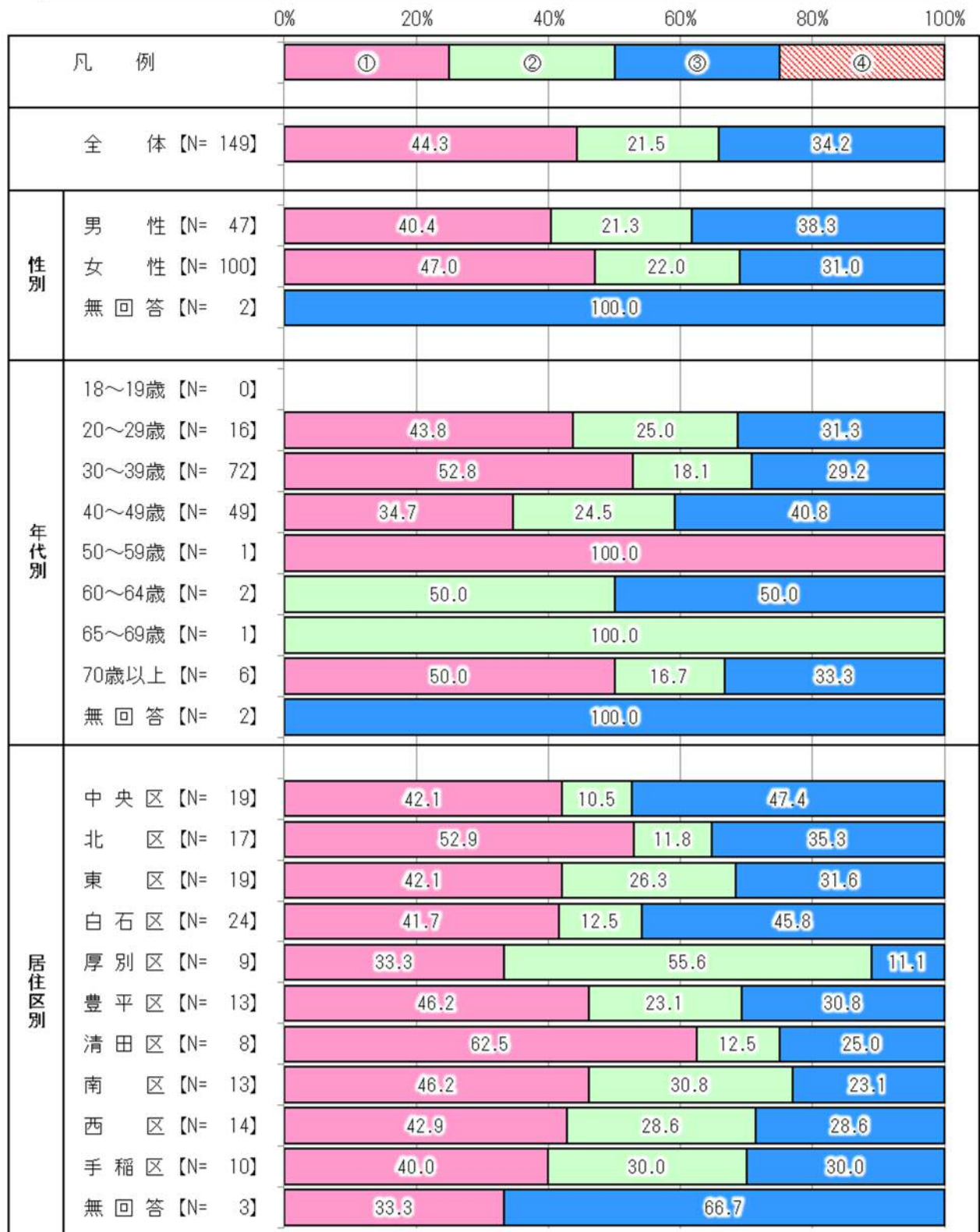
【年代別】

30歳代から40歳代までいずれも「利用できた」が最も高く、30歳代が52.8%、20歳代が43.8%となっている。（その他年代は少数のため参考値とする）

【居住区別】

（※全居住区は少数のため参考値とする）

①利用できた ②利用できなかった ③利用する必要がなかった ④無回答

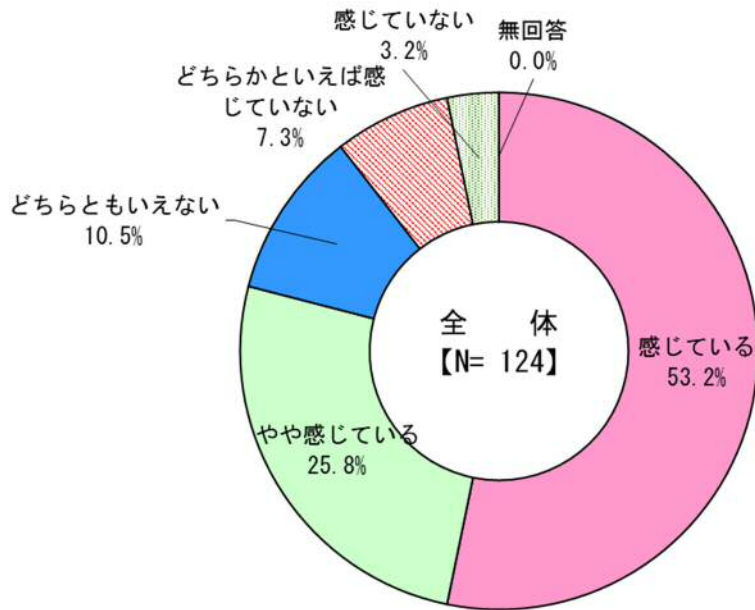


ひとり親家庭の生活に対する不安

【問 6】 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭の今後の生活に対する不安については、「感じている」が 53.2%となっている。



【対象者全体】

「感じている」が 53.2%と最も高くなっている。次いで「やや感じている」が 25.8%、「どちらともいえない」が 10.5%、「どちらかといえば感じていない」が 7.3%、「感じていない」が 3.2%となっている。

【性別】

男女ともに「感じる」が最も高く、男性が 44.4%、女性が 57.9%と、男性より女性の方が高くなっている。

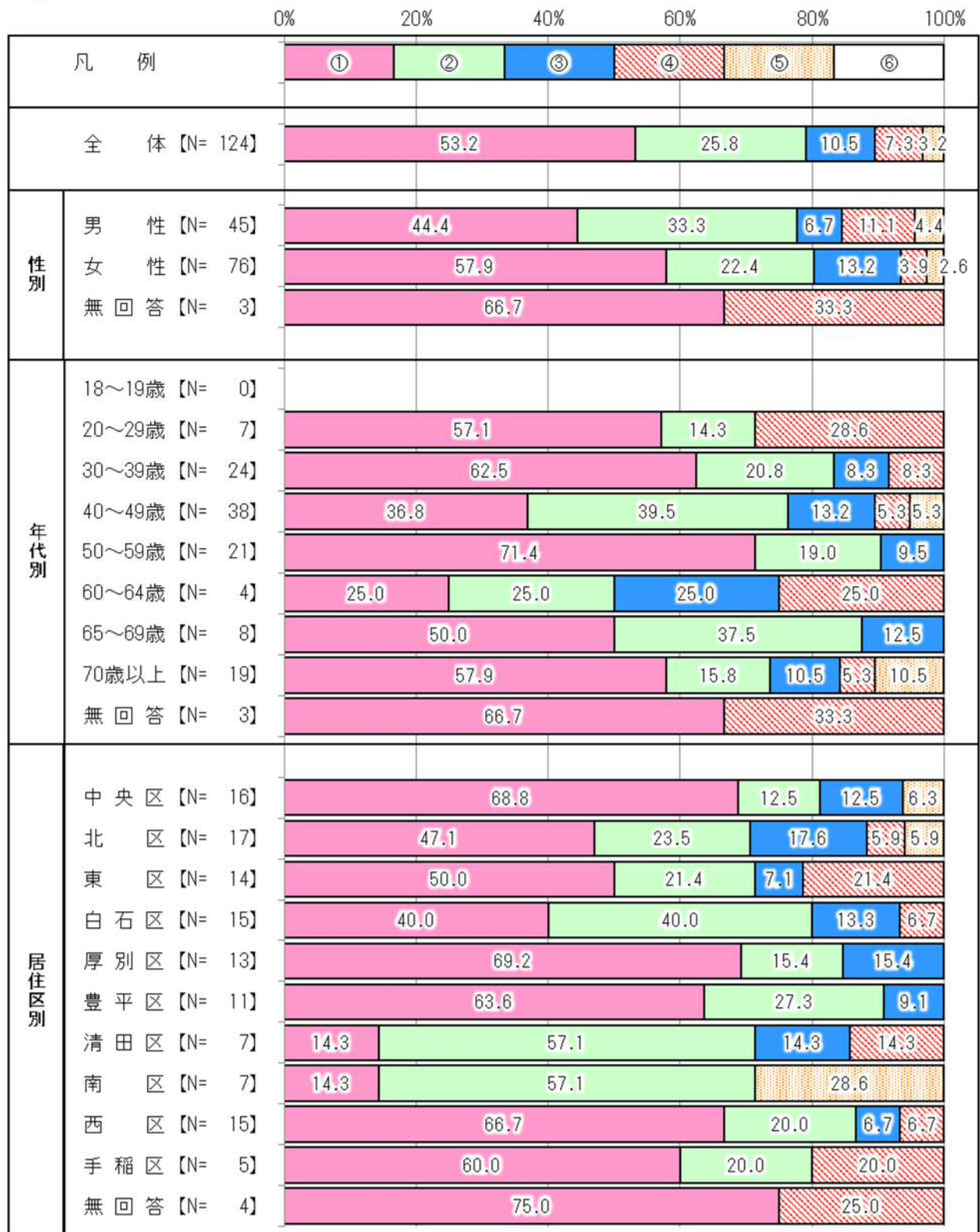
【年代別】

30 歳代や 50 歳代に比べ、40 歳代では「感じている」が 36.8%と低く、「やや感じている」が 39.5%と高くなっている。（※その他年代は少数のため参考値とする）

【居住区別】

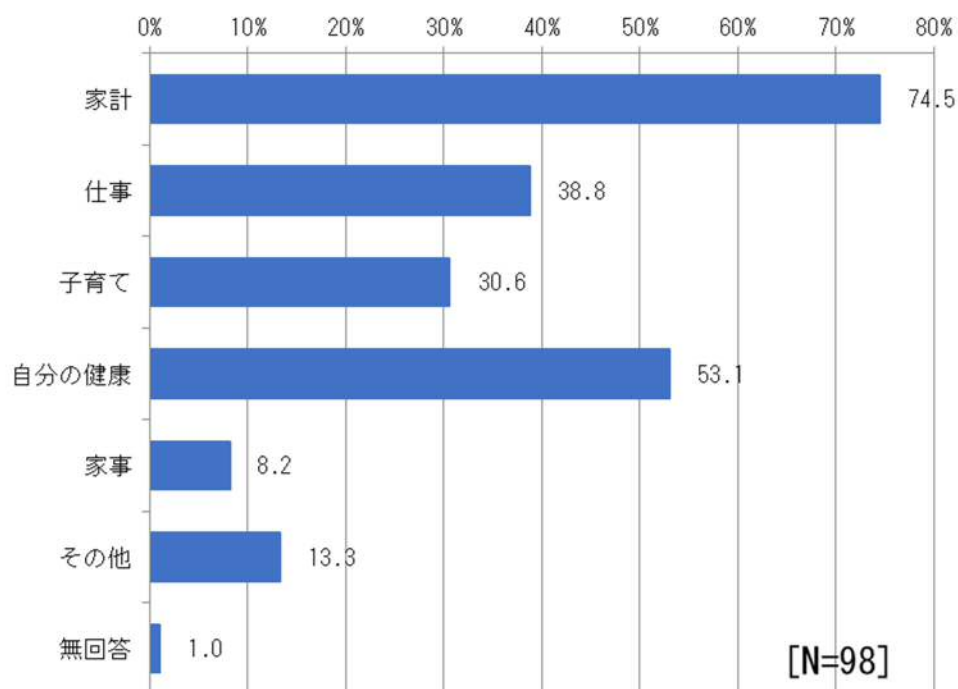
（※全居住区は少数のため参考値とする）

①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない ④どちらかといえば感じていない
 ⑤感じていない ⑥無回答



(2) (1)で「1. 感じている」または「2. やや感じている」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「家計」が 74.5%とも高く、次いで「自分の健康」が 53.1%となっている。



【対象者全体】

「家計」が 74.5%と最も高く、次いで「自分の健康」が 53.1%、「仕事」が 38.8%、「子育て」が 30.6%となっている。

【性別】

男女ともに「家計」が最も高く、男性が 65.7%、女性が 80.3%と、男性より女性の方が高くなっている。「自分の健康」「仕事」は男性の方が、「子育て」は女性の方が高くなっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

30 歳代から 50 歳代において「家計」が最も高くなっているが、40 歳代では 72.4%と他の年代よりも低くなっている。(※その他年代は少数のため参考値とする)

【居住区別】

(※全居住区は少数のため参考値とする)

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答
全体		98	74.5	38.8	30.6	53.1	8.2	13.3	1.0
性別	男性	35	65.7	45.7	22.9	57.1	5.7	2.9	-
	女性	61	80.3	36.1	36.1	52.5	9.8	18.0	1.6
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	5	60.0	60.0	60.0	80.0	20.0	-	-
	30～39歳	20	90.0	45.0	75.0	55.0	20.0	20.0	-
	40～49歳	29	72.4	48.3	27.6	37.9	10.3	6.9	-
	50～59歳	19	89.5	47.4	15.8	47.4	-	15.8	-
	60～64歳	2	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-
	65～69歳	7	71.4	14.3	14.3	57.1	-	14.3	-
	70歳以上	14	50.0	7.1	-	78.6	-	14.3	7.1
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
居住区別	中央区	13	69.2	46.2	15.4	61.5	7.7	7.7	-
	北区	12	75.0	41.7	33.3	41.7	8.3	8.3	-
	東区	10	80.0	50.0	50.0	40.0	10.0	20.0	-
	白石区	12	75.0	16.7	25.0	83.3	16.7	8.3	-
	厚別区	11	81.8	18.2	27.3	45.5	9.1	9.1	-
	豊平区	10	80.0	40.0	10.0	40.0	-	10.0	-
	清田区	5	40.0	60.0	-	60.0	-	20.0	-
	南区	5	100.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-
	西区	13	76.9	30.8	53.8	46.2	7.7	23.1	7.7
	手稲区	4	50.0	75.0	25.0	100.0	-	-	-
	無回答	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

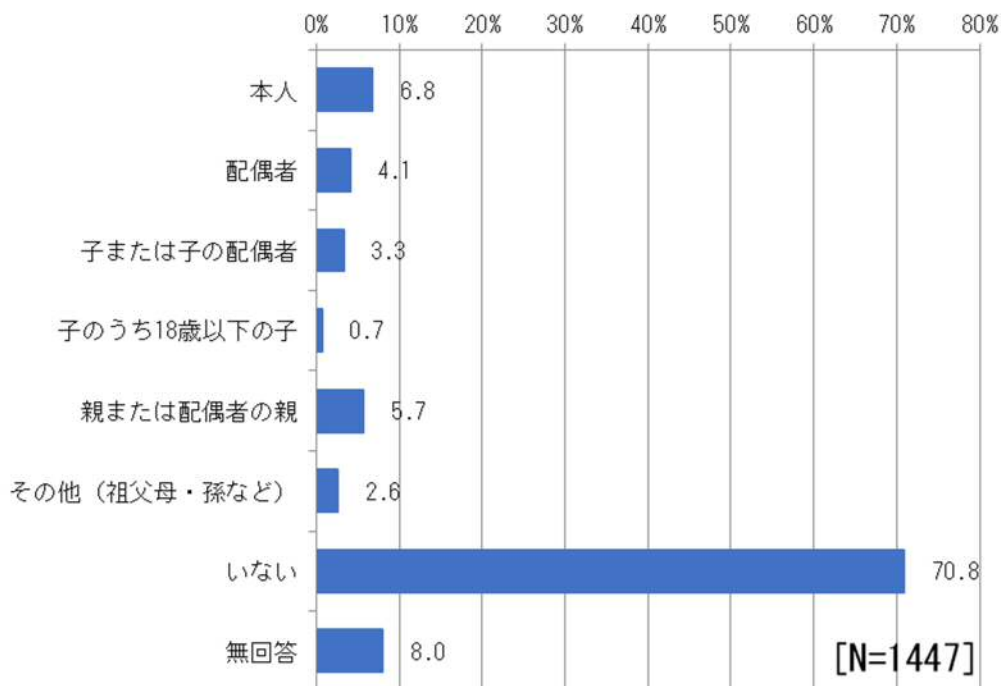
対象者全体の値と比較し10%以上低い

障がい者の暮らしやすさ

【問 7】障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。)

障がい者との同居については、「いない」が70.8%と全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

「いない」が70.8%と最も高くなっている。次いで、「本人」が6.8%、「親または配偶者の親」が5.7%、「配偶者」が4.1%となっている。

【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、男性が70.7%、女性が72.3%となっている。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「いない」が最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高くなっている。

(単位：%)

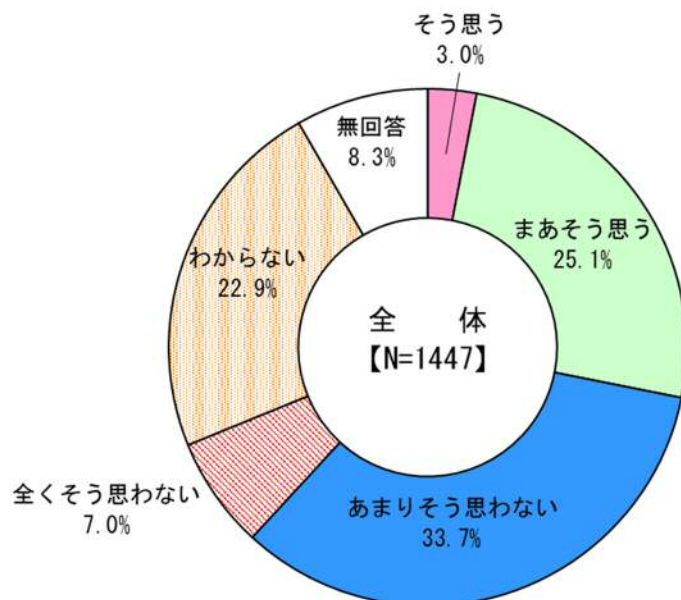
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	その他(祖父母・孫など)	いない	無回答
全体		1,447	6.8	4.1	3.3	0.7	5.7	2.6	70.8	8.0
性別	男性	560	8.4	3.2	2.3	0.5	5.7	2.9	70.7	7.7
	女性	851	5.4	4.7	3.9	0.8	5.5	2.6	72.3	7.2
	無回答	36	13.9	2.8	5.6	-	8.3	-	38.9	33.3
年代別	18～19歳	16	6.3	-	6.3	-	-	-	87.5	-
	20～29歳	92	6.5	2.2	-	-	4.3	3.3	81.5	2.2
	30～39歳	185	4.9	2.2	1.6	2.2	6.5	4.3	78.9	2.7
	40～49歳	269	3.3	2.6	1.5	1.5	7.4	3.7	77.7	3.7
	50～59歳	226	5.8	2.2	4.0	0.9	7.1	0.9	74.8	6.2
	60～64歳	144	5.6	4.9	3.5	-	12.5	1.4	67.4	7.6
	65～69歳	180	5.0	7.8	4.4	-	4.4	2.2	68.9	9.4
	70歳以上	306	13.4	6.2	4.9	-	0.7	2.9	58.2	15.7
	無回答	29	6.9	3.4	10.3	-	6.9	-	44.8	31.0
居住区別	中央区	179	5.6	1.7	2.2	-	4.5	2.8	76.5	8.4
	北区	192	9.9	7.3	2.6	1.0	5.2	3.6	69.8	4.7
	東区	177	4.5	3.4	3.4	-	3.4	1.7	73.4	11.3
	白石区	150	8.0	5.3	2.0	0.7	2.7	3.3	74.0	6.0
	厚別区	106	4.7	6.6	2.8	0.9	4.7	2.8	69.8	10.4
	豊平区	160	6.3	1.9	3.1	0.6	5.0	3.1	73.8	8.1
	清田区	84	3.6	6.0	3.6	2.4	7.1	-	72.6	4.8
	南区	107	8.4	6.5	4.7	0.9	11.2	0.9	60.7	9.3
	西区	159	6.9	1.9	3.8	0.6	8.2	2.5	69.2	6.9
	手稲区	97	7.2	2.1	6.2	1.0	7.2	4.1	69.1	4.1
	無回答	36	11.1	2.8	5.6	-	8.3	2.8	50.0	27.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかどうかについては、「あまりそう思わない」(33.7%)と「全くそう思わない」(7.0%)を合わせた割合(40.7%)が4割となっている。



【対象者全体】

「あまりそう思わない」が33.7%と最も高くなっている。次いで、「まあそう思う」が25.1%、「わからない」が22.9%、「全くそう思わない」が7.0%、「そう思う」が3.0%となっている。

【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性が30.0%、女性が36.7%となっている。

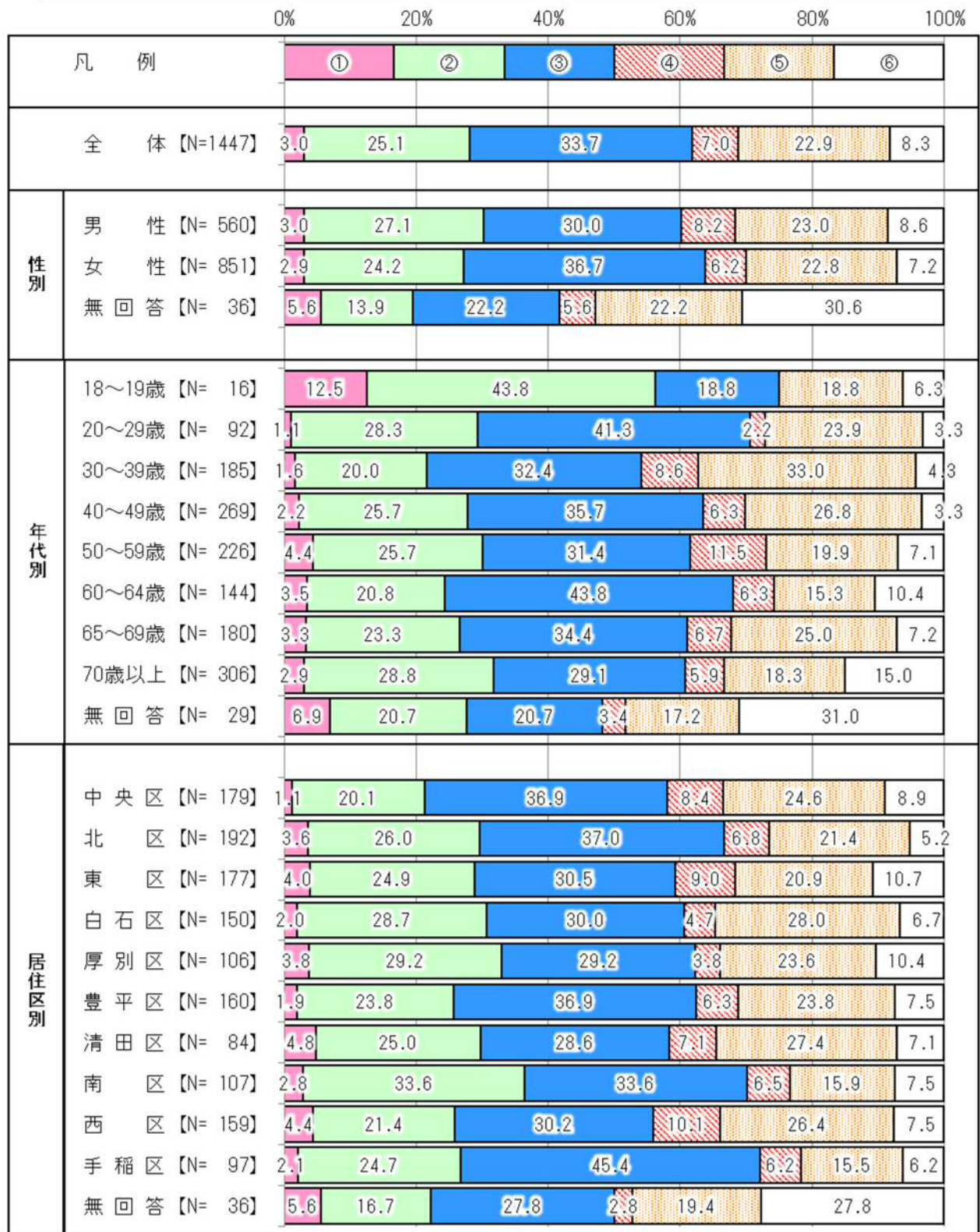
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。特に60歳代(43.8%)と20歳代(41.3%)で高くなっている。

【居住区別】

豊平区を除く全居住区で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。その中でも手稲区が45.4%と最も高く、清田区が28.6%と最も低くなっている。厚別区では「まあそう思う」と「あまりそう思わない」が29.2%で同率となっている。

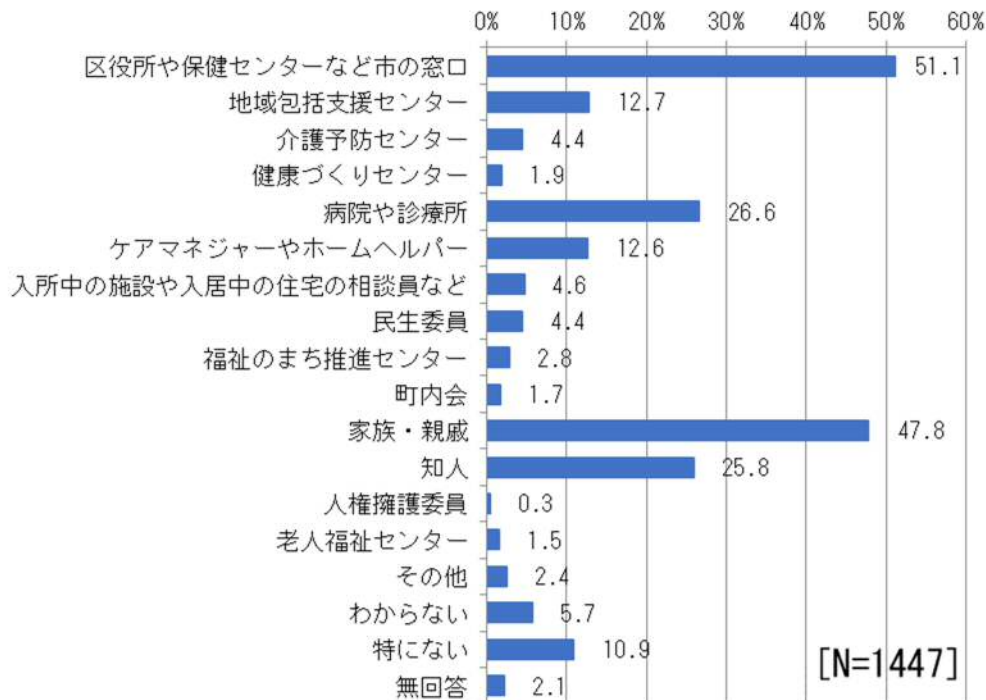
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



生活や健康福祉の相談先

【問 8】あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 51.1%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 47.8%となっている。



【対象者全体】

「区役所や保健センターなど市の窓口」が 51.1%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 47.8%、「病院や診療所」が 26.6%となっている。

【性別】

男女ともに「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、男性が 48.2%、女性が 53.7%となっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代から 30 歳代は「家族・親戚」が最も高くなっている。40 歳代以降では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高くなっている。

【居住区別】

北区、清田区、西区、手稲区では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高くなっている。南区では「家族・親戚」と同率（53.3%）となっており、その他の区では「家族・親戚」が最も高くなっている。

	回答者数	窓口 区役所や保健センターなど市の	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院や診療所	ケアマネジャーやホームヘルパー	入所中の施設や入居中の住宅の相談員など	民生委員	
全体	1,447	51.1	12.7	4.4	1.9	26.6	12.6	4.6	4.4	
性別	男性	560	48.2	10.0	4.6	2.3	28.4	11.1	4.3	6.1
	女性	851	53.7	14.2	3.8	1.5	25.6	13.4	4.6	2.9
	無回答	36	33.3	19.4	16.7	2.8	22.2	19.4	11.1	11.1
年代別	18～19歳	16	18.8	18.8	6.3	6.3	18.8	12.5	-	-
	20～29歳	92	52.2	3.3	1.1	2.2	23.9	3.3	2.2	-
	30～39歳	185	49.7	4.3	1.6	-	22.2	4.9	2.7	-
	40～49歳	269	56.9	7.4	1.1	0.7	27.9	8.9	2.6	0.7
	50～59歳	226	54.0	13.7	2.7	1.3	29.2	16.8	4.0	2.2
	60～64歳	144	53.5	17.4	4.2	1.4	29.2	22.9	7.6	2.8
	65～69歳	180	47.8	15.6	2.8	2.8	25.0	13.9	6.1	8.9
	70歳以上	306	48.7	20.6	11.4	3.9	28.1	14.7	6.5	11.1
	無回答	29	31.0	10.3	13.8	-	17.2	13.8	6.9	6.9
居住区別	中央区	179	48.6	12.3	2.8	2.8	20.7	8.9	3.9	1.1
	北区	192	51.0	17.7	5.2	2.1	24.5	18.2	5.2	6.3
	東区	177	49.2	9.0	5.6	1.7	31.6	10.2	3.4	7.9
	白石区	150	54.7	10.7	5.3	2.0	25.3	14.7	4.7	6.7
	厚別区	106	45.3	6.6	5.7	1.9	28.3	11.3	2.8	0.9
	豊平区	160	45.0	15.0	4.4	1.3	28.8	8.8	2.5	5.6
	清田区	84	63.1	15.5	1.2	-	23.8	15.5	6.0	3.6
	南区	107	53.3	14.0	3.7	1.9	29.9	18.7	5.6	3.7
	西区	159	52.8	14.5	3.8	2.5	28.9	10.7	7.5	1.9
	手稲区	97	62.9	11.3	3.1	1.0	26.8	10.3	5.2	3.1
	無回答	36	27.8	8.3	11.1	2.8	19.4	16.7	5.6	5.6

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

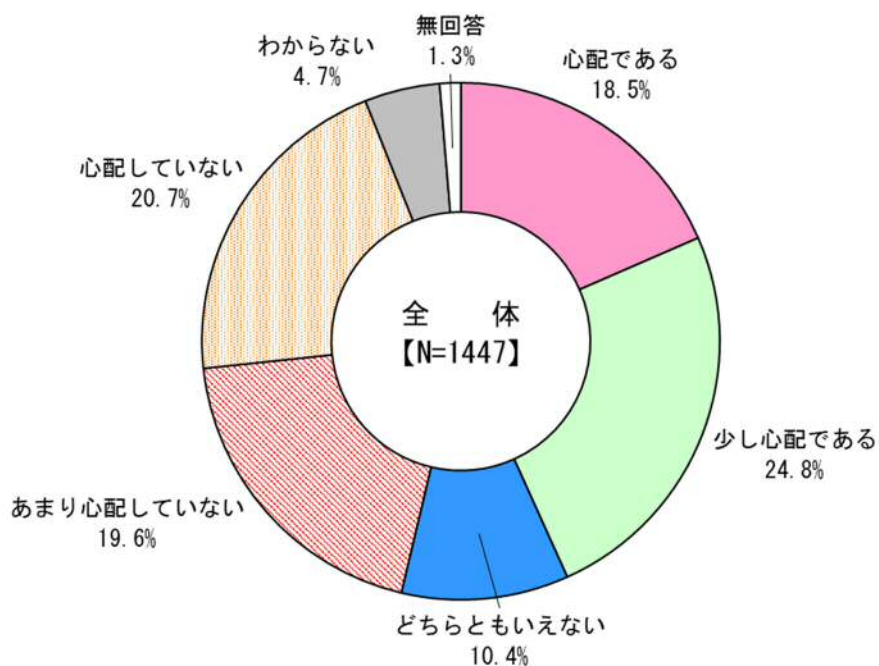
		回答者数	福祉のまち推進センター	町内会	家族・親戚	知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答
全体		1,447	2.8	1.7	47.8	25.8	0.3	1.5	2.4	5.7	10.9	2.1
性別	男性	560	3.4	2.5	42.5	21.8	0.4	2.3	2.9	5.2	14.5	1.3
	女性	851	2.2	0.9	52.3	29.1	0.2	0.7	2.2	6.1	8.1	2.0
	無回答	36	5.6	8.3	25.0	11.1	2.8	5.6	-	2.8	19.4	19.4
年代別	18～19歳	16	6.3	-	87.5	25.0	-	-	6.3	6.3	6.3	-
	20～29歳	92	2.2	-	60.9	29.3	-	-	4.3	7.6	8.7	-
	30～39歳	185	1.1	0.5	67.6	40.0	0.5	-	3.8	6.5	7.6	-
	40～49歳	269	1.5	0.4	50.2	30.1	-	0.4	2.2	8.2	9.7	0.7
	50～59歳	226	1.8	0.4	51.3	31.4	-	1.3	2.7	4.9	8.8	0.9
	60～64歳	144	2.8	3.5	38.9	25.0	-	-	1.4	3.5	11.1	2.8
	65～69歳	180	2.2	2.8	38.3	19.4	0.6	1.7	2.2	6.1	12.2	1.7
	70歳以上	306	5.9	3.3	37.6	14.1	1.0	4.2	1.6	3.9	14.4	4.6
	無回答	29	3.4	6.9	20.7	10.3	-	3.4	-	3.4	20.7	20.7
居住区別	中央区	179	3.9	-	51.4	31.3	-	1.1	5.0	7.3	12.8	1.7
	北区	192	4.7	2.1	44.8	26.0	0.5	1.0	1.6	5.2	11.5	2.1
	東区	177	3.4	1.7	51.4	23.7	-	1.7	1.7	6.8	7.9	2.8
	白石区	150	1.3	2.0	56.0	30.0	-	2.0	2.0	5.3	10.0	1.3
	厚別区	106	2.8	-	47.2	29.2	0.9	-	1.9	5.7	13.2	-
	豊平区	160	2.5	0.6	47.5	29.4	-	3.1	2.5	7.5	9.4	2.5
	清田区	84	-	4.8	46.4	21.4	-	-	1.2	4.8	11.9	1.2
	南区	107	1.9	2.8	53.3	22.4	0.9	1.9	3.7	4.7	9.3	0.9
	西区	159	2.5	1.9	42.8	21.4	1.3	0.6	1.9	4.4	11.3	3.1
	手稲区	97	2.1	1.0	41.2	22.7	-	2.1	3.1	4.1	8.2	-
無回答	36	2.8	8.3	25.0	13.9	-	2.8	-	2.8	22.2	16.7	

孤立死の心配

【問 9】あなたは、孤立死※について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

孤立死の心配について、「心配である」(18.5%)と「少し心配である」(24.8%)をあわせた割合(43.3%)が約4割を占めている。また「心配していない」(20.7%)と「あまり心配していない」(19.6%)をあわせた割合(40.3%)も約4割となっている。



【対象者全体】

「少し心配である」が24.8%と最も高くなっている。次いで、「心配していない」が20.7%、「あまり心配していない」が19.6%、「心配である」が18.5%、「どちらともいえない」が10.4%となっている。

【性別】

男性「心配していない」が23.8%と最も高く、女性は「少し心配である」が25.7%と最も高くなっている。

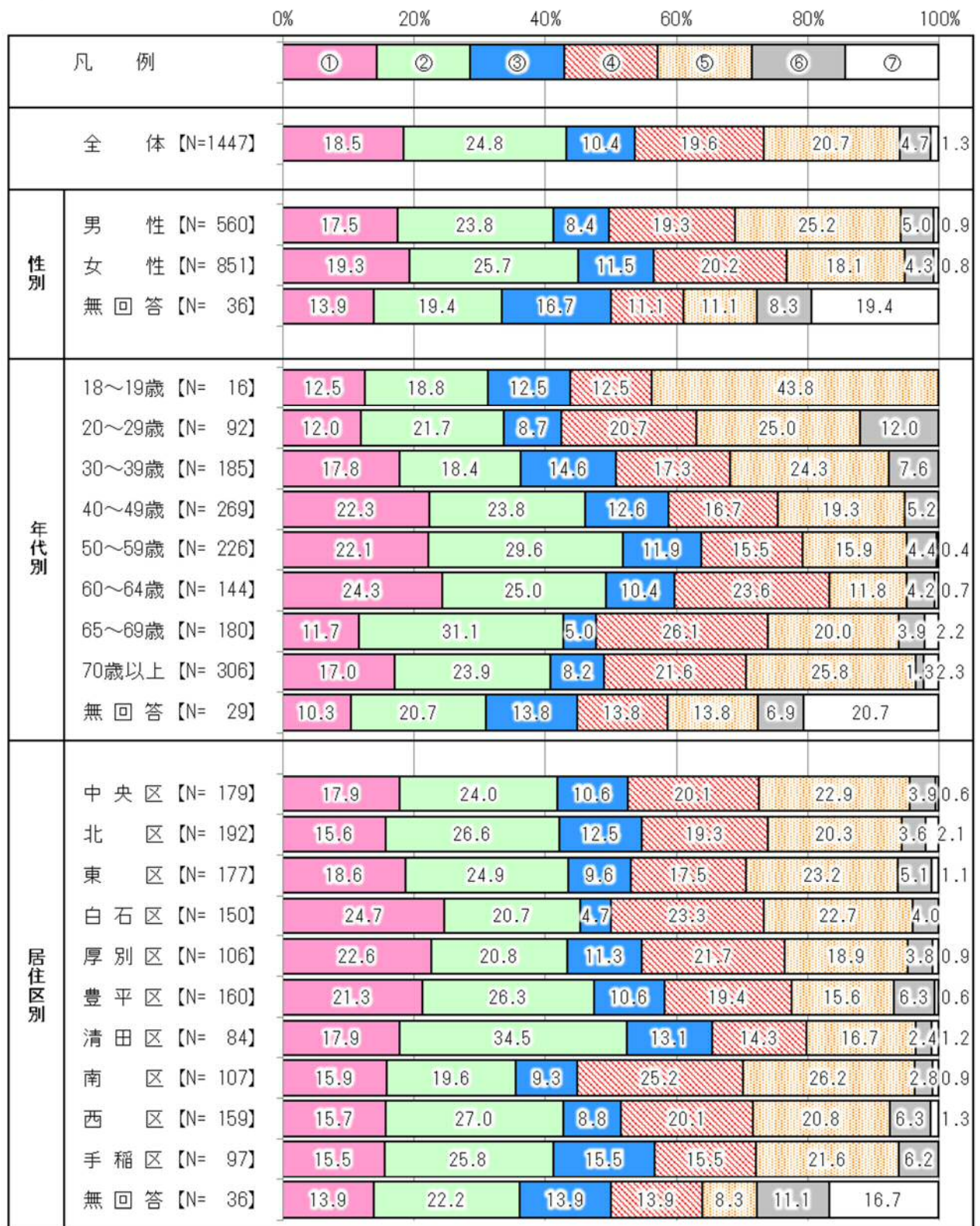
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代、30歳代、70歳以上において「心配していない」が最も高くなっている。その他の年代では「少し心配である」が最も高くなっており、特に60歳代前半(31.1%)で最も高くなっている。

【居住区別】

中央区、北区、東区、豊平区、清田区、西区、手稲区では「少し心配である」が最も高くなっている。白石区と厚別区では「心配している」が、南区では「心配していない」が最も高くなっている。

①心配である ②少し心配である ③どちらともいえない ④あまり心配していない
 ⑤心配していない ⑥わからない ⑦無回答

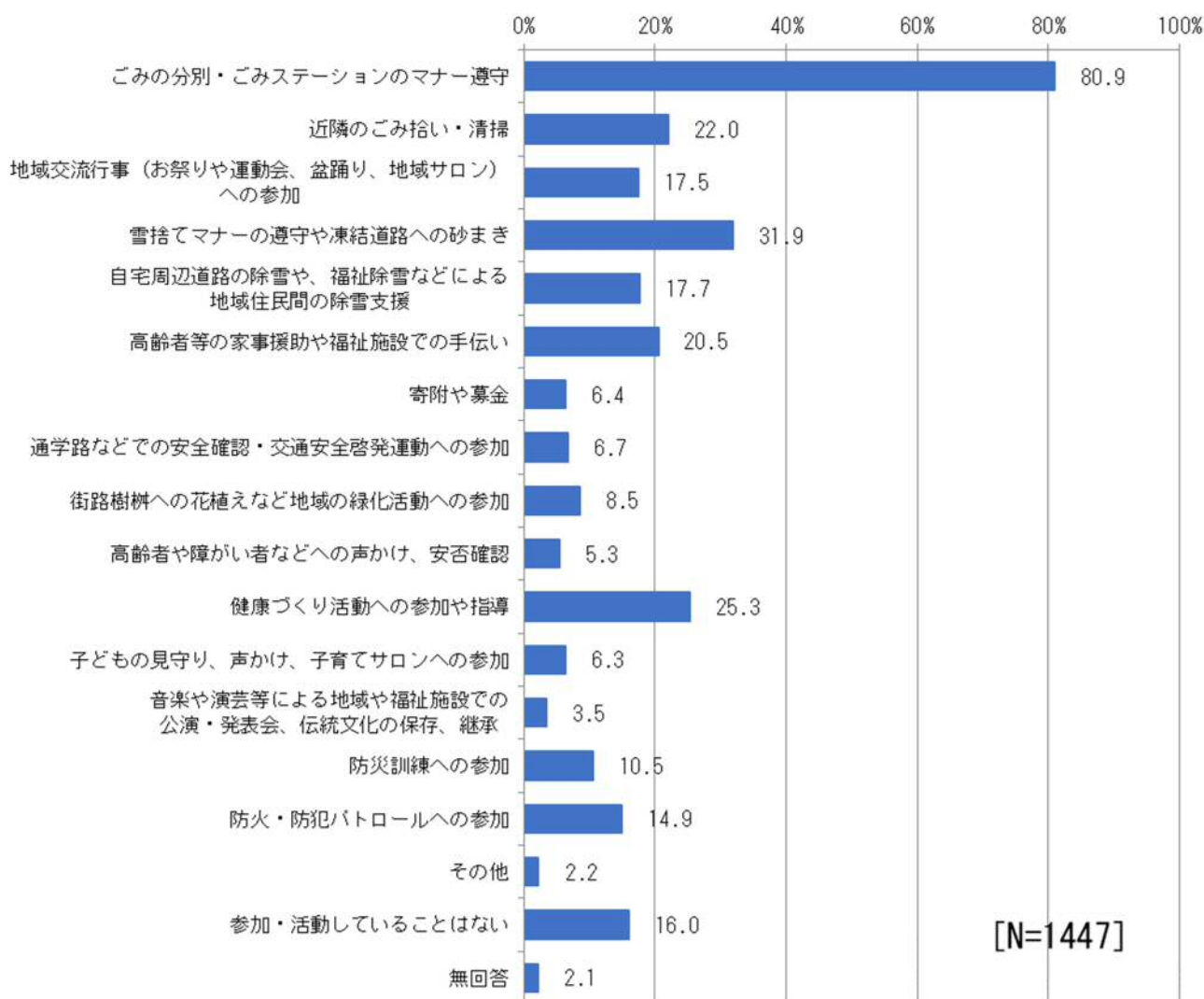


継続的に行っているまちづくり活動

【問 10】次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

* まちづくり活動とは、地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹への花植え等の活動を行ったりすることです。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が80.9%と最も高くなっている。



【対象者全体】

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が 80.9%と最も高くなっている。次いで、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 31.9%となっている。

【性別】

男女ともに「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性が 80.0%、女性が 82.5%となっている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。20歳代と30歳代では「近隣のごみ拾い・清掃」が他の年代よりも低いが、70歳以上は他の年代よりも高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。手稲区では「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が、南区では「近隣のごみ拾い・清掃」「地域交流行事への参加」「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」が他の区よりも高くなっている。一方で、中央区では「近隣のごみ拾い・清掃」が、厚別区では「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」が他の区よりも低くなっている。

		回答者数	ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域の交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援	高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加
全体		1,447	80.9	22.0	17.5	31.9	17.7	20.5	6.4	6.7
性別	男性	560	80.0	23.0	15.5	35.2	19.3	16.1	6.8	7.1
	女性	851	82.5	20.8	19.0	29.6	16.8	23.1	5.9	6.3
	無回答	36	58.3	33.3	11.1	33.3	13.9	25.0	11.1	8.3
年代別	18～19歳	16	75.0	6.3	6.3	6.3	12.5	-	6.3	-
	20～29歳	92	78.3	4.3	13.0	22.8	7.6	13.0	1.1	1.1
	30～39歳	185	80.5	13.0	18.4	26.5	13.0	14.1	9.7	3.8
	40～49歳	269	82.2	12.3	18.2	29.7	13.8	16.4	8.6	3.0
	50～59歳	226	89.4	23.0	9.7	37.6	15.0	17.7	5.8	5.3
	60～64歳	144	84.0	26.4	18.1	38.2	22.9	27.1	2.8	6.9
	65～69歳	180	84.4	29.4	23.9	36.7	25.6	23.3	2.8	11.7
	70歳以上	306	73.5	34.0	20.3	31.4	22.5	28.8	8.2	11.4
	無回答	29	58.6	31.0	13.8	27.6	13.8	17.2	6.9	10.3
居住区別	中央区	179	81.6	11.7	10.1	24.6	12.8	18.4	5.6	4.5
	北区	192	78.6	21.9	16.1	32.3	15.6	20.3	4.7	9.9
	東区	177	77.4	20.3	15.8	29.4	23.2	18.1	4.5	9.6
	白石区	150	79.3	23.3	18.0	30.7	19.3	23.3	7.3	4.7
	厚別区	106	81.1	23.6	16.0	30.2	6.6	17.9	7.5	7.5
	豊平区	160	85.0	13.8	13.1	31.9	11.9	18.1	5.0	5.6
	清田区	84	83.3	28.6	25.0	41.7	23.8	23.8	2.4	10.7
	南区	107	84.1	37.4	29.0	44.9	28.0	29.0	8.4	9.3
	西区	159	83.0	19.5	17.6	23.3	17.0	19.5	7.5	0.6
	手稲区	97	83.5	30.9	25.8	44.3	24.7	21.6	12.4	6.2
	無回答	36	63.9	33.3	16.7	30.6	16.7	16.7	8.3	8.3

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

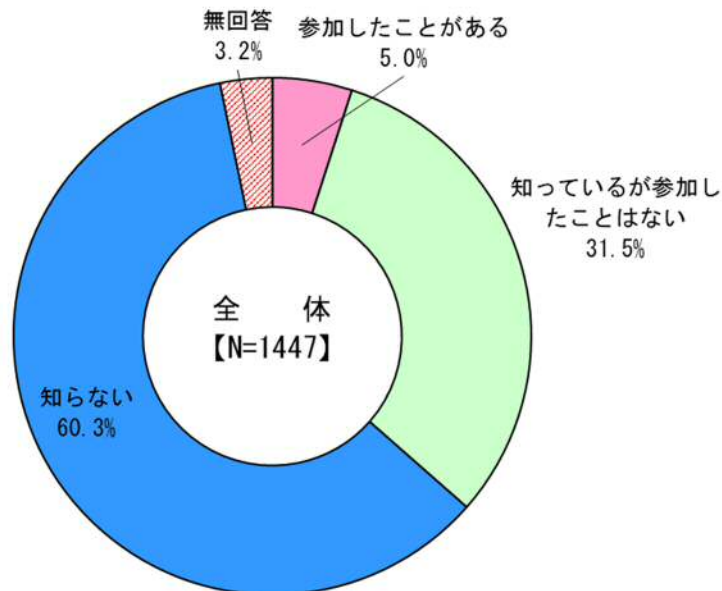
		回答者数	街路樹への緑化活動への参加	高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加や指導	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	公演・発表会、伝統文化の保存、継承	音楽や演芸等による地域や福祉施設での参加	防災訓練への参加	防火・防犯パトロールへの参加	その他	参加・活動していることはない	無回答
全体		1,447	8.5	5.3	25.3	6.3	3.5	10.5	14.9	2.2	16.0	2.1	
性別	男性	560	7.5	5.2	20.9	4.3	3.4	13.4	15.0	2.0	16.3	1.8	
	女性	851	9.2	5.2	28.6	7.6	3.3	8.6	15.0	2.5	16.0	1.5	
	無回答	36	8.3	11.1	16.7	5.6	8.3	11.1	11.1	-	13.9	22.2	
年代別	18～19歳	16	-	6.3	25.0	-	-	6.3	-	-	18.8	-	
	20～29歳	92	2.2	-	16.3	4.3	2.2	2.2	3.3	-	16.3	-	
	30～39歳	185	3.8	1.1	26.5	8.6	1.6	5.9	8.6	0.5	14.6	1.1	
	40～49歳	269	4.1	2.2	29.4	7.8	2.6	5.6	13.0	1.5	11.9	0.4	
	50～59歳	226	9.3	3.1	28.8	6.6	5.8	9.3	12.8	0.4	10.6	0.4	
	60～64歳	144	11.1	8.3	27.1	4.9	2.8	9.0	16.7	4.9	13.9	0.7	
	65～69歳	180	11.7	7.2	23.3	5.6	2.8	11.7	18.9	3.3	16.1	2.8	
	70歳以上	306	14.1	10.8	22.5	5.6	4.6	21.6	23.5	4.2	25.5	4.2	
	無回答	29	6.9	10.3	13.8	3.4	6.9	6.9	10.3	-	13.8	27.6	
居住区別	中央区	179	6.7	3.9	24.0	4.5	3.9	10.1	8.9	2.8	12.8	2.2	
	北区	192	7.3	4.2	23.4	2.6	3.1	7.8	17.2	3.1	18.2	1.6	
	東区	177	10.7	5.1	30.5	9.6	2.8	10.2	11.9	-	20.3	2.8	
	白石区	150	8.0	4.7	23.3	6.0	0.7	9.3	12.7	2.0	15.3	3.3	
	厚別区	106	5.7	3.8	27.4	7.5	3.8	12.3	15.1	0.9	17.9	-	
	豊平区	160	10.0	5.0	24.4	5.0	2.5	12.5	12.5	1.3	16.9	0.6	
	清田区	84	9.5	4.8	22.6	3.6	2.4	14.3	19.0	3.6	14.3	2.4	
	南区	107	14.0	11.2	32.7	13.1	8.4	15.9	24.3	4.7	13.1	0.9	
	西区	159	5.7	5.0	18.2	5.0	3.1	8.8	14.5	3.8	15.7	1.3	
	手稲区	97	9.3	6.2	30.9	9.3	4.1	8.2	22.7	1.0	13.4	-	
無回答	36	8.3	11.1	22.2	5.6	8.3	8.3	11.1	-	13.9	22.2		

市民参加の機会

【問 11】札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まいただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が60.3%と全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が60.3%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が31.5%、「参加したことがある」が5.0%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が57.9%、女性が63.1%となっている。

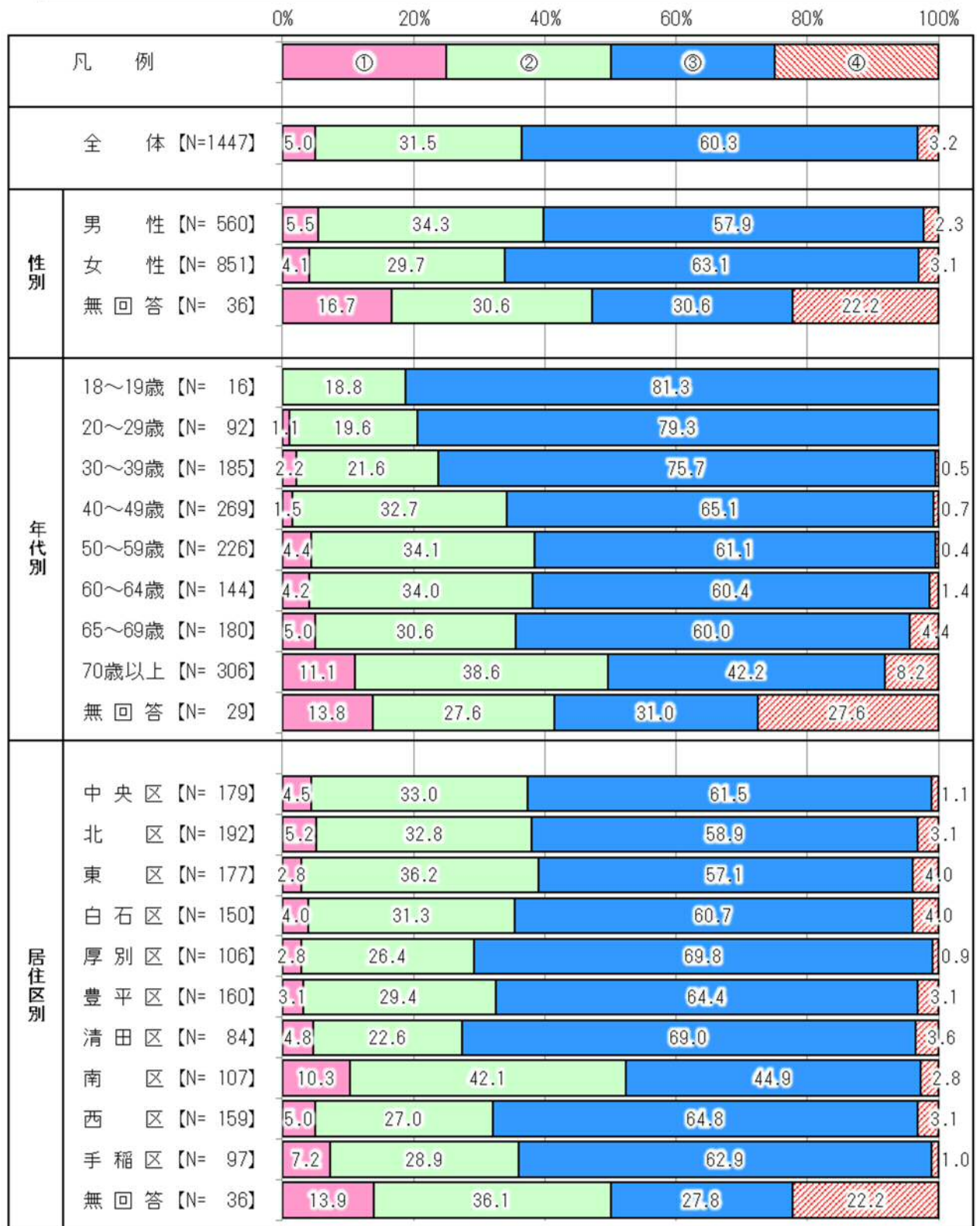
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

年代別ではすべての年代で「知らない」が最も高くなっている。「知っているが参加したことはない」は70歳以上では38.6%と最も高く、年代が上がるにつれて上昇傾向になっている。

【居住区別】

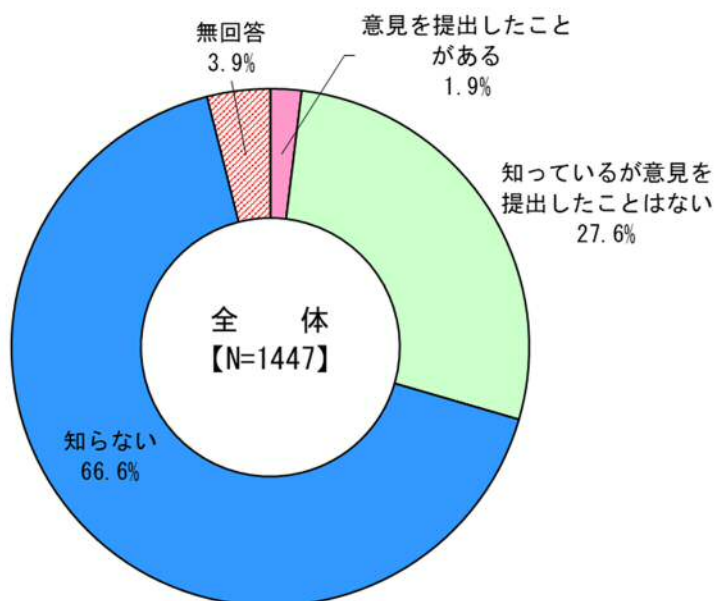
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも厚別区では69.8%と最も高く、南区では44.9%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）

パブリックコメントの提出については、「知らない」が66.6%と全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が66.6%と最も高くなっている。次いで、「知っているが意見を提出したことはない」が27.6%、「意見を提出したことがある」が1.9%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が59.6%、女性が72.0%となっている。男性では「知っているが意見を提出したことはない」が35.4%と女性よりも高くなっている。

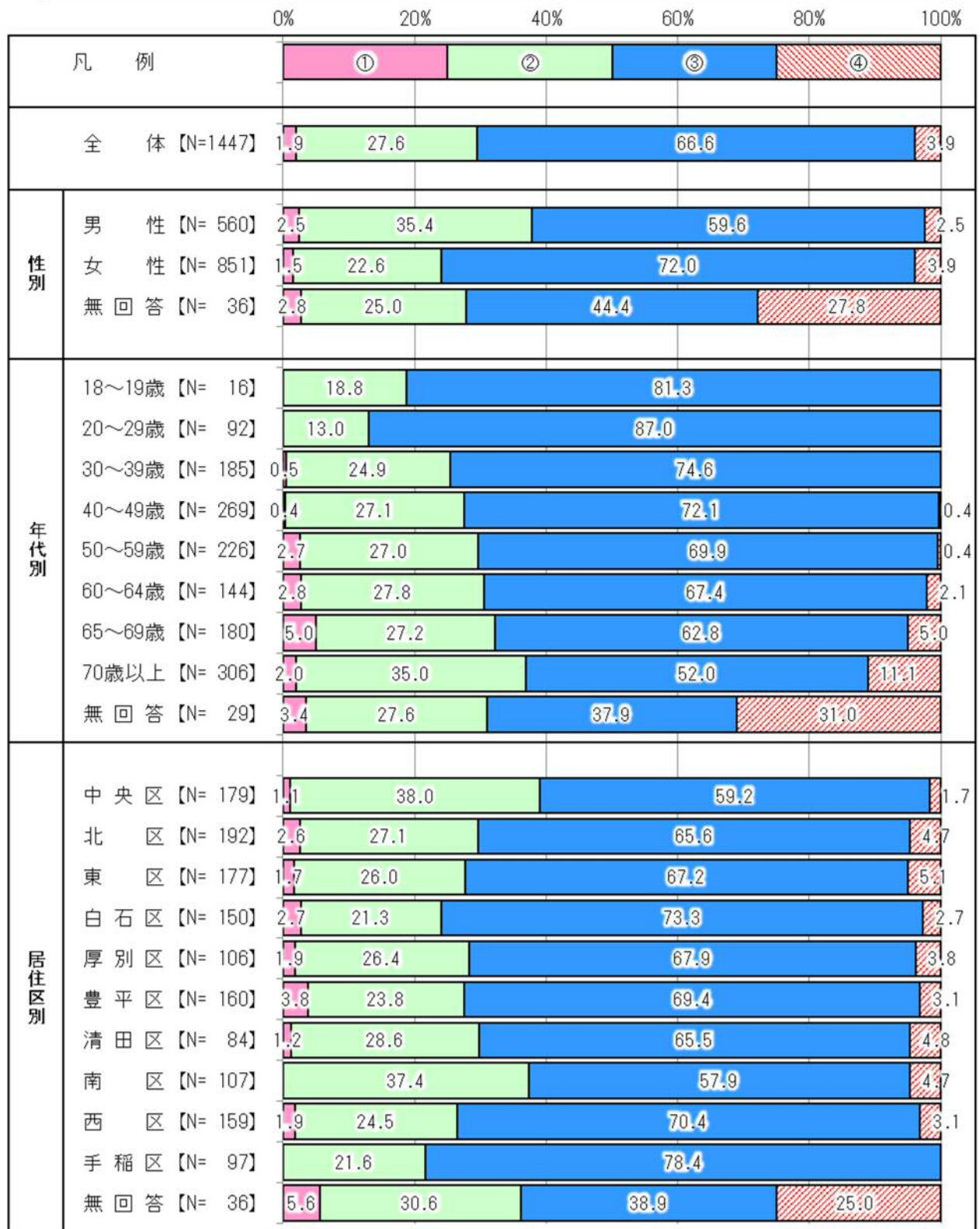
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。年代が上がるにつれて「知らない」は下降傾向となり、「知っているが意見を提出したことはない」が上昇傾向になっている。

【居住区別】

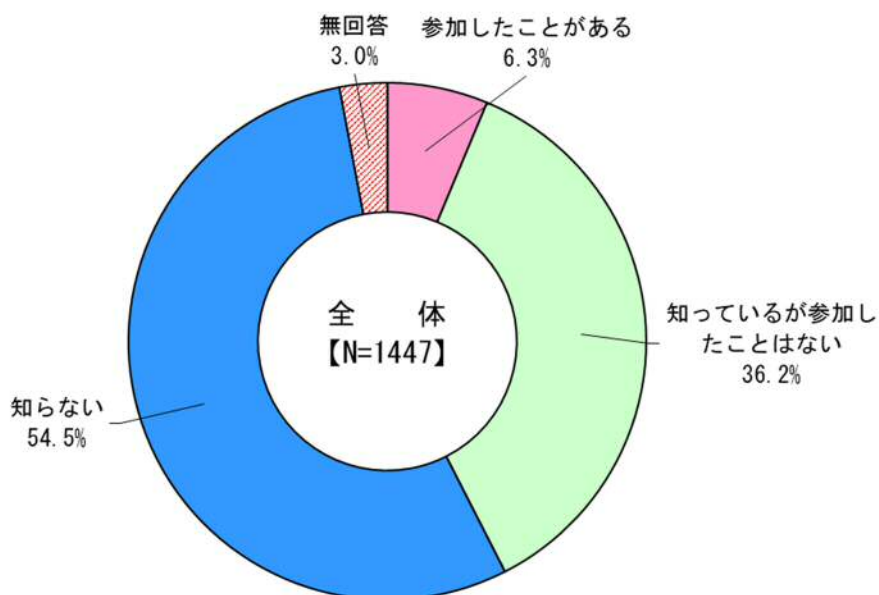
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも手稲区が78.4%と最も高く、南区が57.9%と最も低くなっている。

①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が54.5%と全体の5割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が54.5%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が36.2%、「参加したことがある」が6.3%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が51.4%、女性が57.2%となっている。

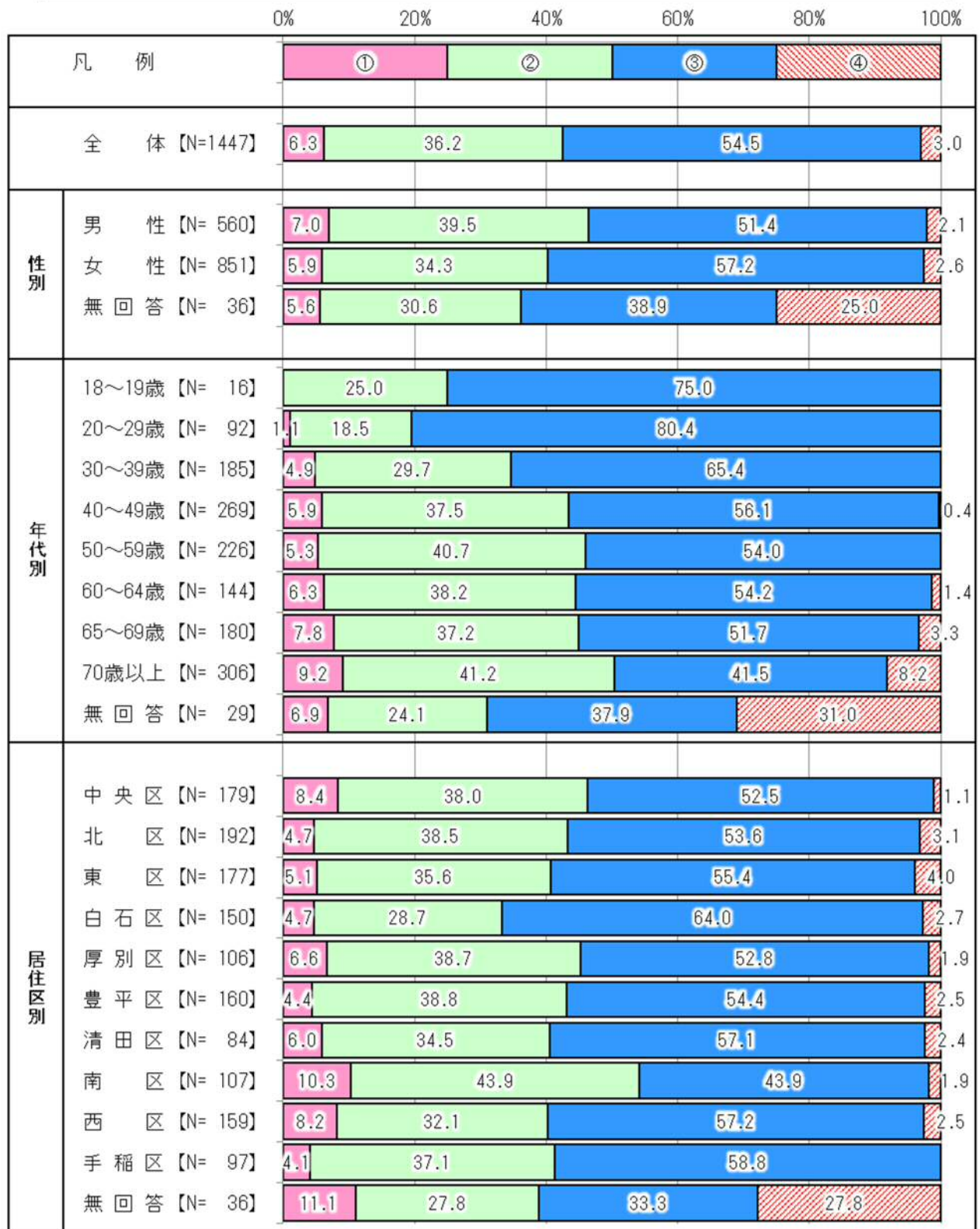
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「知らない」が最も高くなっている。70歳以上では「知っているが参加したことはない」が41.2%と最も高くなっている。20歳代と30歳代では「知っているが参加したことはない」が他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

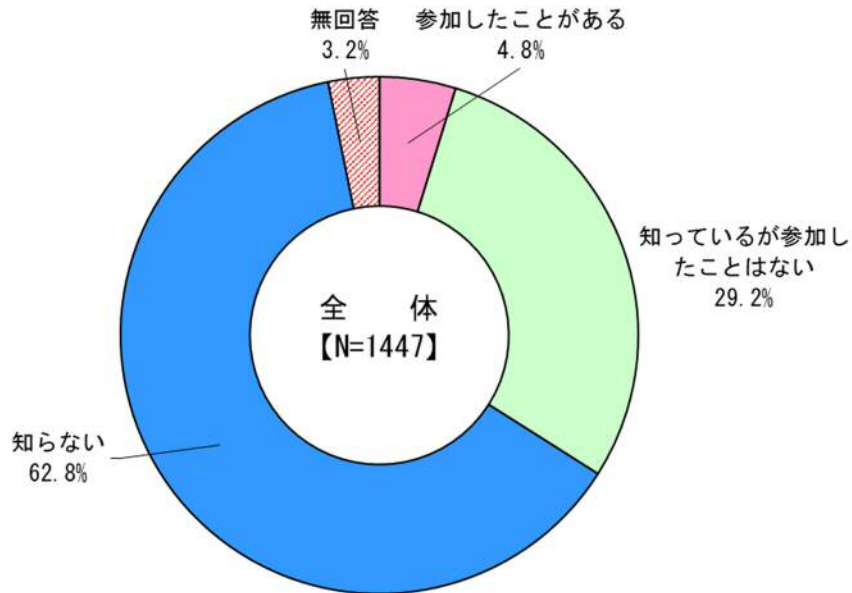
南区を除く全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも白石区は64.0%と最も高くなっている。南区では「知らない」と「知っているが参加したことはない」が43.9%で同率になっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）

ワークショップの参加については、「知らない」が 62.8%と全体の 6 割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が 62.8%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 29.2%、「参加したことがある」が 4.8%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 63.4%、女性が 62.9%となっている。

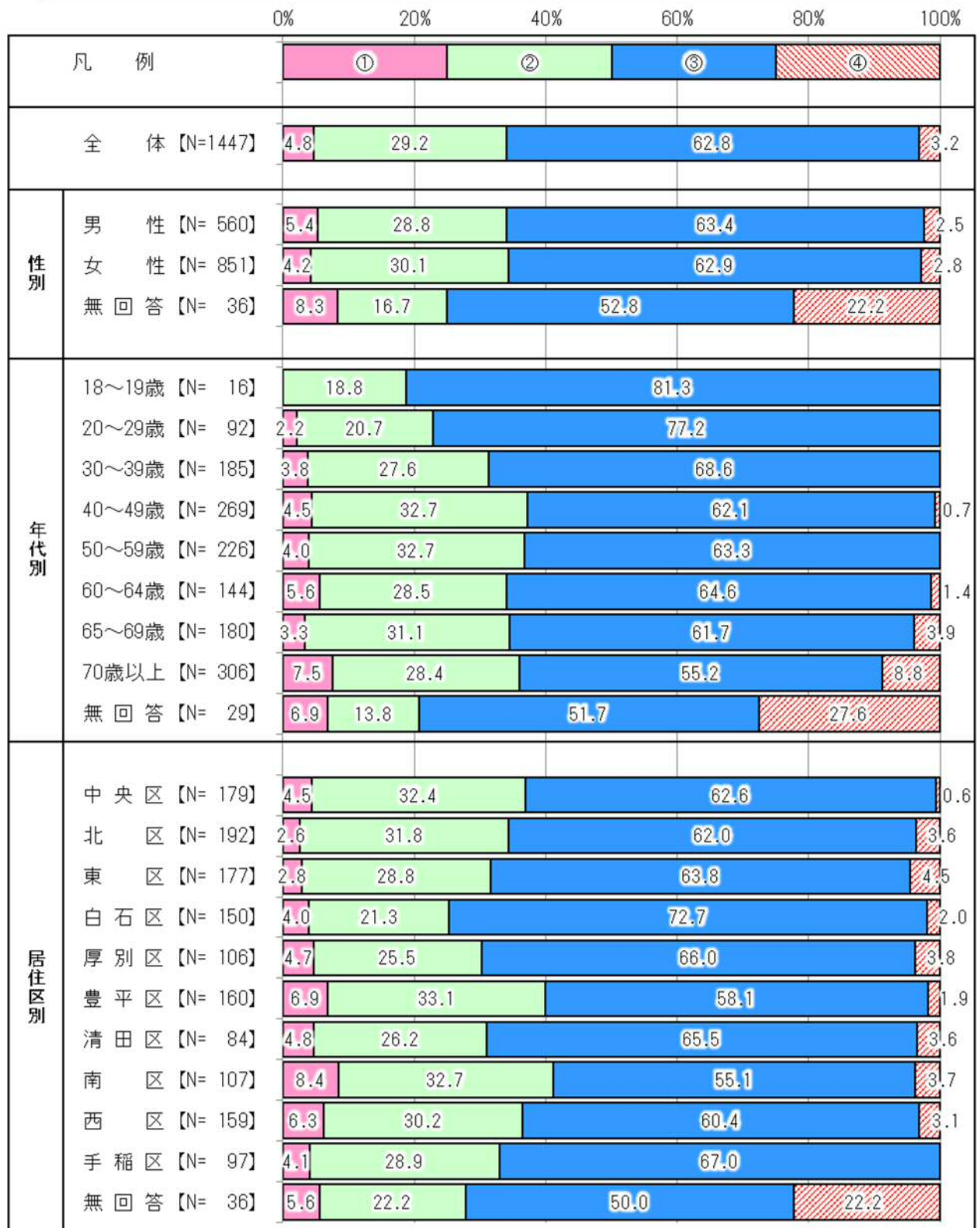
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも 20 代は 77.2%と最も高く、70 歳以上では 55.2%と最も低くなっている。

【居住区別】

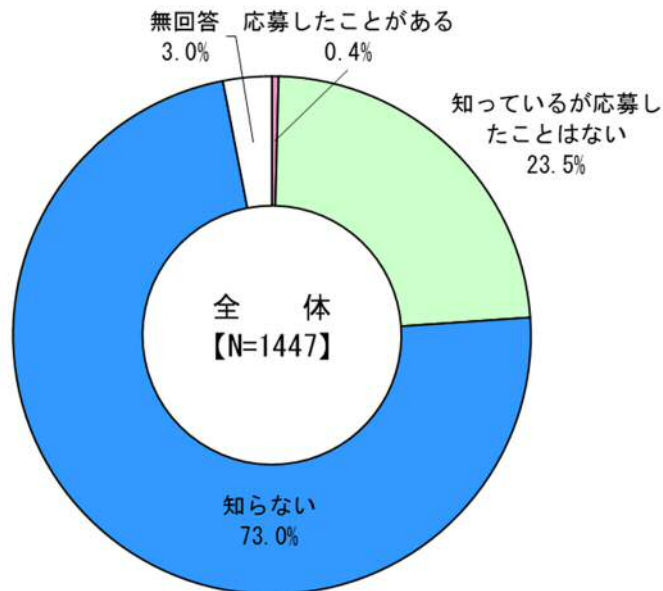
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも白石区が 72.7%と最も高く、南区が 55.1%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募

市民参加の公募については、「知らない」が73.0%と全体の7割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が73.0%と最も高くなっている。次いで、「知っているが応募したことはない」が23.5%、「応募したことがある」が0.4%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が69.6%、女性が76.5%となっている。

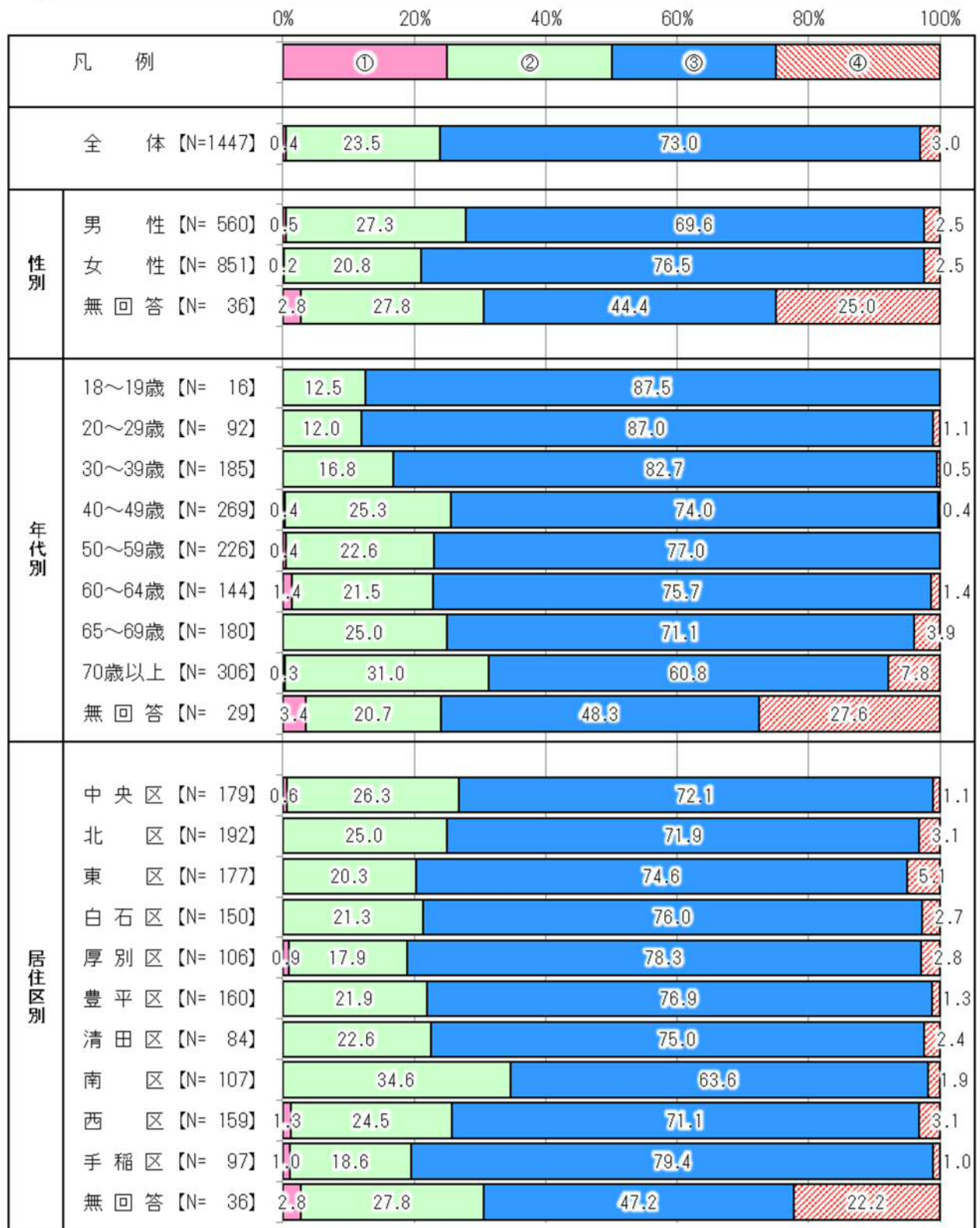
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも20歳代が87.0%と最も高く、70歳以上が60.8%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも手稲区が79.4%と最も高く、南区が63.6%と最も低くなっている。

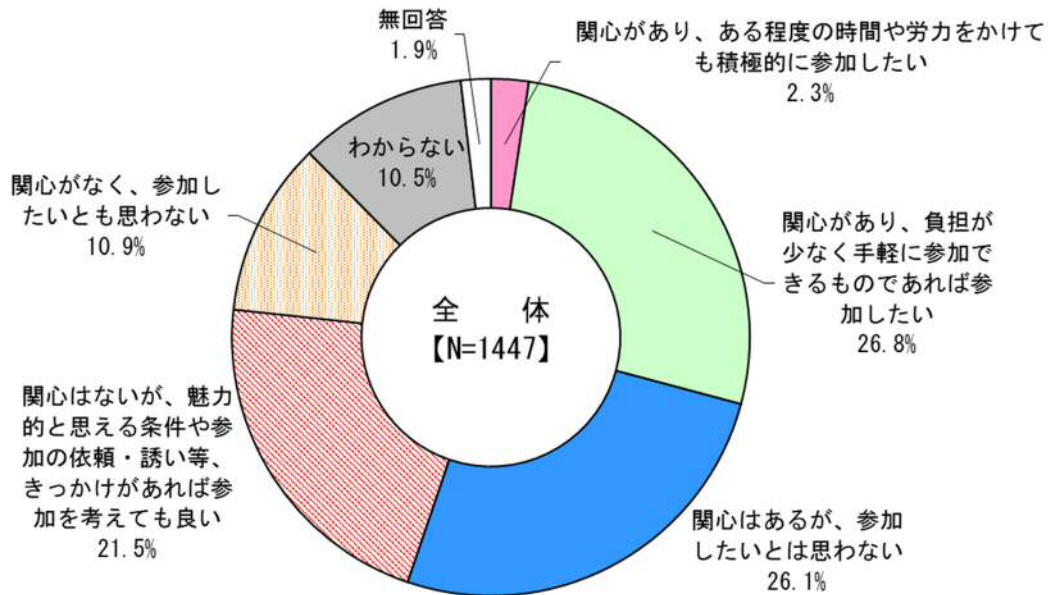
①応募したことがある ②知っているが応募したことはない ③知らない ④無回答



市政への関心や参加

【問 12】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 26.8%と最も高く、次いで「関心はあるが、参加したいと思わない」が 26.1%となっている。



【対象者全体】

「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 26.8%と最も高く、次いで「関心はあるが、参加したいと思わない」が 26.1%、「関心はないが、きっかけがあれば参加したい」が 21.5%、「これからも参加したいと思わない」が 10.9%、「わからない」が 10.5%、「関心があり、参加したい」が 2.3%となっている。

【性別】

男性では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 31.3%と最も高く、女性では「関心はあるが、参加したいと思わない」が 26.1%と最も高くなっている。

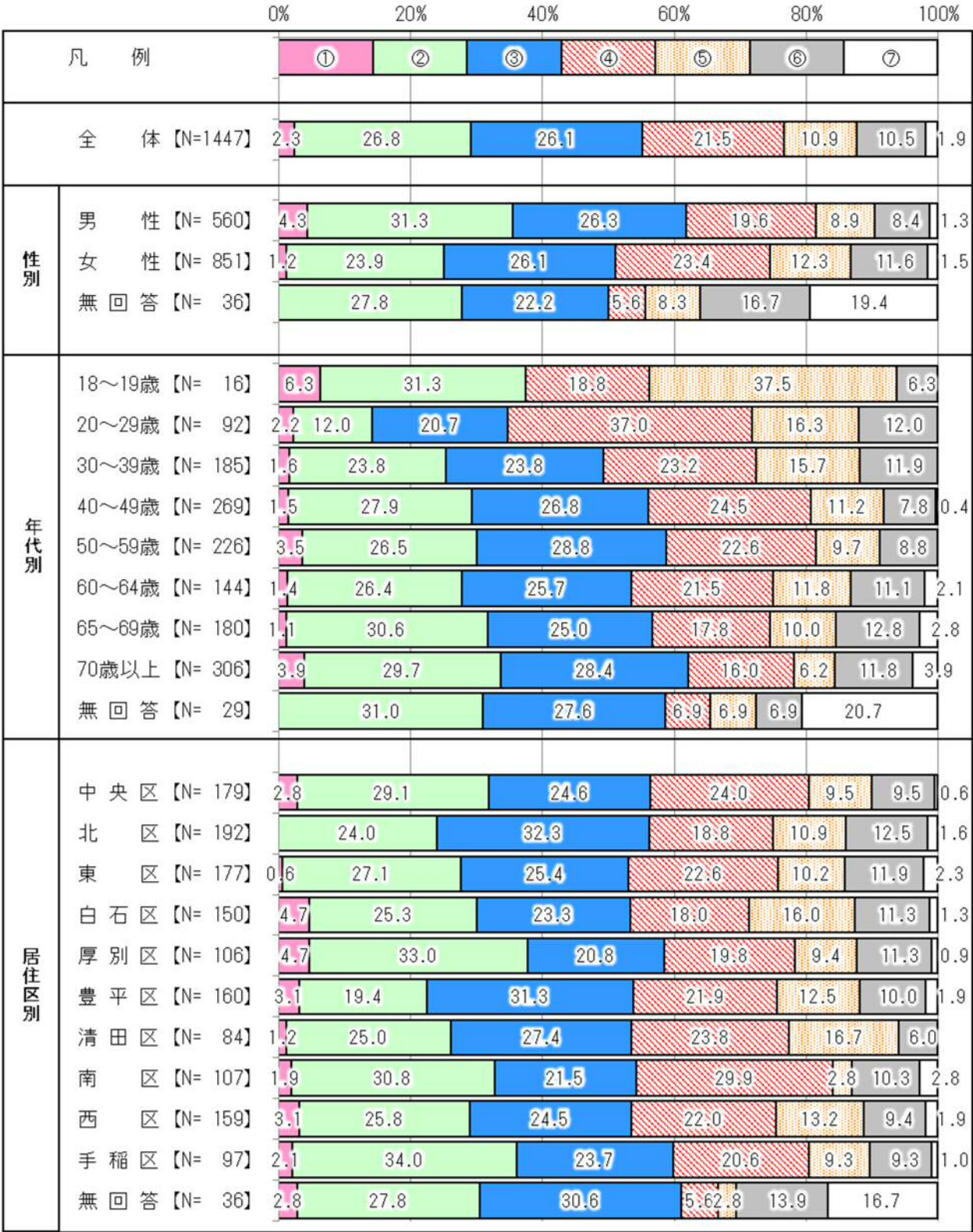
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「関心はないが、きっかけがあれば参加したい」が 37.0%と最も高く、60歳代では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 30.6%と最も高い。それ以外の年代では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」と「関心はあるが、参加したいと思わない」が拮抗している傾向にある。

【居住区別】

中央区、厚別区、南区、手稲区では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が最も高く、北区、豊平区では「関心はあるが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。それ以外の区では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」と「関心はあるが、参加したいと思わない」が拮抗している傾向にある。

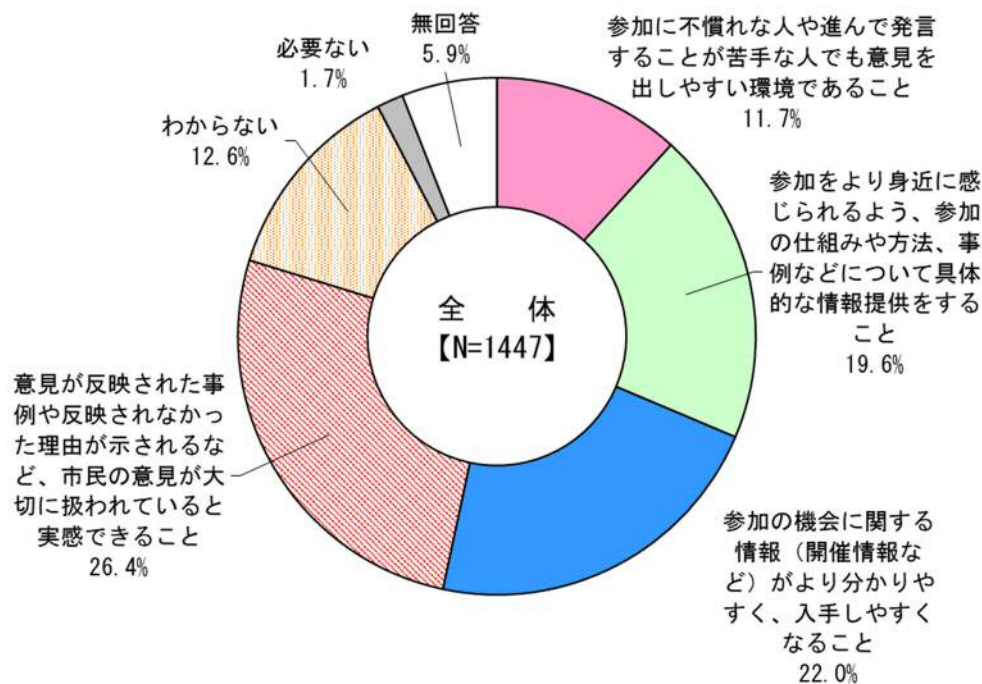
①関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
 ②関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい ③関心はあるが、参加したいとは思わない
 ④関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
 ⑤関心がなく、参加したいとも思わない ⑥わからない ⑦無回答



市政への参加しやすさに必要な事柄

【問 13】あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 26.4%、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 22.0%となっている。



【対象者全体】

「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 26.4%と最も高くなっている。次いで、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 22.0%、「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が 19.6%、「わからない」が 12.6%、「参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること」が 11.7%、「必要ない」が 1.7%となっている。

【性別】

男女ともに「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、男性が 27.9%、女性が 25.6%となっている。

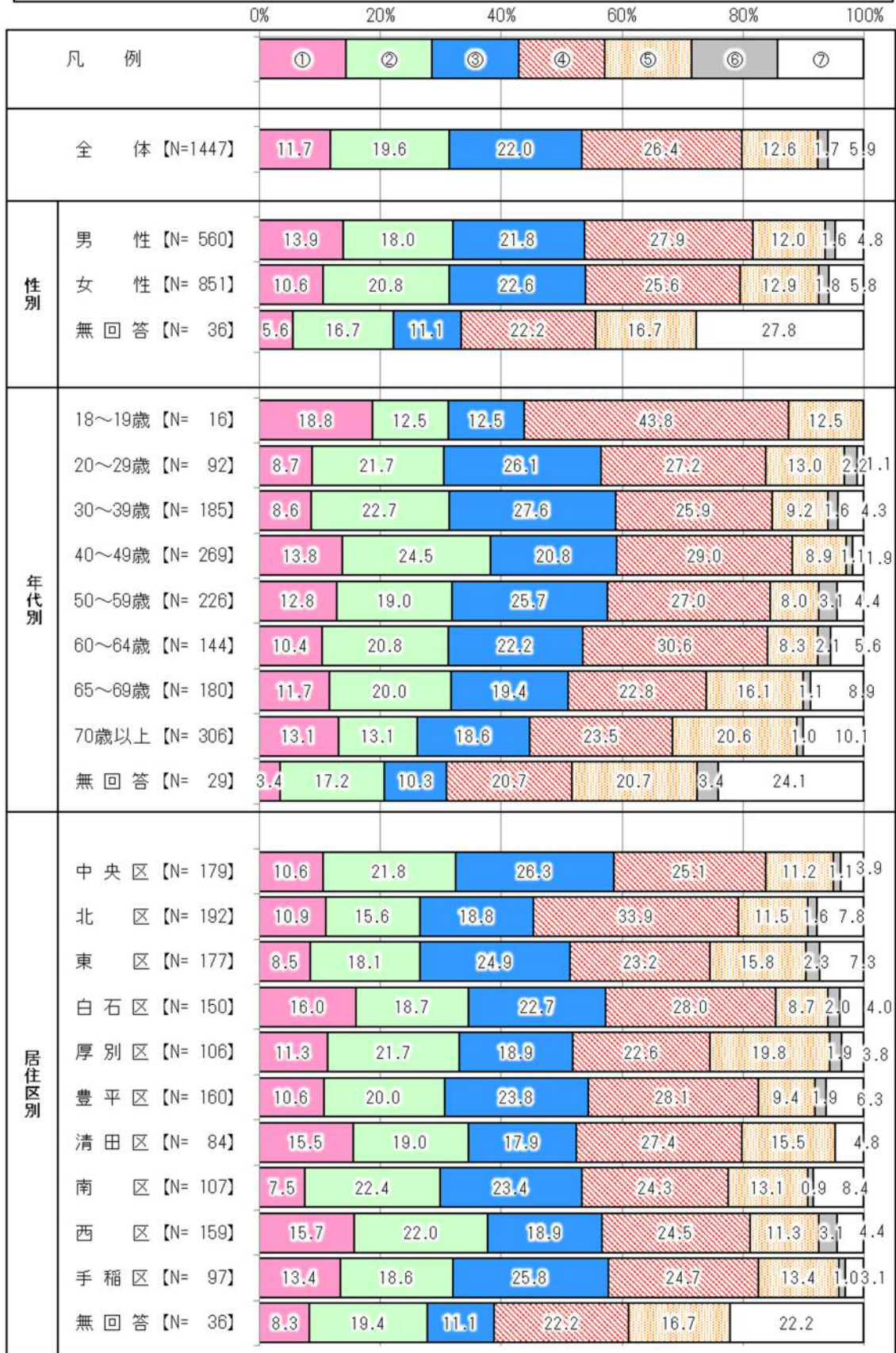
【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

30 歳代では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が最も高く、それ以外の年代では「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高くなっている。

【居住区別】

東区、手稲区では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が最も高く、その他の区では「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高くなっている。

- ①参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
 ②参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
 ③参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
 ④意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
 ⑤わからない ⑥必要ない ⑦無回答



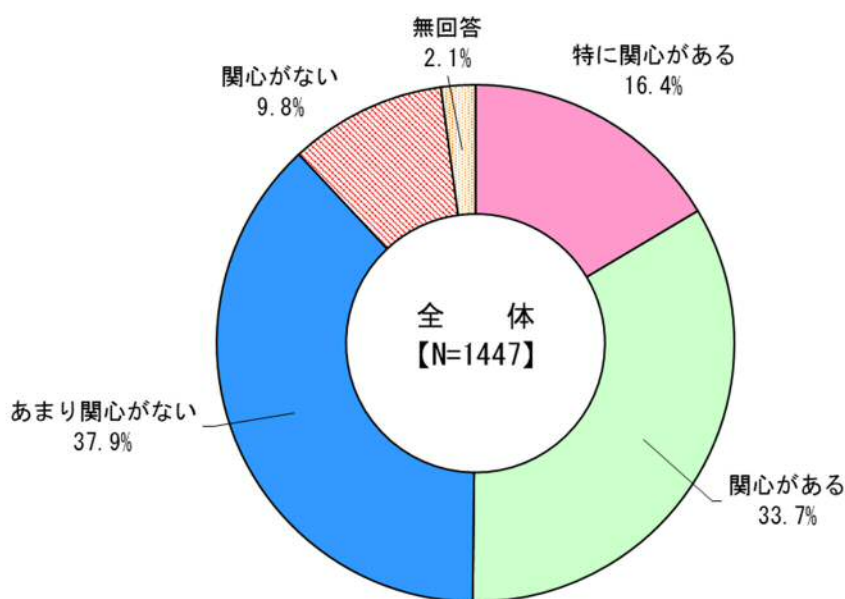
海外交流への関心

【問 14】札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹都市※¹をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流※²等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

海外交流への関心については、「特に関心がある」（16.4%）と「関心がある」（33.7%）を合わせた割合（50.1%）が5割となっている。



【対象者全体】

「どちらかといえば関心がある」（33.7%）と「あまり関心がない」（37.9%）がほぼ同じ割合であり、次いで、「関心がある」（16.4%）、「関心が無い」（9.8%）となっている。

【性別】

男女とも「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は5割となっている。

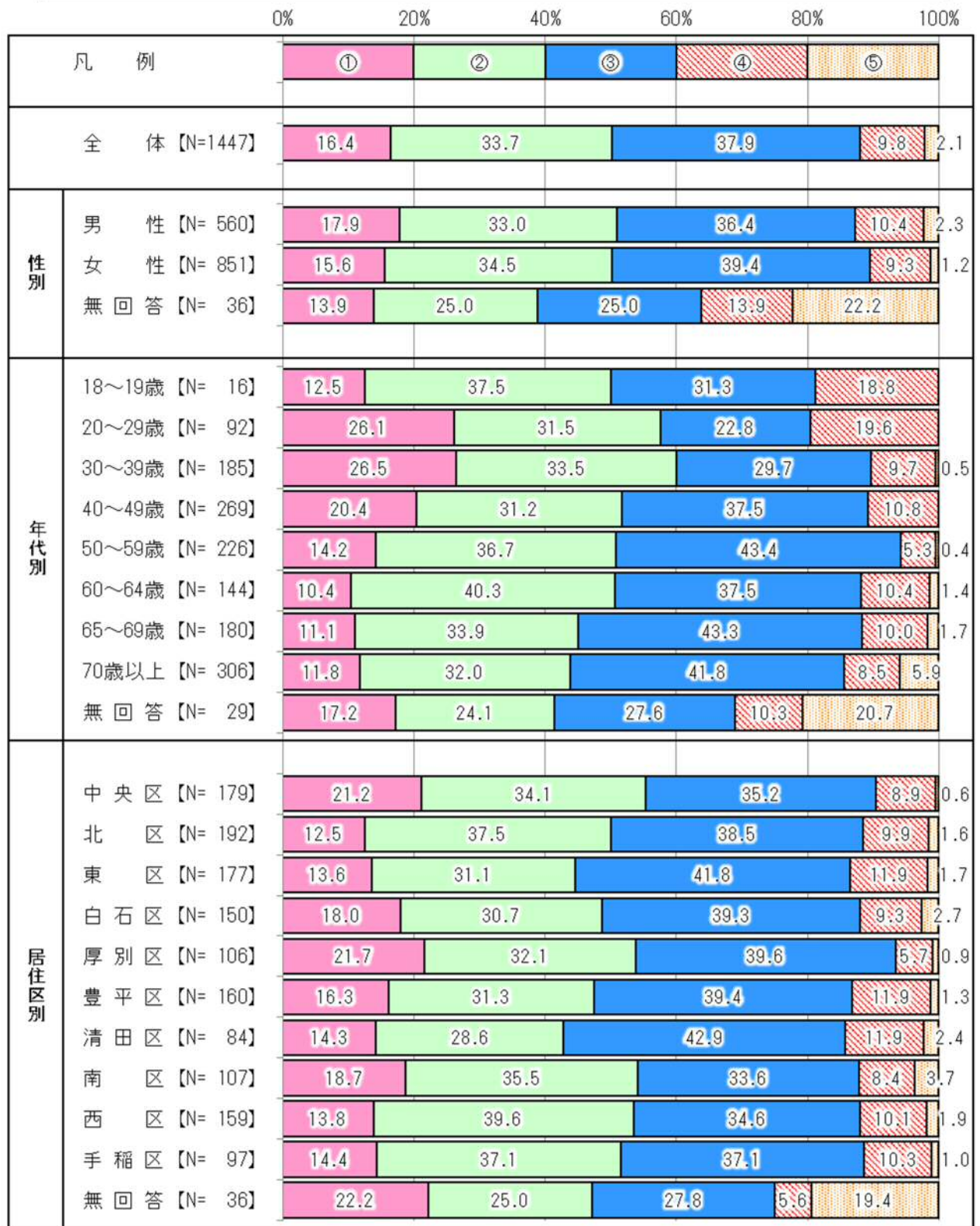
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代～60歳代前半までは「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合がいずれも5割を超えており、とりわけ20歳代及び30歳代は6割近くとなっている。

【居住区別】

中央、北、厚別、南、西、手稲の6つの区で「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合が5割以上となっている。

①特に関心がある ②関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答



行ったスポーツ(運動)

【問 15】あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

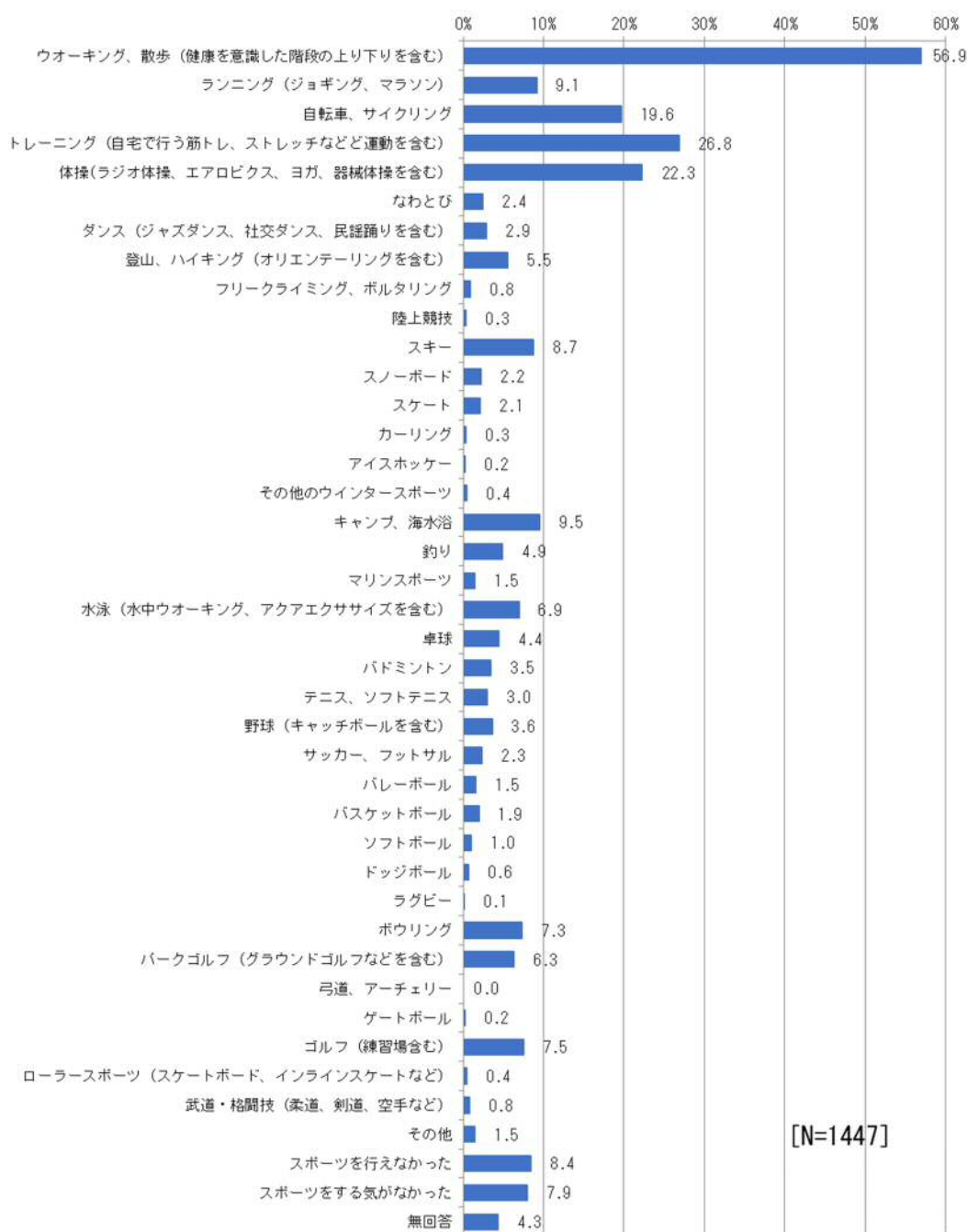
なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が56.9%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が26.8%、「体操」が22.3%、「自転車、サイクリング」が19.6%となっている。



【対象者全体】

「ウォーキング、散歩」が 56.9%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が 26.8%、「体操」が 22.3%、「自転車、サイクリング」が 19.6%となっている。

【性別】

男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性は 58.4%、女性は 56.4%となっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。20 歳代では「バドミントン」が他の年代よりも高くなっている。30 歳代では「ランニング」「トレーニング」「キャンプ、海水浴」が他の年代よりも高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。中央区では「サイクリング」が他の地区よりも高くなっている。

	回答者数	ウォーキング、散歩（健康を意識した階段の上り下りを含む）	ランニング（ジョギング、マラソン）	自転車、サイクリング	トレニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなど運動を含む）	体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操を含む）	なわとび	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	
全体	1,447	56.9	9.1	19.6	26.8	22.3	2.4	2.9	5.5	
性別	男性	560	58.4	14.3	20.7	28.9	15.0	2.0	1.4	8.0
	女性	851	56.4	5.8	19.3	26.0	27.3	2.8	3.9	3.9
	無回答	36	47.2	8.3	11.1	13.9	16.7	-	2.8	5.6
年代別	18～19歳	16	56.3	31.3	25.0	31.3	12.5	12.5	18.8	-
	20～29歳	92	52.2	18.5	17.4	33.7	7.6	4.3	3.3	4.3
	30～39歳	185	53.5	20.0	24.3	37.8	18.4	6.5	1.6	6.5
	40～49歳	269	56.5	10.4	25.7	26.8	20.1	3.7	2.2	5.9
	50～59歳	226	58.8	7.1	19.5	30.1	20.8	1.3	3.1	5.8
	60～64歳	144	55.6	4.9	19.4	23.6	23.6	0.7	2.1	7.6
	65～69歳	180	58.9	3.9	16.1	22.8	26.1	0.6	1.1	6.7
	70歳以上	306	60.8	3.9	14.7	20.3	30.7	0.7	4.6	3.6
	無回答	29	37.9	10.3	13.8	17.2	10.3	-	3.4	3.4
居住区別	中央区	179	64.8	11.2	31.3	25.1	24.0	2.2	1.7	5.0
	北区	192	50.5	5.2	15.6	25.5	17.7	2.1	2.6	4.2
	東区	177	57.6	10.2	20.3	23.7	22.6	1.7	2.8	3.4
	白石区	150	54.0	6.7	20.0	30.7	19.3	2.7	3.3	3.3
	厚別区	106	64.2	10.4	21.7	29.2	24.5	1.9	4.7	4.7
	豊平区	160	57.5	9.4	16.3	25.0	21.9	1.3	1.9	5.6
	清田区	84	47.6	11.9	13.1	22.6	21.4	1.2	3.6	7.1
	南区	107	59.8	10.3	11.2	32.7	22.4	7.5	0.9	9.3
	西区	159	56.0	8.8	23.9	28.9	27.0	3.8	4.4	8.2
	手稲区	97	59.8	9.3	18.6	29.9	26.8	1.0	3.1	8.2
	無回答	36	47.2	11.1	11.1	16.7	11.1	-	5.6	2.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		回答者数	フリースタイルライミング、ボルタリ	陸上競技	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	アイスホッケー	その他のウィンタースポーツ	キャンプ、海水浴
全体		1,447	0.8	0.3	8.7	2.2	2.1	0.3	0.2	0.4	9.5
性別	男性	560	1.3	0.4	11.8	3.4	1.3	0.4	0.5	0.9	11.6
	女性	851	0.6	0.2	6.8	1.5	2.6	0.4	-	0.1	8.3
	無回答	36	-	-	5.6	-	2.8	-	-	-	2.8
年代別	18～19歳	16	6.3	-	6.3	12.5	-	-	-	-	-
	20～29歳	92	5.4	-	7.6	12.0	4.3	-	1.1	1.1	13.0
	30～39歳	185	2.2	0.5	14.6	4.9	5.9	-	-	-	20.5
	40～49歳	269	0.4	-	17.5	2.6	4.1	-	-	0.4	19.0
	50～59歳	226	0.4	-	8.0	0.4	0.4	0.9	0.4	-	6.2
	60～64歳	144	-	-	5.6	-	0.7	0.7	-	1.4	4.9
	65～69歳	180	-	-	3.3	0.6	-	-	0.6	0.6	4.4
	70歳以上	306	-	1.0	3.3	0.3	0.3	0.7	-	0.3	2.0
	無回答	29	-	-	6.9	-	3.4	-	-	-	3.4
居住区別	中央区	179	0.6	-	8.9	1.7	2.2	-	0.6	-	7.8
	北区	192	-	-	7.8	2.6	1.6	-	-	0.5	7.3
	東区	177	1.1	-	7.3	1.1	2.8	-	0.6	-	7.9
	白石区	150	0.7	0.7	10.7	4.0	4.0	0.7	-	0.7	14.0
	厚別区	106	0.9	1.9	7.5	-	-	-	-	-	9.4
	豊平区	160	1.9	-	6.3	1.9	1.3	1.3	0.6	-	10.0
	清田区	84	-	-	7.1	2.4	2.4	-	-	-	11.9
	南区	107	1.9	0.9	13.1	1.9	1.9	1.9	-	2.8	12.1
	西区	159	0.6	-	10.7	3.8	1.9	-	-	-	9.4
	手稲区	97	1.0	-	7.2	2.1	2.1	-	-	1.0	8.2
	無回答	36	-	-	11.1	2.8	2.8	-	-	-	5.6

		回答者数	釣り	マリンスポーツ	水泳（水中ウオーキング、アクアエクササイズを含む）	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール
全体		1,447	4.9	1.5	6.9	4.4	3.5	3.0	3.6	2.3	1.5
性別	男性	560	8.2	2.3	7.7	3.4	3.9	3.4	6.6	4.5	0.9
	女性	851	2.8	0.9	6.7	5.2	3.3	2.8	1.8	0.9	2.0
	無回答	36	2.8	-	-	2.8	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	16	-	-	-	31.3	56.3	25.0	25.0	25.0	37.5
	20～29歳	92	8.7	4.3	7.6	8.7	14.1	4.3	8.7	9.8	5.4
	30～39歳	185	6.5	3.2	8.6	6.5	6.5	3.2	5.4	5.4	1.6
	40～49歳	269	5.6	2.6	11.2	4.5	4.1	5.2	4.8	1.9	1.1
	50～59歳	226	3.1	0.9	4.4	4.0	1.3	2.2	3.1	0.4	1.8
	60～64歳	144	4.2	0.7	4.9	2.8	-	2.8	2.8	0.7	-
	65～69歳	180	3.9	0.6	7.2	3.3	0.6	1.1	1.7	1.1	-
	70歳以上	306	4.9	-	5.6	2.3	0.3	1.3	1.0	0.3	0.3
	無回答	29	3.4	-	-	3.4	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	179	4.5	0.6	8.9	5.6	2.8	4.5	3.9	2.8	1.1
	北区	192	4.7	1.6	4.2	2.6	2.6	0.5	2.6	1.6	1.6
	東区	177	5.1	1.7	7.3	4.5	4.0	3.4	5.6	2.3	2.8
	白石区	150	8.0	2.0	6.7	4.0	6.0	2.7	4.0	2.7	2.7
	厚別区	106	2.8	0.9	7.5	3.8	2.8	2.8	3.8	0.9	-
	豊平区	160	2.5	3.8	6.9	3.8	1.9	3.1	-	1.3	-
	清田区	84	1.2	-	4.8	6.0	1.2	-	2.4	1.2	1.2
	南区	107	5.6	1.9	9.3	1.9	1.9	4.7	7.5	5.6	1.9
	西区	159	6.3	0.6	10.7	5.0	5.0	3.8	4.4	3.1	1.3
	手稲区	97	8.2	1.0	3.1	8.2	6.2	5.2	3.1	1.0	3.1
	無回答	36	2.8	-	-	5.6	2.8	-	-	2.8	-

		回答者数	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）	弓道、アーチェリー	ゲートボール	ゴルフ（練習場含む）
全体		1,447	1.9	1.0	0.6	0.1	7.3	6.3	-	0.2	7.5
性別	男性	560	3.2	2.3	0.7	0.2	9.1	8.6	-	0.4	15.2
	女性	851	1.1	0.1	0.6	0.1	6.3	4.8	-	0.1	2.8
	無回答	36	2.8	-	-	-	2.8	5.6	-	-	-
年代別	18～19歳	16	31.3	12.5	25.0	-	18.8	-	-	-	-
	20～29歳	92	7.6	2.2	1.1	-	16.3	3.3	-	-	2.2
	30～39歳	185	4.3	1.1	0.5	-	12.4	1.1	-	-	9.7
	40～49歳	269	1.9	1.1	0.7	0.4	8.2	3.0	-	-	5.6
	50～59歳	226	0.4	0.4	-	-	4.9	2.2	-	-	5.3
	60～64歳	144	-	0.7	-	-	9.7	4.9	-	-	6.9
	65～69歳	180	-	1.1	-	-	3.3	9.4	-	-	14.4
	70歳以上	306	0.3	0.3	0.3	0.3	3.6	15.7	-	1.0	8.5
	無回答	29	3.4	-	-	-	3.4	3.4	-	-	-
居住区別	中央区	179	1.7	1.1	0.6	-	7.3	5.0	-	-	7.8
	北区	192	1.6	1.6	-	-	4.2	4.2	-	0.5	6.8
	東区	177	3.4	-	1.7	-	8.5	5.1	-	0.6	7.9
	白石区	150	2.7	2.0	-	-	6.7	6.0	-	-	10.7
	厚別区	106	-	-	-	-	5.7	7.5	-	-	2.8
	豊平区	160	1.3	-	-	-	6.9	5.6	-	-	4.4
	清田区	84	-	-	-	-	9.5	9.5	-	-	14.3
	南区	107	2.8	1.9	2.8	0.9	3.7	8.4	-	-	9.3
	西区	159	2.5	1.9	1.3	-	11.9	5.0	-	0.6	5.0
	手稲区	97	1.0	1.0	-	1.0	11.3	12.4	-	-	12.4
	無回答	36	5.6	-	-	-	2.8	5.6	-	-	-

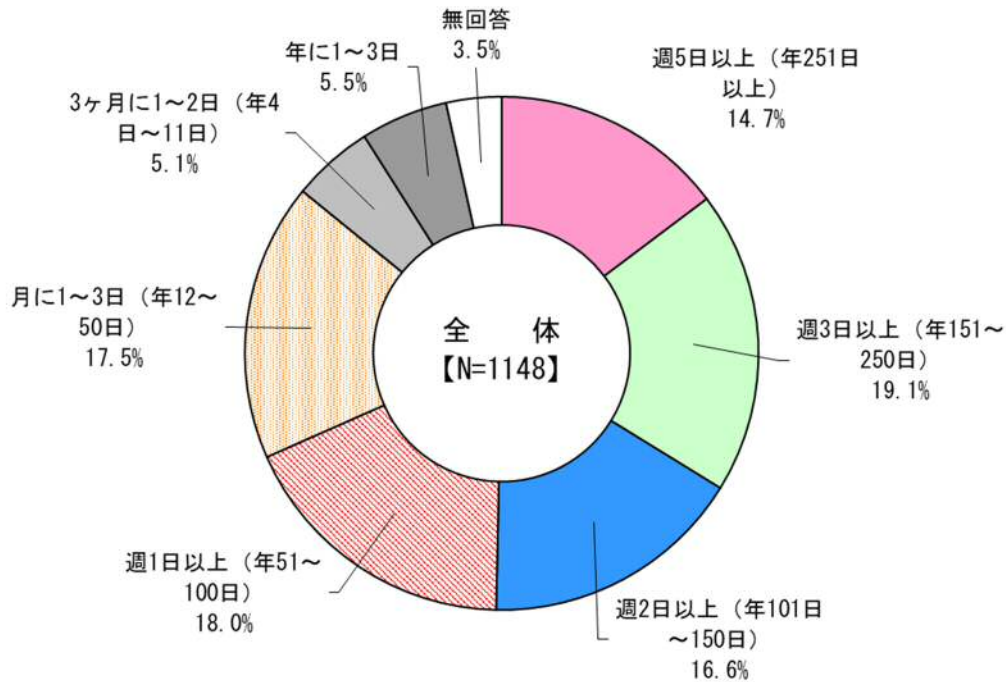
(単位：%)

		回答者数	ボード、インラインスケートなど)	武道・格闘技(柔道、剣道、空手など)	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答
全体		1,447	0.4	0.8	1.5	8.4	7.9	4.3
性別	男性	560	0.5	1.3	1.6	7.0	7.3	3.0
	女性	851	0.4	0.4	1.4	9.4	8.5	4.0
	無回答	36	-	2.8	-	8.3	5.6	30.6
年代別	18～19歳	16	6.3	-	6.3	6.3	-	-
	20～29歳	92	-	2.2	1.1	8.7	10.9	-
	30～39歳	185	0.5	1.1	0.5	6.5	6.5	2.7
	40～49歳	269	1.1	0.7	1.1	7.4	9.3	1.1
	50～59歳	226	-	0.4	1.3	10.2	9.7	1.3
	60～64歳	144	-	1.4	1.4	10.4	7.6	2.1
	65～69歳	180	0.6	0.6	1.7	7.2	10.6	5.6
	70歳以上	306	-	0.3	2.3	8.8	4.2	9.5
	無回答	29	-	-	-	10.3	10.3	31.0
居住区別	中央区	179	-	0.6	0.6	5.6	8.9	2.2
	北区	192	0.5	1.6	2.1	10.9	13.0	3.6
	東区	177	-	-	2.3	9.6	4.5	5.1
	白石区	150	1.3	-	0.7	8.7	5.3	4.0
	厚別区	106	-	0.9	-	1.9	10.4	0.9
	豊平区	160	0.6	1.9	1.9	10.0	7.5	4.4
	清田区	84	-	-	1.2	14.3	8.3	4.8
	南区	107	0.9	1.9	3.7	6.5	6.5	4.7
	西区	159	0.6	0.6	0.6	9.4	7.5	5.0
	手稲区	97	-	-	2.1	6.2	7.2	2.1
	無回答	36	-	-	-	8.3	5.6	25.0

スポーツの頻度

【問 16】あなたが、問 15 で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツの頻度については、「週 3 日以上」が 19.1%で最も高くなっている。次いで「週 1 日以上」が 18.0%となっている。



【対象者全体】

「週 3 日以上」が 19.1%と最も高くなっている。次いで、「週 1 日以上」が 18.0%、「月に 1~3 日」が 17.5%、「週 2 日以上」が 16.6%となっている。

【性別】

男性は「月に 1~3 日」が 21.6%と最も高く、女性は「週 3 日以上」が 21.8%と最も高くなっている。

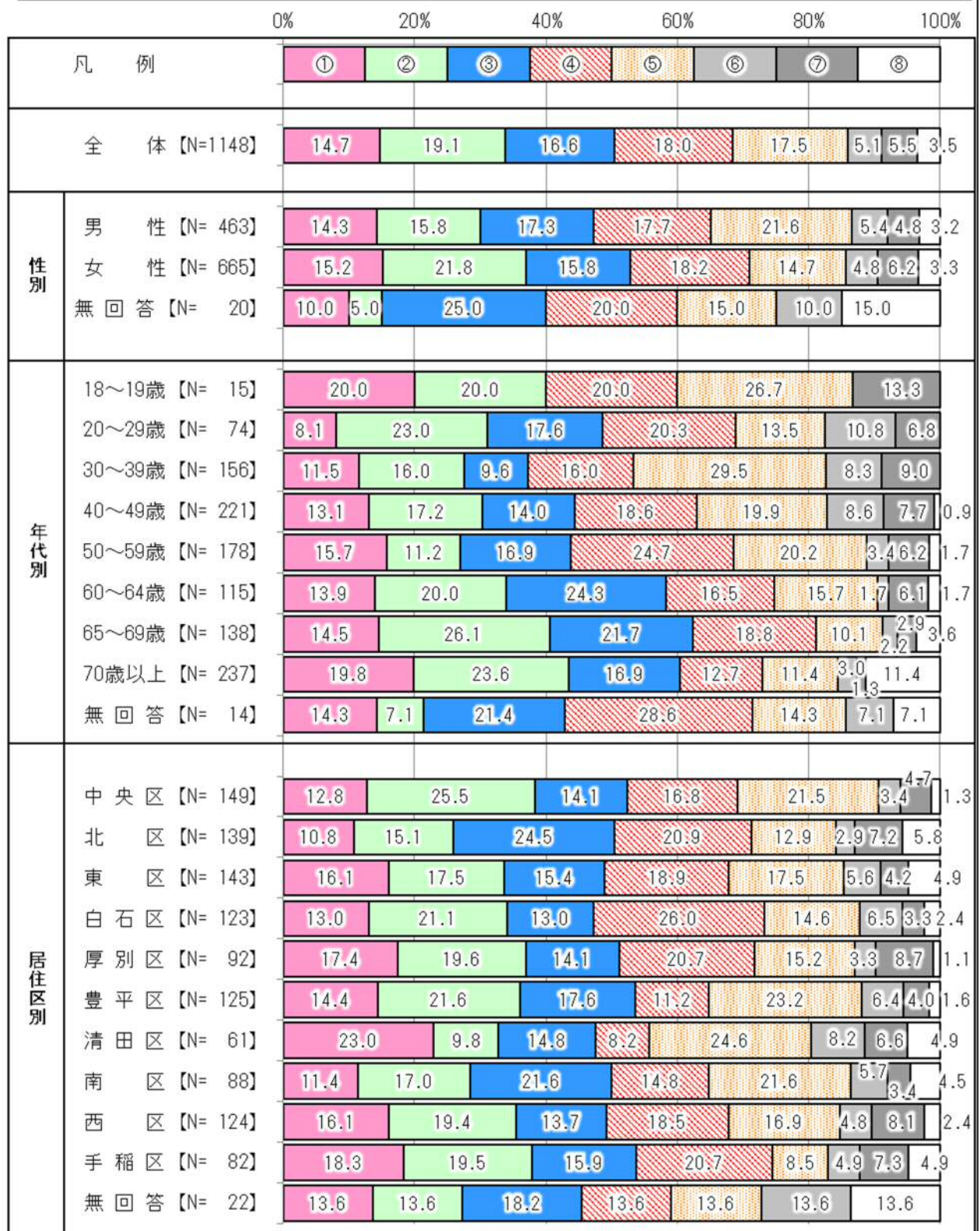
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代と 60 歳代後半以降は「週 3 日以上」が、30 歳代と 40 歳代は「月に 1~3 日」が、50 歳代は「週 1 日以上」が、60 歳代前半は「週 2 日以上」が最も高くなっている。20 歳代を除いて、年代が上がるほどスポーツの頻度が増加する傾向にある。

【居住区別】

中央区、西区では「週 3 日以上」が最も高く、北区では「週 2 日以上」が最も高く、東区、白石区、厚別区、手稲区では「週 1 日以上」が最も高く、清田区、豊平区では「月に 1~3 日」が最も高く、南区では「週 2 日以上」「月に 1~3 日」が同率で最も高くなっている。清田区では「週 5 日以上」も他の居住区より高くなっている。

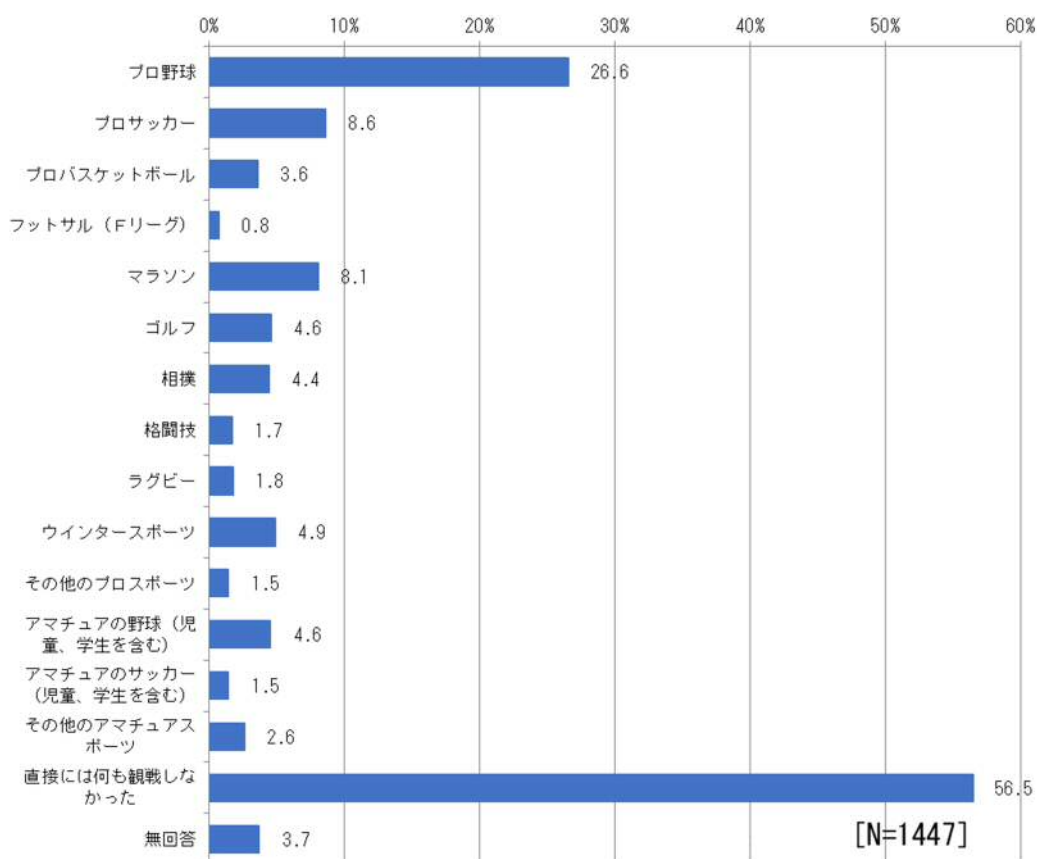
①週5日以上(年251日以上) ②週3日以上(年151~250日)
 ③週2日以上(年101日~150日) ④週1日以上(年51~100日)
 ⑤月に1~3日(年12~50日) ⑥3ヶ月に1~2日(年4日~11日) ⑦年に1~3日 ⑧無回答



直接観戦したスポーツ

【問 17】あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「15」だけに○をつけてください。

直接観戦したスポーツについては、「直接には何も観戦しなかった」が 56.5%で最も高くなっている。次いで「プロ野球」が 26.6%となっている。



【対象者全体】

「直接には何も観戦しなかった」が 56.5%と最も高くなっている。次いで、「プロ野球」が 26.6%、「プロサッカー」が 8.6%、「マラソン」が 8.1%となっている。

【性別】

男女ともに「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、男性では 52.5%、女性では 59.8%となっている。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代において「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、特に 20歳代で 64.1%となっている。

【居住区別】

全居住区において「直接には何も観戦しなかった」が最も高くなっている。

		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	ゴルフ	相撲	格闘技
全体		1,447	26.6	8.6	3.6	0.8	8.1	4.6	4.4	1.7
性別	男性	560	30.7	11.8	4.5	0.9	9.3	8.6	5.7	2.1
	女性	851	24.0	6.6	2.9	0.7	7.5	2.1	3.5	1.4
	無回答	36	25.0	8.3	5.6	-	2.8	2.8	5.6	2.8
年代別	18～19歳	16	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	92	23.9	9.8	6.5	-	1.1	-	2.2	-
	30～39歳	185	26.5	10.3	5.9	2.7	4.9	1.1	2.2	2.7
	40～49歳	269	23.4	6.7	3.0	0.4	6.3	2.6	1.9	2.2
	50～59歳	226	25.2	9.3	4.0	0.4	9.7	2.7	4.9	2.2
	60～64歳	144	28.5	10.4	1.4	1.4	8.3	3.5	4.9	2.1
	65～69歳	180	25.0	11.1	3.9	1.1	13.9	9.4	5.0	1.7
	70歳以上	306	33.3	6.9	2.6	-	10.1	9.8	8.2	1.0
	無回答	29	13.8	3.4	3.4	-	-	-	3.4	-
居住区別	中央区	179	28.5	10.1	3.4	0.6	6.7	4.5	2.8	1.7
	北区	192	23.4	4.7	2.6	-	8.3	5.2	6.3	1.0
	東区	177	29.4	9.6	2.8	2.3	8.5	6.8	5.6	1.7
	白石区	150	27.3	8.0	2.7	1.3	8.0	4.0	2.7	1.3
	厚別区	106	21.7	7.5	3.8	0.9	9.4	2.8	2.8	0.9
	豊平区	160	26.9	10.6	6.3	-	10.0	3.1	2.5	1.9
	清田区	84	31.0	10.7	6.0	-	6.0	6.0	4.8	3.6
	南区	107	26.2	15.9	6.5	1.9	12.1	5.6	6.5	3.7
	西区	159	27.0	7.5	1.9	-	7.5	3.1	6.9	1.9
	手稲区	97	27.8	3.1	1.0	1.0	6.2	7.2	1.0	-
	無回答	36	16.7	8.3	5.6	-	-	-	8.3	2.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

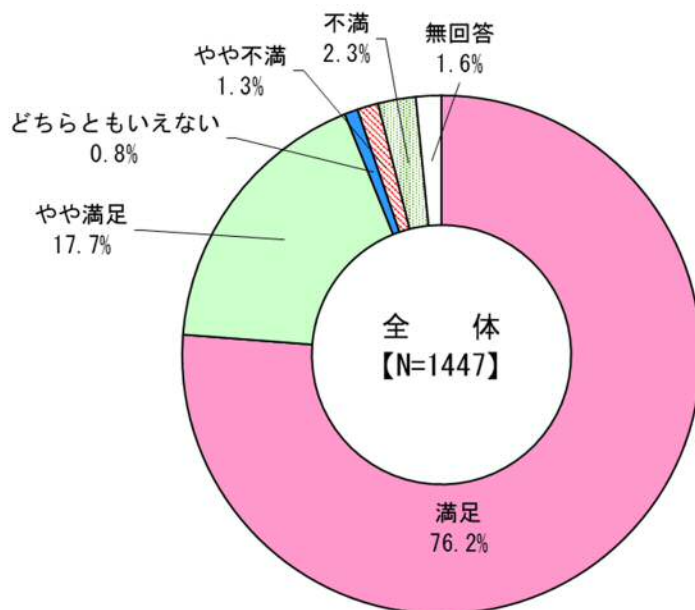
		回答者数	ラグビー	ウィンタースポーツ	その他のプロスポーツ	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	その他のアマチュアスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答
全体		1,447	1.8	4.9	1.5	4.6	1.5	2.6	56.5	3.7
性別	男性	560	3.2	7.0	1.3	7.7	2.1	2.3	52.3	3.0
	女性	851	0.8	3.4	1.5	2.6	0.9	2.8	59.8	3.2
	無回答	36	2.8	8.3	2.8	2.8	2.8	2.8	41.7	27.8
年代別	18～19歳	16	-	-	-	6.3	-	6.3	75.0	-
	20～29歳	92	1.1	4.3	2.2	2.2	2.2	1.1	64.1	1.1
	30～39歳	185	-	3.2	1.1	3.8	2.2	3.2	54.6	1.6
	40～49歳	269	1.1	5.6	0.7	7.1	1.9	3.7	58.7	1.5
	50～59歳	226	1.8	4.4	3.5	2.2	0.9	4.4	56.2	2.7
	60～64歳	144	4.2	4.2	1.4	6.9	1.4	2.1	58.3	2.1
	65～69歳	180	0.6	6.1	0.6	2.8	1.7	0.6	56.7	3.9
	70歳以上	306	3.6	5.6	1.3	5.6	0.7	2.0	52.3	6.9
	無回答	29	-	6.9	-	-	3.4	-	48.3	31.0
居住区別	中央区	179	1.7	5.6	1.1	5.0	1.1	2.2	58.7	1.1
	北区	192	1.0	3.6	1.6	4.7	1.6	3.6	60.9	2.6
	東区	177	1.1	5.6	1.7	5.1	2.3	1.1	53.7	4.0
	白石区	150	4.0	4.7	1.3	5.3	-	4.0	52.0	4.7
	厚別区	106	0.9	2.8	2.8	1.9	0.9	3.8	61.3	3.8
	豊平区	160	0.6	2.5	-	5.0	1.3	1.9	56.3	1.9
	清田区	84	3.6	7.1	1.2	3.6	1.2	3.6	52.4	3.6
	南区	107	5.6	9.3	4.7	6.5	1.9	3.7	53.3	5.6
	西区	159	0.6	4.4	1.3	5.7	2.5	1.9	57.9	3.1
	手稲区	97	1.0	4.1	-	2.1	1.0	2.1	57.7	3.1
	無回答	36	-	8.3	-	-	2.8	-	50.0	25.0

札幌の水道

【問 18】あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「4. やや不満」「5. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること
(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)

水道水の安定供給については、「満足」(76.2%)と「やや満足」(17.7%)を合わせた割合(93.9%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

「満足」が76.2%と最も高くなっている。次いで「やや満足」が17.7%、「不満」が2.3%、「やや不満」が1.3%、「どちらともいえない」が0.8%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高くなっており、男性は76.4%、女性は76.9%である。

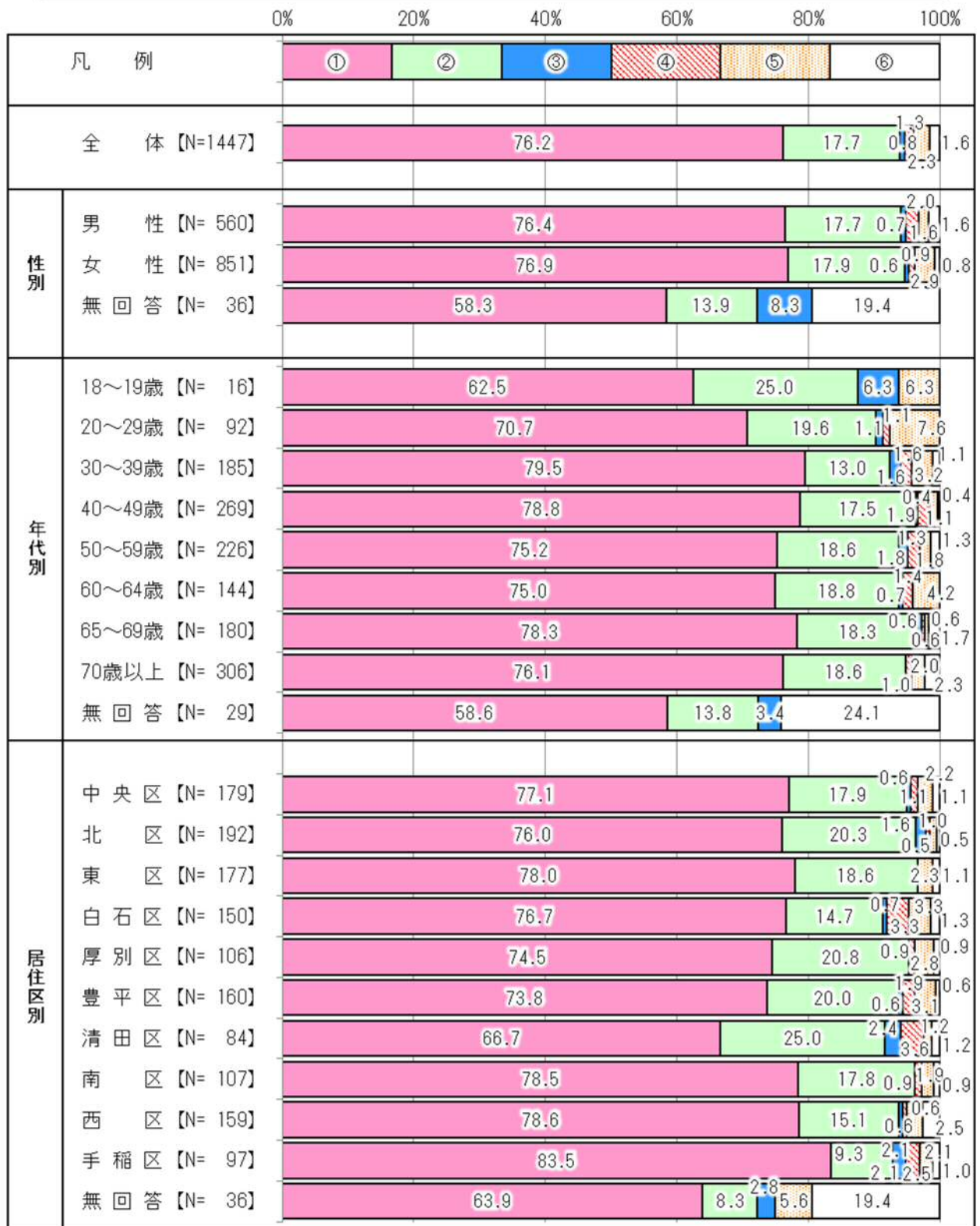
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「満足」が7割以上となっている。その中でも30歳代が79.5%と最も高く、20歳代が70.7%と最も低くなっている。

【居住区別】

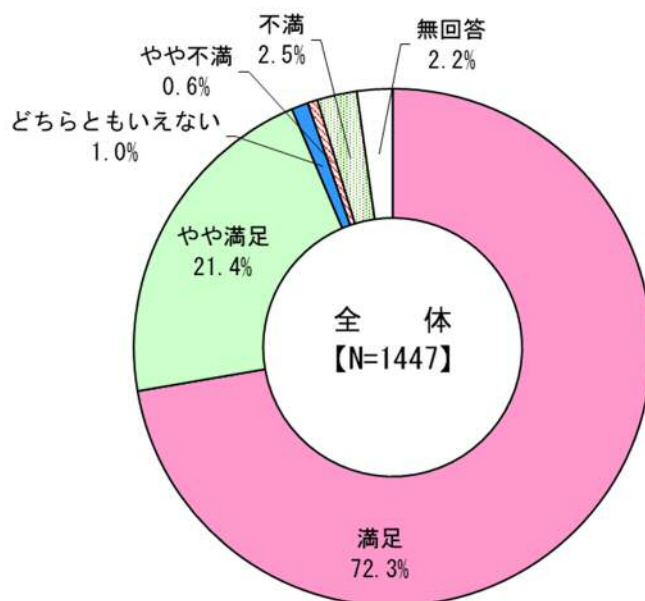
清田区を除く全居住区で「満足」が7割以上となっている。清田区では「満足」は66.7%となっている。

①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(72.3%)と「やや満足」(21.4%)を合わせた割合(93.7%)が約9割を占めている。



【対象者全体】

「満足」が72.3%、「やや満足」が21.4%、「不満」が2.5%、「どちらともいえない」が1.0%、「不満」が2.5%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が74.5%、女性が71.6%となっている。

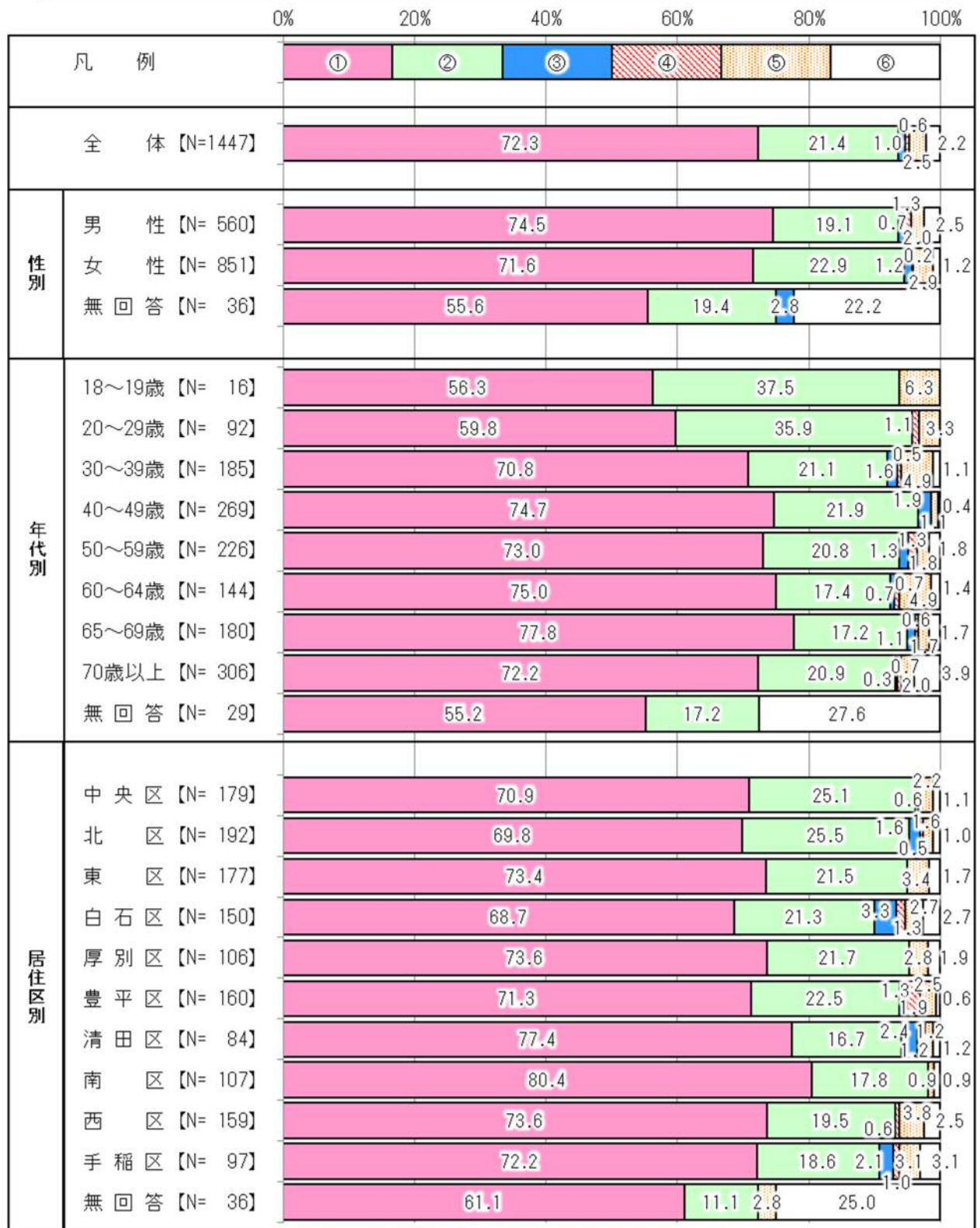
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代を除くすべての年代で「満足」が7割以上となっている。20歳代では「満足」は59.8%となっている。

【居住区別】

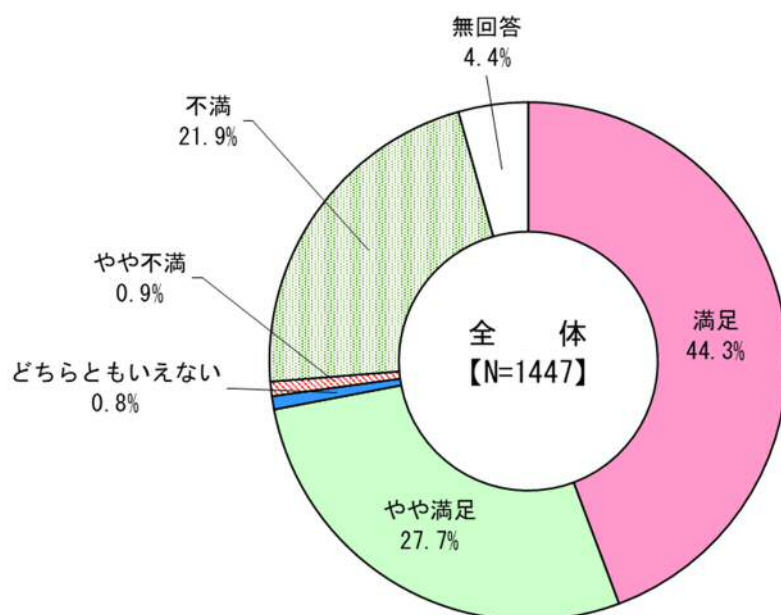
北区と白石区を除く全居住区で「満足」が7割以上となっている。その中でも南区が80.4%と最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



(3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報）

お客様サービスについては、「満足」（44.3%）と「やや満足」（27.7%）を合わせた割合（72.0%）が全体の7割を占めている。



【対象者全体】

「満足」が44.3%と最も高くなっている。次いで、「やや満足」が27.7%、「不満」が21.9%、「やや不満」が0.9%、「どちらともいえない」が0.8%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が42.3%、女性が45.7%となっている。

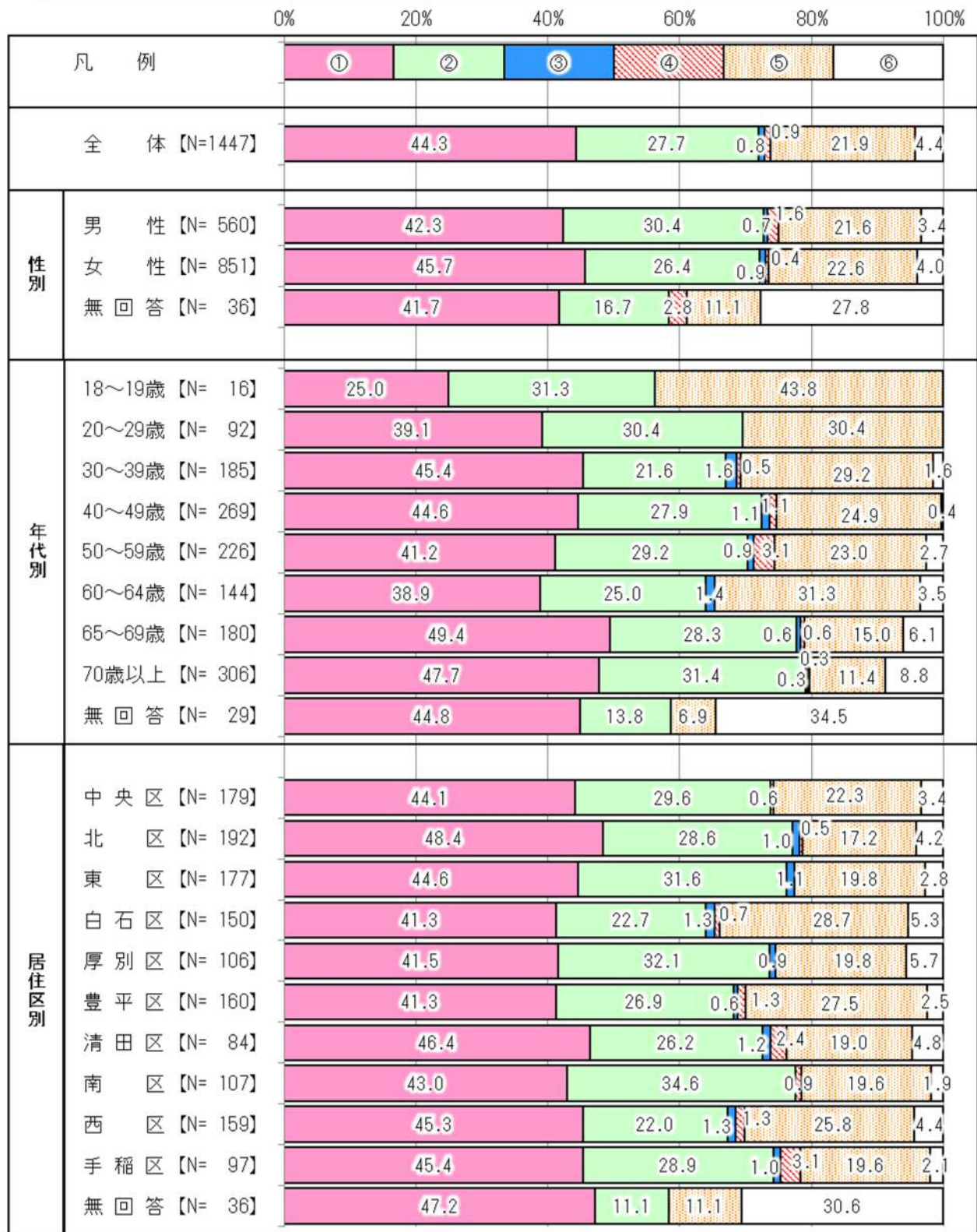
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「満足」が最も高くなっている。その中でも60歳代後半が49.4%と最も高く、60歳代前半が38.9%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高く4割以上となっている。

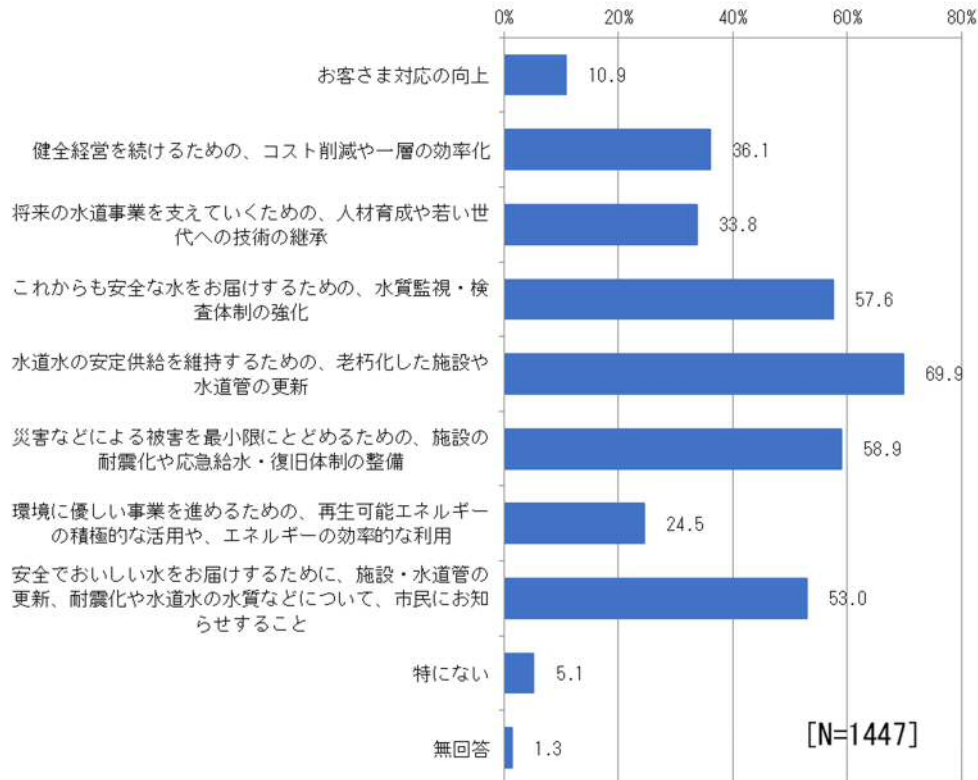
①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



水道に関する取り組み

【問 19】あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 69.9%と最も高くなっている。次いで、「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が 57.6%となっている。



【対象者全体】

「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 69.9%と最も高くなっている。次いで、「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が 58.9%、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 57.6%となっている。

【性別】

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、男性は72.9%、女性は68.7%となっている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代以外の年代では「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっている。20歳代では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が64.1%と最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっている。その中でも北区が74.0%と最も高くなっている。また手稲区では「安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて市民にお知らせすること」が63.9%と他の居住区より高くなっている。

(単位：%)

		回答者数	お客さま対応の向上	健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化	将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承	これからの安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化	水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新	急給水・復旧体制の整備	災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水	環境に優しい事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用	安全でおいしい水をお届けするため、水道の水質などについて、市民に知らせること	特にない	無回答
全体		1,447	10.9	36.1	33.8	57.6	69.9	58.9	24.5	53.0	5.1	1.3	
性別	男性	560	13.0	39.3	36.4	56.8	72.9	54.5	24.3	52.1	4.6	1.6	
	女性	851	9.3	34.3	32.4	58.9	68.7	62.4	24.8	54.1	5.4	0.4	
	無回答	36	13.9	27.8	25.0	41.7	50.0	47.2	22.2	41.7	5.6	19.4	
年代別	18～19歳	16	-	31.3	12.5	68.8	56.3	87.5	18.8	37.5	6.3	-	
	20～29歳	92	8.7	31.5	17.4	64.1	53.3	59.8	18.5	33.7	6.5	-	
	30～39歳	185	11.4	36.8	30.3	53.0	68.6	58.9	23.8	45.9	6.5	0.5	
	40～49歳	269	10.0	32.7	29.0	50.9	68.8	62.1	21.9	48.3	4.8	0.4	
	50～59歳	226	9.7	38.5	30.1	55.8	73.5	61.1	23.5	51.3	4.4	0.9	
	60～64歳	144	11.8	31.9	35.4	63.2	74.3	56.9	30.6	57.6	5.6	-	
	65～69歳	180	7.8	40.6	43.9	60.0	70.0	58.9	23.9	56.7	4.4	1.7	
	70歳以上	306	14.7	38.2	43.1	63.4	74.5	56.2	28.8	66.7	4.9	2.0	
無回答	29	10.3	31.0	24.1	34.5	48.3	34.5	13.8	34.5	3.4	20.7		
居住区別	中央区	179	6.7	38.5	37.4	58.7	72.1	60.9	23.5	53.1	2.8	1.1	
	北区	192	7.8	37.5	29.7	57.8	74.0	58.9	24.5	52.1	5.2	-	
	東区	177	11.9	33.9	28.8	57.1	72.9	64.4	26.0	52.0	4.0	-	
	白石区	150	10.0	34.7	27.3	58.7	68.7	56.0	20.0	48.7	6.0	1.3	
	厚別区	106	13.2	35.8	39.6	53.8	67.9	61.3	25.5	58.5	3.8	-	
	豊平区	160	14.4	36.3	33.8	56.3	65.0	55.6	23.8	45.6	8.1	0.6	
	清田区	84	6.0	29.8	40.5	54.8	73.8	61.9	25.0	54.8	4.8	2.4	
	南区	107	15.0	31.8	33.6	60.7	64.5	57.9	27.1	60.7	8.4	1.9	
	西区	159	13.8	37.1	37.1	64.2	71.7	56.0	24.5	53.5	4.4	1.9	
	手稲区	97	9.3	43.3	41.2	55.7	72.2	66.0	30.9	63.9	5.2	1.0	
無回答	36	13.9	36.1	22.2	41.7	47.2	33.3	16.7	38.9	2.8	16.7		

対象者全体の値と比較し10%以上高い

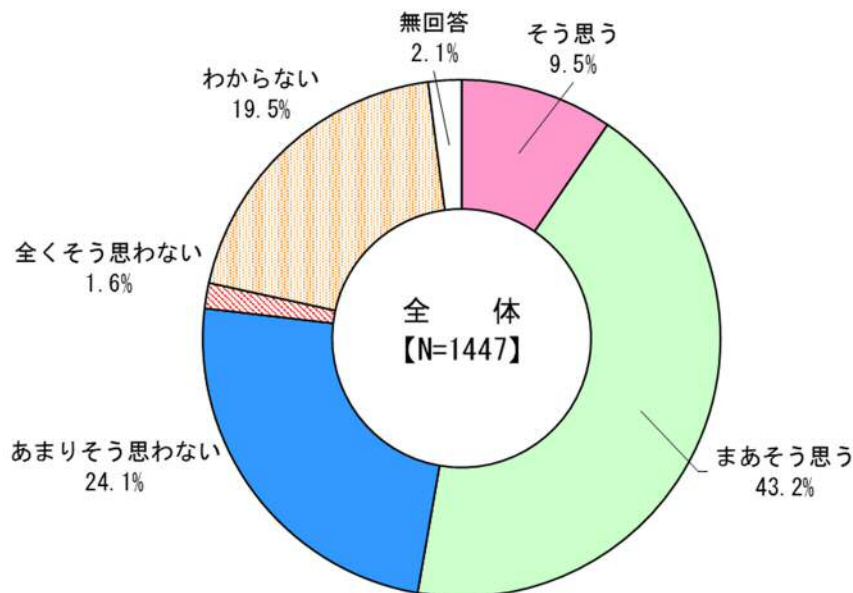
対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2)「産業・活力」について

自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問 20】あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「そう思う」(9.5%)と「まあそう思う」(43.2%)をあわせた割合(52.7%)が全体の5割強を占めている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が43.2%と最も高くなっている。次いで、「あまりそう思わない」が24.1%、「わからない」が19.5%、「そう思う」が9.5%、「全くそう思わない」が1.6%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が43.8%、女性が43.5%となっている。

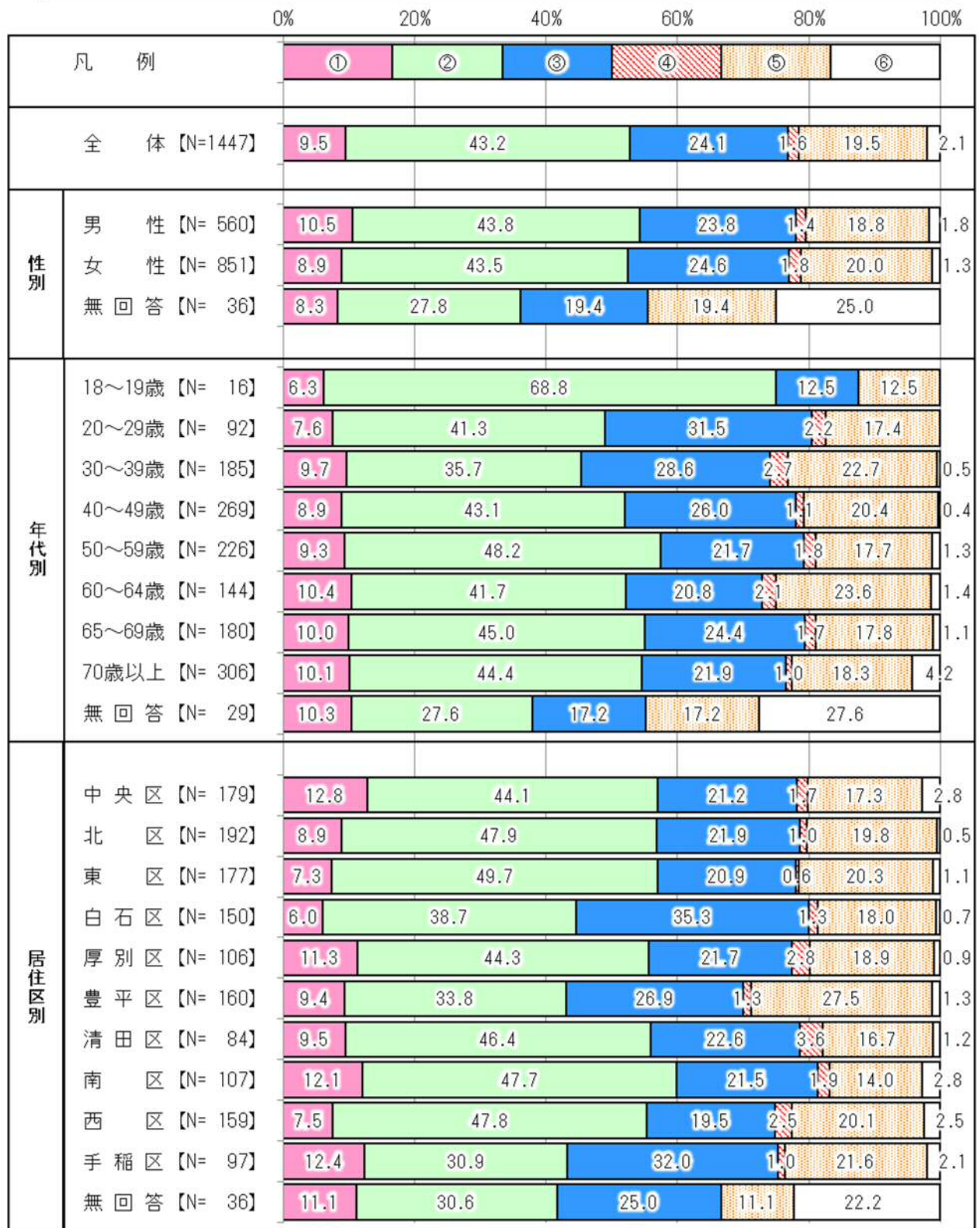
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。中でも50歳代が48.2%と最も高く、30歳代が35.7%と最も低くなっている。

【居住区別】

手稲区を除く全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。手稲区では「あまりそう思わない」が32.0%と最も高くなっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

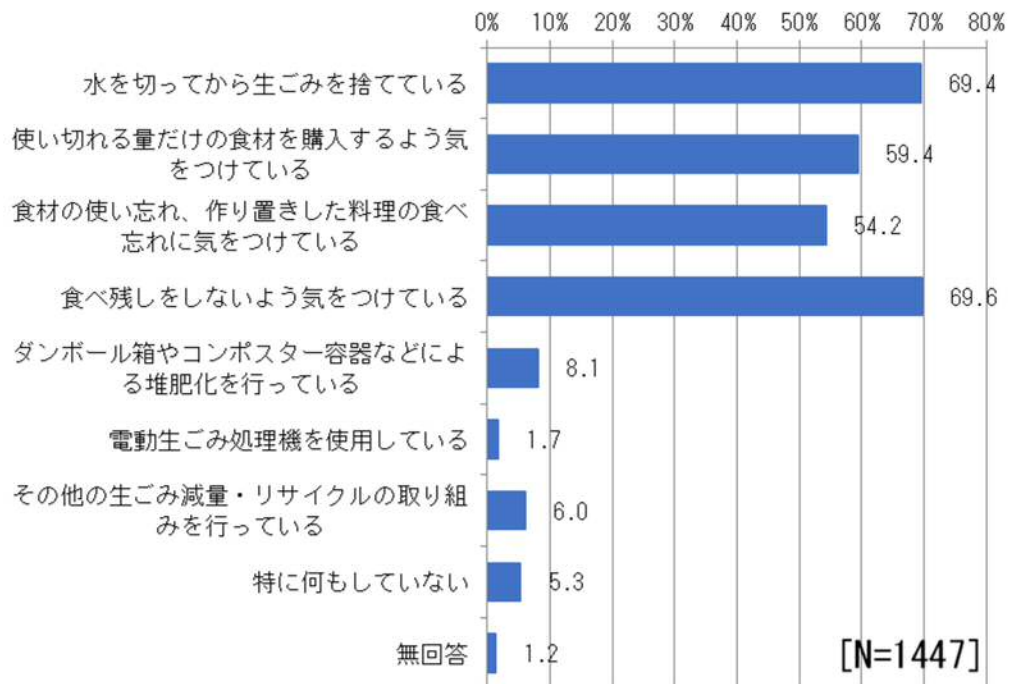


(3)「低炭素社会・エネルギー転換」について

生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問 21】生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「食べ残しをしないよう気をつけている」が 69.6%と最も高くなっている。次いで、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 69.4%となっている。



【対象者全体】

「食べ残しをしないよう気をつけている」が 69.6%と最も高くなっている。次いで、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 69.4%、「使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている」が 59.4%、「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 54.2%となっている。

【性別】

男性は「食べ残しをしないよう気をつけている」が最も高く、女性は「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代から 40 歳代では「食べ残しをしないよう気をつけている」が、その他の年代では「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。70 歳以上では「水を切ってから生ごみを捨てている」が他の年代よりも高い、一方で、20 歳代と 30 歳代では他の年代よりも低くなっている。20 歳代では「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

清田区では「使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている」が、他の区よりも低くなっている。

(単位：%)

		回答者数	水を切つてから生ごみを捨てている	使い切れる量だけの食材を購入する	食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている	食べ残しをしないよう気をつけている	ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答
全体		1,447	69.4	59.4	54.2	69.6	8.1	1.7	6.0	5.3	1.2
性別	男性	560	62.9	54.8	47.1	71.3	8.2	2.1	5.4	7.1	1.3
	女性	851	74.1	63.1	59.1	69.0	8.0	1.4	6.3	4.0	0.4
	無回答	36	58.3	44.4	47.2	58.3	8.3	-	8.3	5.6	22.2
年代別	18～19歳	16	62.5	50.0	56.3	81.3	6.3	-	-	-	-
	20～29歳	92	56.5	58.7	40.2	71.7	4.3	2.2	5.4	4.3	-
	30～39歳	185	59.5	64.9	48.6	67.0	3.8	0.5	2.2	7.6	0.5
	40～49歳	269	62.5	60.6	51.7	66.5	5.2	1.1	3.3	7.1	0.4
	50～59歳	226	69.5	61.5	58.8	69.0	8.0	2.7	8.4	4.9	0.9
	60～64歳	144	74.3	56.3	53.5	68.1	11.1	1.4	5.6	4.2	0.7
	65～69歳	180	77.2	54.4	60.0	72.8	8.9	1.7	5.0	3.9	1.1
	70歳以上	306	81.4	60.8	58.8	73.9	12.4	2.3	10.1	4.2	1.0
	無回答	29	41.4	37.9	37.9	48.3	10.3	-	6.9	6.9	27.6
居住区別	中央区	179	69.3	68.2	55.9	70.9	4.5	1.7	4.5	4.5	0.6
	北区	192	66.1	60.9	56.8	68.8	6.3	1.6	6.8	5.2	-
	東区	177	67.8	57.6	60.5	71.2	6.8	0.6	4.5	5.6	-
	白石区	150	68.7	60.7	48.0	69.3	6.0	4.0	5.3	6.0	0.7
	厚別区	106	74.5	63.2	62.3	70.8	7.5	0.9	5.7	5.7	0.9
	豊平区	160	68.8	62.5	50.0	68.8	7.5	0.6	8.1	5.0	0.6
	清田区	84	69.0	46.4	47.6	76.2	16.7	3.6	9.5	4.8	-
	南区	107	71.0	61.7	56.1	70.1	14.0	1.9	3.7	4.7	2.8
	西区	159	71.7	56.0	52.8	65.4	10.1	1.3	4.4	7.5	1.3
	手稲区	97	74.2	54.6	54.6	73.2	6.2	1.0	10.3	2.1	1.0
	無回答	36	58.3	38.9	36.1	52.8	13.9	2.8	5.6	5.6	22.2

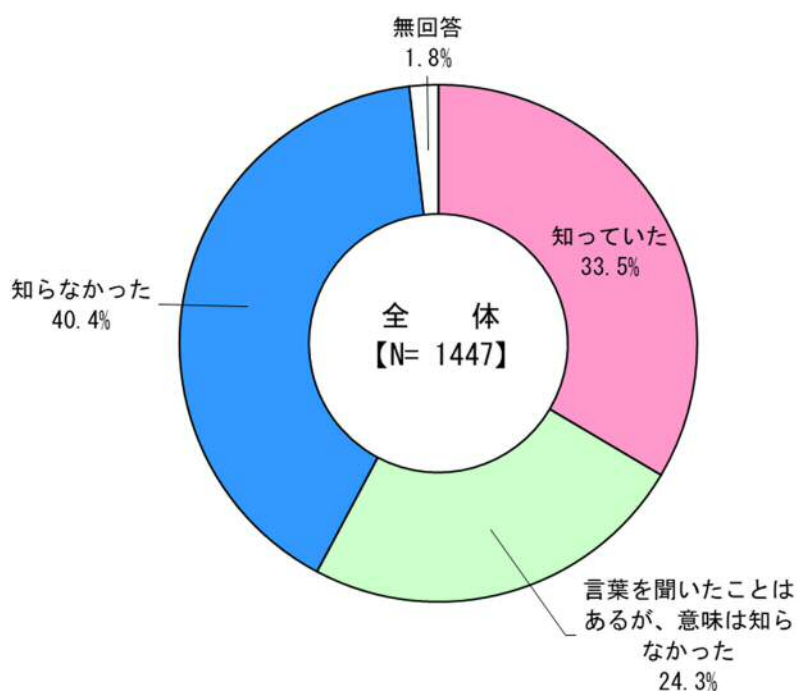
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

「生物多様性」の言葉の意味

【問 22】「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいいます。空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性がもたらす様々な恵みにより支えられています。あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「生物多様性」の言葉の意味については、「知らなかった」が40.4%と最も高くなっている。次いで、「知っていた」が33.5%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が24.3%となっている。



【対象者全体】

「知らなかった」が40.4%と最も高くなっている。次いで、「知っていた」が33.5%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が24.3%となっている。

【性別】

男性では「知っていた」が最も高く41.4%となっている。一方、女性では「知らなかった」が最も高く45.7%となっている。

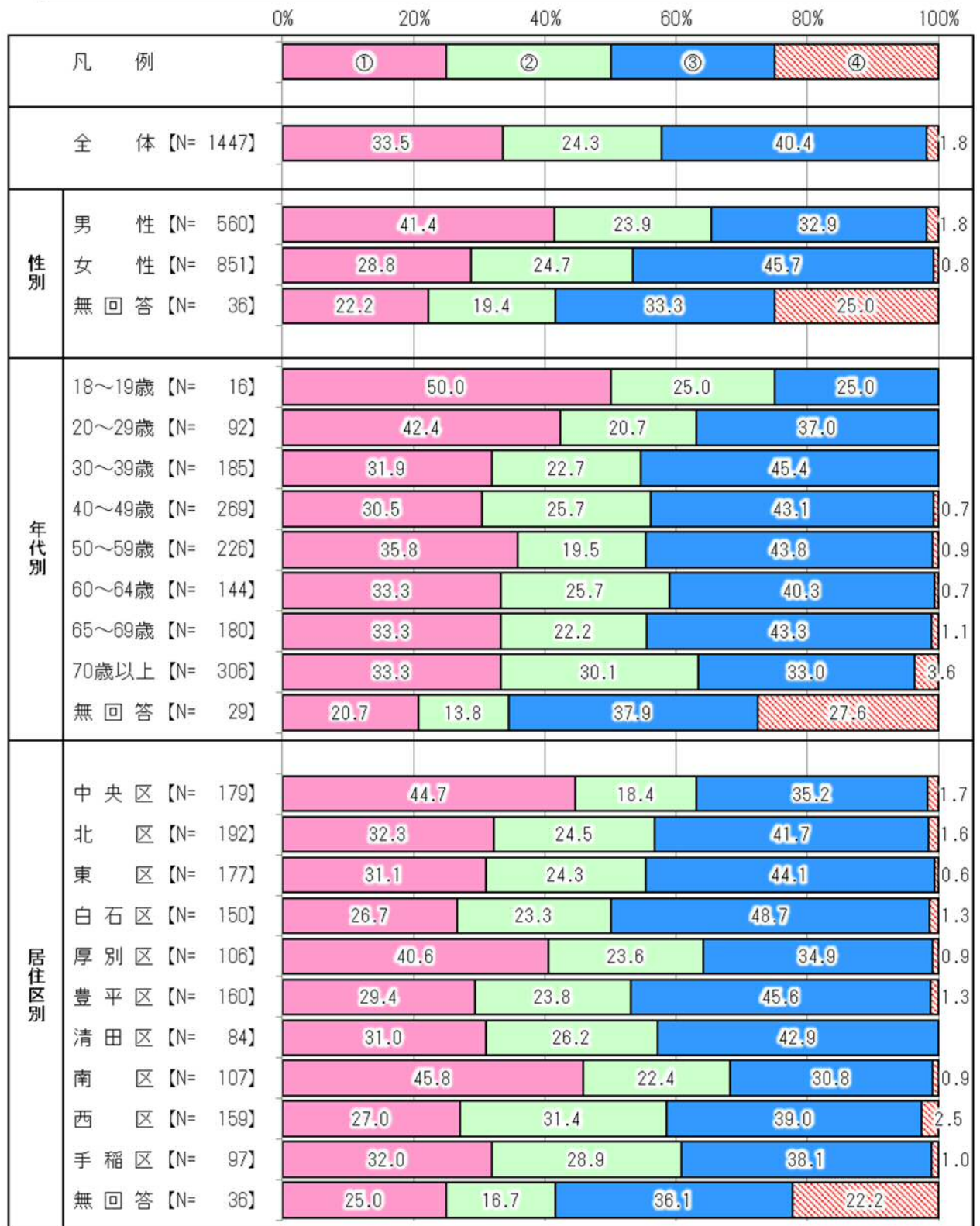
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代と70歳以上では「知っていた」が最も高く、その他の年代では「知らなかった」が最も高くなっている。20歳代では「知っていた」が42.4%と最も高くなっている。

【居住区別】

厚別区と南区では「知っていた」が、その他の居住区では「知らなかった」が最も高くなっている。

①知っていた ②言葉を聞いた事はあるが、意味は知らなかった ③知らなかった ④無回答

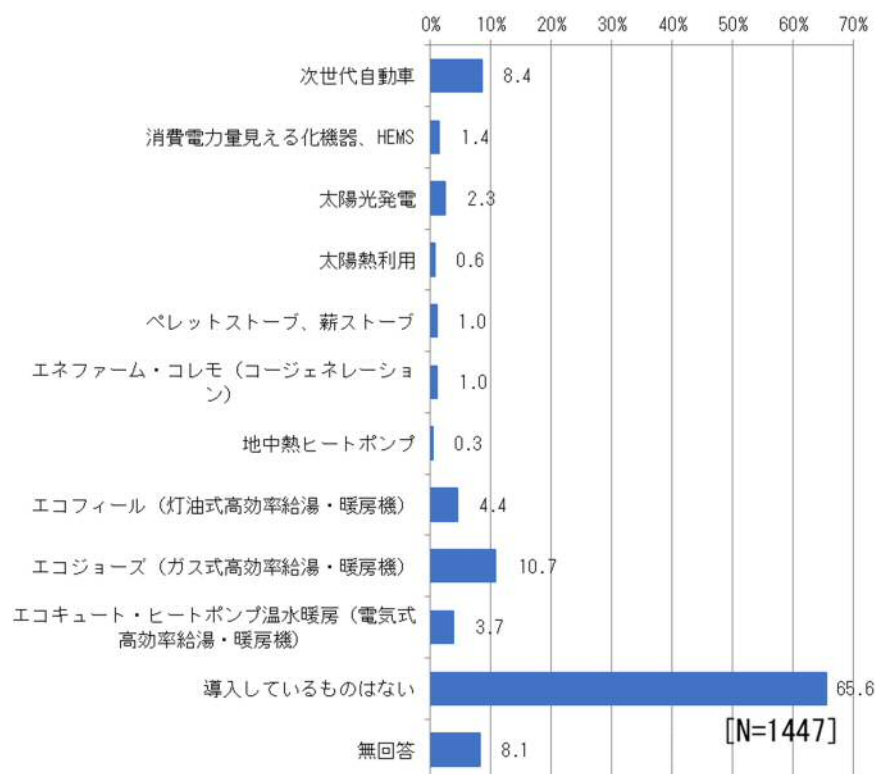


環境配慮活動について

【問 23】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、「導入しているものはない」が 65.6%と最も高くなっている。



※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

【対象者全体】

「導入しているものはない」が**65.6%**と最も高くなっている。次いで、「エコジョーズ」が**10.7%**、「次世代自動車」が**8.4%**、「エコフィール」が**4.4%**となっている。

【性別】

男女ともに「導入しているものはない」が最も高く、男性が**69.1%**、女性が**65.3%**となっている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも20歳代は**81.5%**と最も高く、70歳以上は**59.2%**と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも豊平区は**77.5%**と最も高く、南区は**57.9%**と最も低くなっている。

(単位：%)

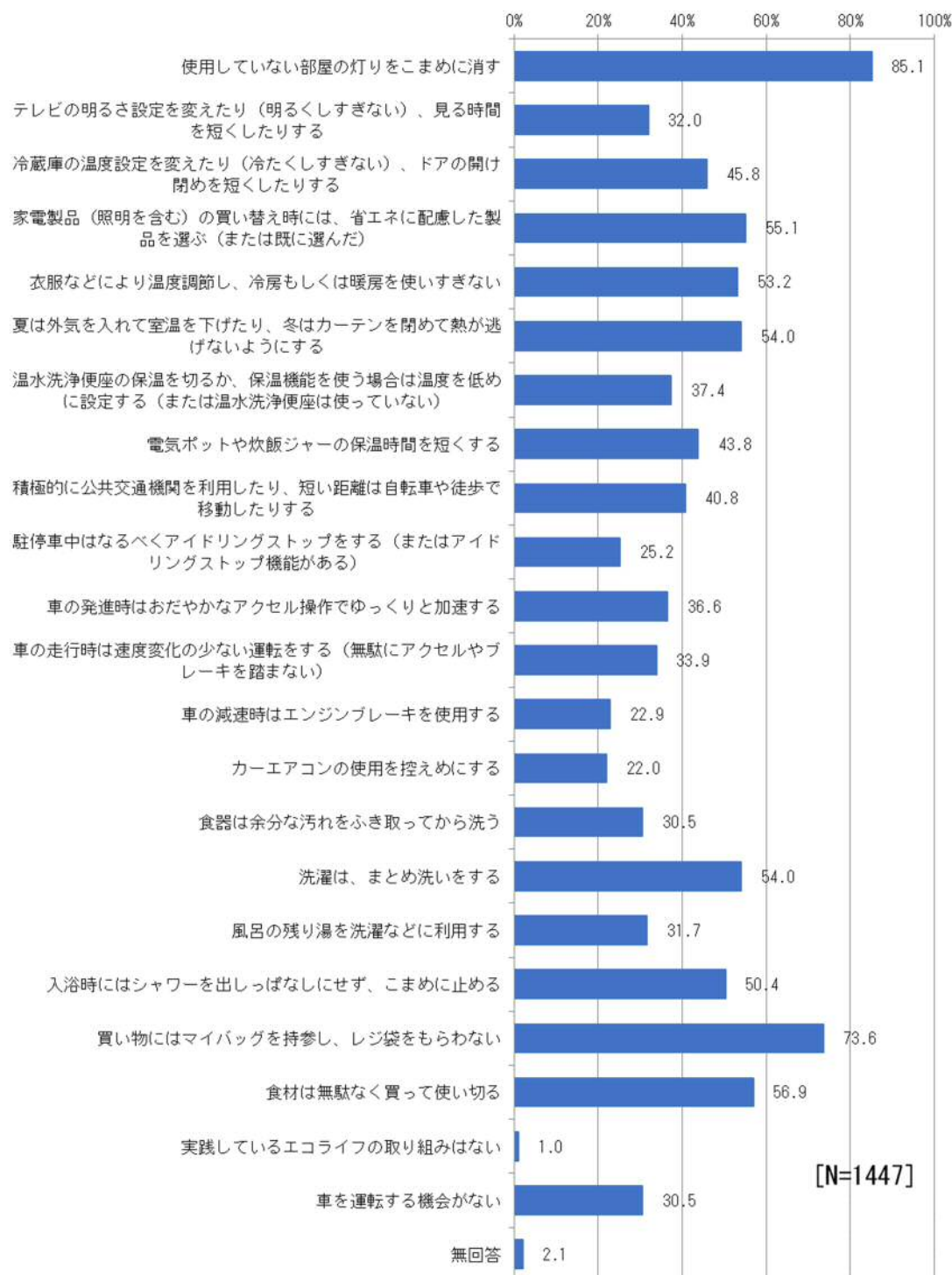
	回答者数	次世代自動車	H E M S 消費電力量見える化機器、	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、薪ストーブ	エネファーム・コレモ（コージェネレーション）	地中熱ヒートポンプ	湯・暖房機	エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機）	エコジョーズ（ガス式高効率給湯・暖房機）	エコキュート・ヒートポンプ温水暖房（電気式高効率給湯・暖房機）	導入しているものはない	無回答
全体	1,447	8.4	1.4	2.3	0.6	1.0	1.0	0.3	4.4	10.7	3.7	65.6	8.1	
性別	男性	560	11.4	2.5	2.1	0.5	0.7	1.4	0.2	4.5	9.3	2.1	69.1	3.9
	女性	851	6.8	0.7	2.6	0.7	1.2	0.8	0.4	4.2	12.0	4.9	65.3	7.9
	無回答	36	-	-	-	-	-	-	-	5.6	2.8	-	16.7	77.8
年代別	18～19歳	16	18.8	-	-	-	6.3	-	-	-	6.3	-	68.8	-
	20～29歳	92	5.4	2.2	1.1	-	1.1	-	-	1.1	2.2	4.3	81.5	3.3
	30～39歳	185	7.0	1.1	1.6	-	-	-	0.5	1.1	16.8	3.2	69.7	3.8
	40～49歳	269	9.3	2.2	3.7	1.1	0.7	2.2	-	1.1	14.1	5.9	67.3	3.3
	50～59歳	226	8.0	0.4	1.8	-	0.9	0.9	0.9	4.0	11.1	3.5	73.0	1.8
	60～64歳	144	12.5	2.1	2.8	-	2.1	0.7	-	4.2	9.7	1.4	66.0	5.6
	65～69歳	180	11.7	1.1	2.8	1.1	1.1	1.7	0.6	6.1	12.2	3.9	60.0	8.3
	70歳以上	306	6.2	1.3	2.3	1.3	1.0	1.0	-	10.1	7.2	3.6	59.2	15.0
無回答	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.8	86.2	
居住区別	中央区	179	11.2	2.2	3.4	-	1.7	1.7	0.6	2.8	16.8	1.7	64.2	3.4
	北区	192	9.9	0.5	2.6	0.5	1.0	1.0	-	5.7	13.0	5.2	60.4	8.3
	東区	177	9.0	0.6	-	0.6	-	1.1	-	4.0	7.9	-	70.6	7.9
	白石区	150	9.3	2.0	3.3	1.3	-	0.7	0.7	4.0	10.0	7.3	65.3	4.7
	厚別区	106	4.7	0.9	1.9	-	0.9	-	-	1.9	12.3	2.8	70.8	7.5
	豊平区	160	4.4	1.3	0.6	-	0.6	1.3	-	5.6	5.6	3.1	77.5	6.3
	清田区	84	9.5	-	3.6	1.2	2.4	-	1.2	3.6	9.5	8.3	63.1	7.1
	南区	107	9.3	2.8	1.9	2.8	1.9	2.8	-	7.5	10.3	6.5	57.9	6.5
	西区	159	8.8	3.1	4.4	0.6	0.6	1.3	0.6	4.4	11.3	3.1	68.6	6.3
	手稲区	97	9.3	-	3.1	-	1.0	-	-	4.1	12.4	3.1	67.0	5.2
無回答	36	-	-	-	-	2.8	-	-	2.8	-	-	19.4	77.8	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) 次のエコライフの取り組みのうち、あなたが常に実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

エコライフの実践については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 85.1%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 73.6%となっている。



【対象者全体】

「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 85.1%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 73.6%、「食材は無駄なく買って使い切る」が 56.9%となっている。

【性別】

男女ともに「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。男性では車の運転に関する内容が、女性ではテレビ・料理・洗濯・買い物に関する内容が高くなっている傾向にある。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。60歳代では「家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）」が他の年代よりも高くなっている。一方で、20歳代では「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」（50.0%）など多くの項目で他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。特に手稲区では「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」（84.5%）など多くの項目で他の区よりも高くなっている。

		回答者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする	冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）	衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない	夏は外気を入れて室温を下げる、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする	駐停車中はなるべくアイドリングストップ機能がある）	車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆつくりと加速する
全体		1,447	85.1	32.0	45.8	55.1	53.2	54.0	37.4	43.8	40.8	25.2	36.6
性別	男性	560	86.4	28.4	39.8	53.2	50.5	51.8	30.4	32.3	40.7	34.3	46.3
	女性	851	86.8	35.3	50.6	57.7	56.2	56.9	43.0	52.4	41.8	20.0	31.1
	無回答	36	25.0	11.1	25.0	25.0	25.0	22.2	13.9	19.4	16.7	8.3	13.9
年代別	18～19歳	16	87.5	37.5	25.0	12.5	56.3	68.8	31.3	25.0	50.0	18.8	6.3
	20～29歳	92	81.5	21.7	27.2	26.1	40.2	46.7	19.6	31.5	31.5	15.2	20.7
	30～39歳	185	90.3	31.9	38.9	43.2	51.9	48.6	41.1	48.1	36.2	27.0	41.1
	40～49歳	269	87.0	34.6	45.4	50.9	52.8	55.4	41.3	46.1	36.4	24.2	39.0
	50～59歳	226	88.1	38.5	56.2	62.4	57.1	56.6	45.1	54.9	42.5	28.3	37.2
	60～64歳	144	84.7	30.6	52.1	66.0	51.4	53.5	33.3	45.1	47.9	34.0	46.5
	65～69歳	180	88.9	30.6	46.1	71.1	62.2	58.3	38.9	42.2	40.0	31.1	42.2
	70歳以上	306	84.0	31.7	50.0	61.8	54.9	57.8	35.9	39.2	49.0	20.6	32.7
	無回答	29	13.8	6.9	6.9	6.9	10.3	6.9	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4
居住区別	中央区	179	84.9	32.4	45.3	59.2	60.9	59.8	38.5	44.7	52.5	22.9	37.4
	北区	192	82.8	27.6	40.6	53.6	44.8	44.8	35.9	41.1	35.4	27.1	32.3
	東区	177	86.4	34.5	50.8	52.0	55.9	53.1	41.8	45.8	44.6	27.7	39.0
	白石区	150	88.0	34.0	48.7	55.3	61.3	56.0	35.3	43.3	42.0	26.7	40.7
	厚別区	106	81.1	36.8	52.8	57.5	53.8	57.5	34.0	44.3	34.9	22.6	31.1
	豊平区	160	85.6	31.9	43.1	47.5	48.8	54.4	41.9	46.3	41.9	18.8	30.0
	清田区	84	83.3	22.6	42.9	57.1	46.4	47.6	40.5	41.7	28.6	23.8	44.0
	南区	107	93.5	33.6	44.9	61.7	56.1	56.1	34.6	45.8	34.6	29.0	43.0
	西区	159	86.2	34.0	41.5	57.2	52.2	58.5	39.0	42.1	47.2	23.3	37.7
	手稲区	97	96.9	36.1	59.8	67.0	63.9	66.0	39.2	51.5	43.3	39.2	43.3
	無回答	36	33.3	16.7	22.2	19.4	13.9	16.7	5.6	19.4	11.1	8.3	11.1
対象者全体の値と比較し10%以上高い					対象者全体の値と比較し10%以上低い								

(単位：%)

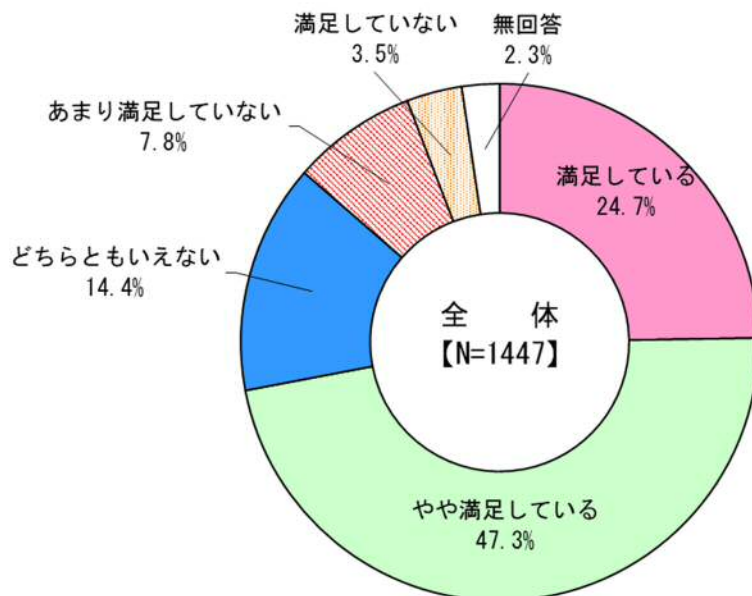
	回答者数	車の走行時は速度変化の少ない運転をする(無駄にアクセルやブレーキを踏まない)	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いをする	風呂の残り湯を洗濯などに利用する	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持ち、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	実践しているエコライフの取り組みはない	車を運転する機会がない	無回答	
全体	1,447	33.9	22.9	22.0	30.5	54.0	31.7	50.4	73.6	56.9	1.0	30.5	2.1	
性別	男性	560	44.8	31.3	26.1	23.0	48.6	30.2	51.1	68.6	53.9	1.6	20.0	0.2
	女性	851	27.6	18.0	19.6	36.0	59.1	33.5	51.2	78.8	60.3	0.7	38.4	0.6
	無回答	36	11.1	8.3	16.7	19.4	19.4	11.1	19.4	27.8	22.2	-	8.3	69.4
年代別	18～19歳	16	6.3	-	6.3	12.5	31.3	31.3	37.5	50.0	25.0	-	62.5	-
	20～29歳	92	21.7	10.9	14.1	16.3	62.0	23.9	38.0	62.0	50.0	1.1	42.4	1.1
	30～39歳	185	36.8	23.2	17.8	22.2	60.5	27.0	49.7	70.3	55.7	-	28.6	-
	40～49歳	269	37.2	21.9	21.2	25.7	53.5	33.8	43.9	70.3	56.5	0.4	20.4	-
	50～59歳	226	34.5	24.3	24.3	37.6	52.2	37.2	52.7	77.9	61.1	0.4	29.6	-
	60～64歳	144	43.1	34.0	25.0	31.9	49.3	32.6	55.6	81.3	59.0	-	22.9	-
	65～69歳	180	38.3	25.6	27.2	36.1	58.3	34.4	57.2	83.3	59.4	0.6	31.1	0.6
	70歳以上	306	29.4	22.2	23.9	38.2	54.9	31.0	56.9	76.8	60.8	3.6	41.2	1.6
	無回答	29	6.9	3.4	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	10.3	6.9	-	10.3	82.8
居住区別	中央区	179	31.8	14.5	19.6	30.2	53.1	27.9	49.7	74.9	66.5	1.1	41.9	-
	北区	192	29.7	21.4	20.8	33.9	51.0	29.7	49.0	74.0	56.3	1.0	33.9	-
	東区	177	36.2	23.7	19.8	28.2	58.2	31.6	54.2	72.9	54.8	-	28.8	1.1
	白石区	150	36.7	23.3	28.0	29.3	57.3	30.7	52.0	76.7	57.3	0.7	29.3	-
	厚別区	106	34.9	28.3	20.8	32.1	52.8	38.7	51.9	68.9	53.8	0.9	35.8	1.9
	豊平区	160	26.3	18.1	18.1	31.3	55.0	26.9	46.3	68.1	50.6	1.3	30.6	0.6
	清田区	84	38.1	28.6	28.6	23.8	54.8	36.9	48.8	79.8	46.4	-	17.9	1.2
	南区	107	39.3	31.8	28.0	31.8	57.0	43.0	59.8	82.2	60.7	2.8	26.2	-
	西区	159	37.7	23.9	15.7	30.8	53.5	27.7	47.8	74.2	61.0	1.3	32.7	0.6
	手稲区	97	41.2	30.9	33.0	39.2	62.9	41.2	60.8	84.5	70.1	2.1	21.6	-
	無回答	36	11.1	5.6	13.9	11.1	8.3	11.1	8.3	22.2	16.7	-	11.1	66.7

(4)「戦略を支える都市空間」について

住環境の満足度

【問 24】あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(24.7%)と「やや満足している」(47.3%)を合わせた割合(72.0%)が全体の7割強を占めている。



【対象者全体】

「やや満足している」が47.3%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が24.7%、「どちらともいえない」が14.4%、「あまり満足していない」が7.8%、「満足していない」が3.5%となっている。

【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性が46.3%、女性が49.8%となっている。

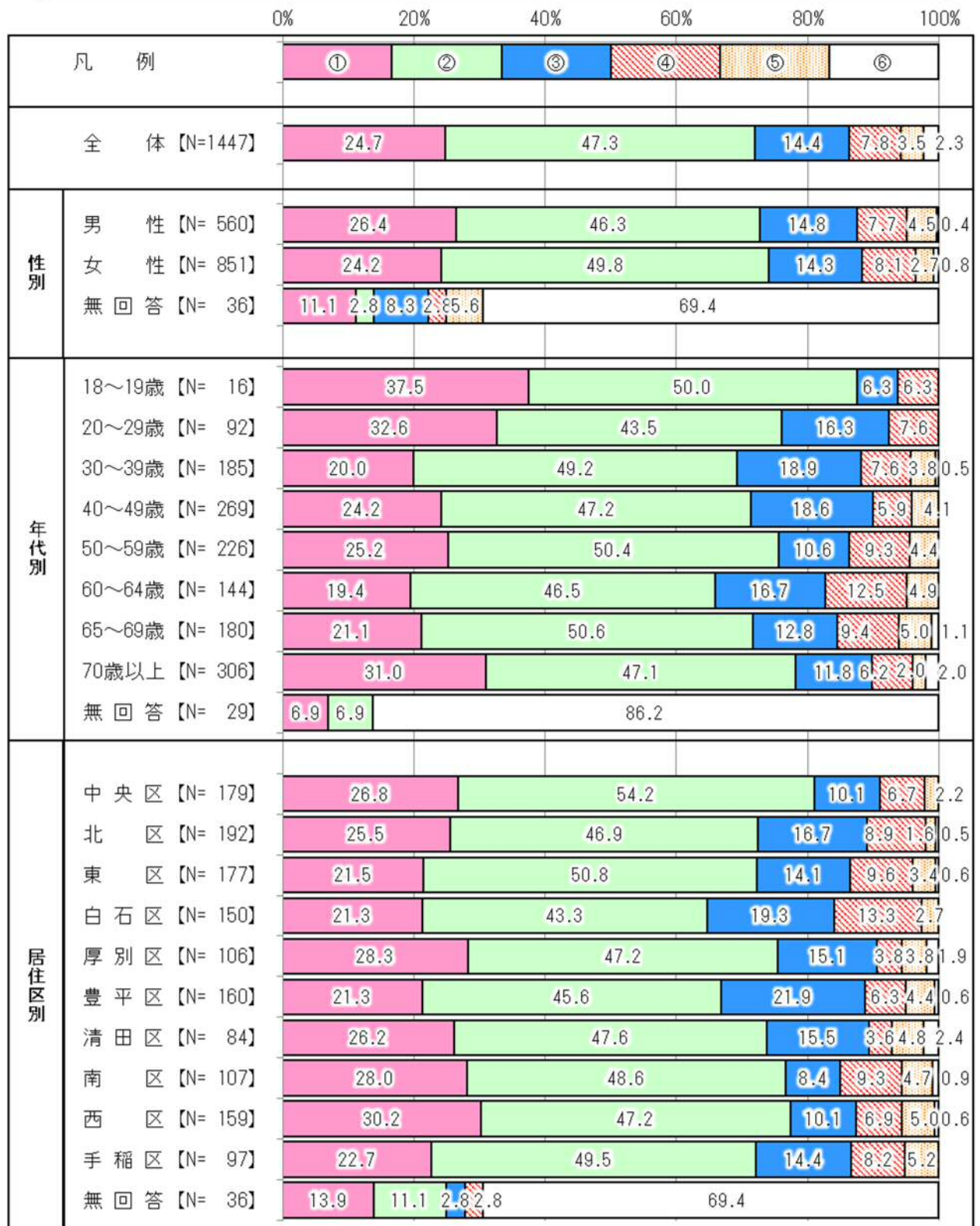
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「やや満足している」が最も高く、いずれも40%台後半～50%前後となっている。20歳代と70歳以上では「満足している」が30%台と、他の年代よりもやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高くなっている。その中でも中央区が54.2%と最も高く、白石区が43.3%と最も低くなっている。「満足している」が西区では30.2%と他の区よりもやや高くなっている。

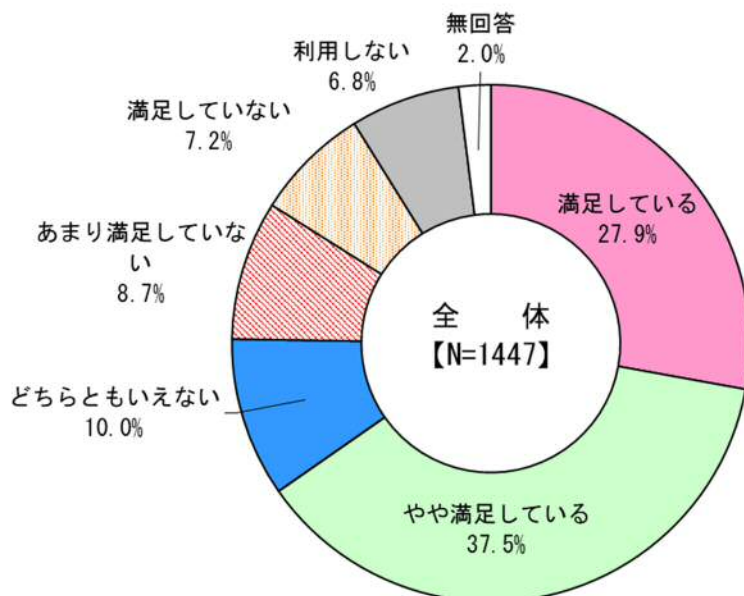
①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない
 ⑤満足していない ⑥無回答



公共交通の満足度

【問 25】あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(27.9%)と「やや満足している」(37.5%)を合わせた割合(65.4%)が全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「やや満足している」が37.5%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が27.9%、「どちらともいえない」が10.0%、「あまり満足していない」が8.7%、「満足していない」が7.2%、「利用しない」が6.8%となっている。

【性別】

男女とも「やや満足している」が最も高く、男性が38.0%、女性が38.2%となっている。

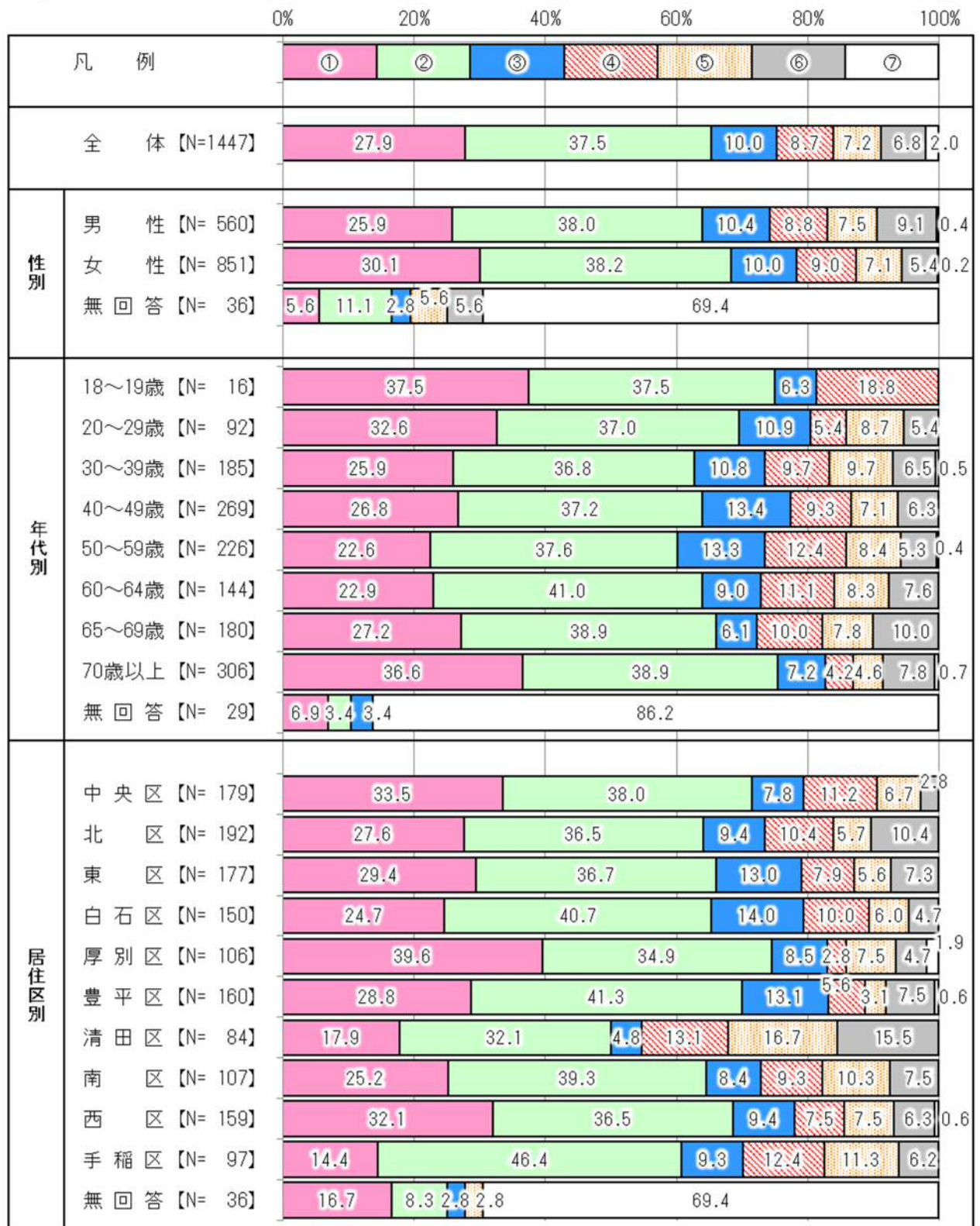
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「やや満足している」が最も高くなっている。「満足している」は20歳代と70歳以上で30%以上と高く、50歳代と60歳代前半で低くなっている。

【居住区別】

厚別区では「満足している」が最も高く、その他の居住区では「やや満足している」が最も高くなっている。清田区と手稲区は「満足している」が10%台と他の区よりも低くなっている。

①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない
 ⑤満足していない ⑥利用しない ⑦無回答



3. 調査票

平成 30 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査
～アンケート調査へのご協力をお願い～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から 4,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはございません。また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまるところ（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 31 年 2 月 22 日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市総務局 改革推進室推進課 担当：須藤・林 まで
TEL：011-211-2061
FAX：011-218-5194

平成 30 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

「暮らし・コミュニティ」について

問1 あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利[※]が大切にされていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために大切にされなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問4 この設問は18歳以下のお子さんがある方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いる（ある） (2)へ 2. いない（ない） 3. 悩んだことはない

(2) (1)で「1. いる（ある）」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつもできている 2. だいたいできている 3. あまりできていない 4. 全くできていない

問5 この設問は小学校入学前のお子さんがある方にのみお聞きします。あなたは、この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

問6 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|-------|-------------------|-------|
| 1. 感じている | ⇒(2)へ | 2. どちらかといえば感じている | ⇒(2)へ |
| 3. どちらともいえない | | 4. どちらかといえば感じていない | |
| 5. 感じていない | | | |

(2) (1)で「1. 感じている」または「2. どちらかといえば感じている」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------------|-------|--------|----------|-------|
| 1. 家計 | 2. 仕事 | 3. 子育て | 4. 自分の健康 | 5. 家事 |
| 6. その他（具体的に | | | | ） |

<この設問からは皆様にお聞きします。>

問7 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。）

- | | | | |
|--------------|-----------------|--------------|----------------|
| 1. 本人 | 2. 配偶者 | 3. 子または子の配偶者 | 4. 子のうち18歳以下の子 |
| 5. 親または配偶者の親 | 6. その他（祖父母・孫など） | 7. いない | |

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

問8 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 区役所や保健センターなど市の窓口 | 2. 地域包括支援センター |
| 3. 介護予防センター | 4. 健康づくりセンター |
| 5. 病院や診療所 | 6. ケアマネジャーやホームヘルパー |
| 7. 入所中の施設や入居中の住宅の相談員など | 8. 民生委員 |
| 9. 福祉のまち推進センター | 10. 町内会 |
| 11. 家族・親戚 | 12. 知人 |
| 13. 人権擁護委員 | 14. 老人福祉センター |
| 15. その他（具体的に | ） |
| 16. わからない | 17. 特にない |

問9 あなたは、孤立死※について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 心配である | 2. 少し心配である |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり心配していない |
| 5. 心配していない | 6. わからない |

問10 次にあげるまちづくり活動※のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

- | |
|--|
| 1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守 |
| 2. 近隣のごみ拾い・清掃 |
| 3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加 |
| 4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき |
| 5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援 |
| 6. 寄附や募金 |
| 7. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加 |
| 8. 街路樹柵への花植えなど地域の緑化活動への参加 |
| 9. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認 |
| 10. 健康づくり活動への参加、病気を抱える人・高齢者・障がい者・要介護者への支援など、保健、医療、福祉の増進に関する取組 |
| 11. リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組 |
| 12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加など、子どもの健全育成に関する取組 |
| 13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承 |
| 14. 防災訓練への参加 |
| 15. 上記以外で、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等、市民まちづくり活動団体が行う活動への参加 |
| 16. その他（具体的に： _____) |
| 17. 参加・活動していることはない |

札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆様に参加していただけるように努めているところです。

問 11 札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

(1) あなたは、説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(2) あなたは、パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）に意見を提出したことがありますか。

1. 意見を提出したことがある 2. 知っているが意見を提出したことはない 3. 知らない

(3) あなたは、シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(4) あなたは、ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(5) あなたは、審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募に応募したことがありますか。

1. 応募したことがある 2. 知っているが応募したことはない 3. 知らない

問 12 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
2. 関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい
3. 関心はあるが、参加したいとは思わない
4. 関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
5. 関心がなく、参加したいとは思わない
6. わからない

問 13 あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
2. 参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
3. 参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
4. 意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
5. わからない
6. 必要ない

問 14 札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹・友好都市^{※1}をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流^{※2}等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

1. 関心がある
2. どちらかと言えば関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心が無い

問 15 あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの修正などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

1. ウオーキング、散歩 (健康づくりを意識した階段の上り下りなどを含む。)	2. ランニング（ジョギング、マラソン）
3. 自転車、サイクリング	4. トレーニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む）
5. 体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操などを含む）	6. なわとび
7. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなどを含む）	8. 登山、ハイキング（オリエンテーリングなどを含む）
9. フリークライミング、ボルダリング	10. 陸上競技
11. スキー	12. スノーボード
13. スケート	14. カーリング
15. アイスホッケー	16. その他のウィンタースポーツ (具体的に：)
17. キャンプ、海水浴	18. 釣り
19. マリンスポーツ（ボート、スキューバダイビングなどを含む）	20. 水泳（水中ウオーキング、アクアエクササイズを含む）
21. 卓球	22. バドミントン
23. テニス、ソフトテニス	24. 野球（キャッチボールなどを含む）
25. サッカー、フットサル	26. バレーボール（ソフトバレーボールなどを含む）
27. バasketボール	28. ソフトボール
29. ドッジボール	30. ラグビー、タグラグビー
31. ボウリング	32. パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む。)
33. 弓道、アーチェリー、射撃	34. ゲートボール
35. ゴルフ（練習、シミュレーションゴルフなどを含む）	36. ローラースポーツ（スケートボード、インラインスケートなどを含む）
37. 武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）	38. その他 (具体的に：)
39. スポーツを行えなかった ⇒問 17 へ	40. スポーツをする気がなかった ⇒問 17 へ

<この設問は、問 15 で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にお聞きます。>

問 16 あなたが、問 16 で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 週に5日以上（年251日以上）	2. 週に3日以上（年151～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）	4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1～3日（年12日～50日）	6. 3ヶ月に1～2日（年4日～11日）
7. 年に1～3日	

問17 あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「15」だけに○をつけてください。

1. プロ野球	2. プロサッカー	3. プロバスケットボール
4. フットサル（Fリーグ）	5. マラソン	6. ゴルフ
7. 相撲	8. 格闘技	9. ラグビー
10. ウィンタースポーツ	11. その他のプロスポーツ（具体的に： ）	
12. アマチュアの野球（児童、学生を含む）	13. アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	
14. その他のアマチュアスポーツ（具体的に： ）	15. 直接には何も観戦しなかった	

問18 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。（1）から（3）までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「4. やや不満」「5. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること （事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く）				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由： ←]
(2) 安全で良質な水道水をお届けすること				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由： ←]
(3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報）				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由： ←]

問19 あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. お客さま対応の向上
2. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
3. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
4. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
5. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新
6. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
7. 環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用
8. 安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること
9. 特にない

「産業・活力」について

問 20 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

「低炭素社会・エネルギー転換」について

問 21 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水を切ってから生ごみを捨てている
2. 使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている
3. 食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている
4. 食べ残しをしないよう気をつけている
5. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
6. 電動生ごみ処理機を使用している
7. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている
（具体的に： _____）
8. 特に何もしていない

問 22 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいいます。空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性がもたらす様々な恵みにより支えられています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 知っていた
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

問 23 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 次世代自動車※1 | 2. 消費電力量見える化機器、HEMS※2 |
| 3. 太陽光発電 | 4. 太陽熱利用 |
| 5. ペレットストーブ、薪ストーブ | 6. エネファーム・コレモ（コージェネレーション※3） |
| 7. 地中熱ヒートポンプ | 8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機） |
| 9. エコジョーズ
（ガス式高効率給湯・暖房機） | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房
（電気式高効率給湯・暖房機） |
| 11. 導入しているものはない | |

※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) 次のエコライフの取り組みのうち、あなたが常々実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）
5. 衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを開けて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
10. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）
13. 車の減速時はエンジンブレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る
21. 実践しているエコライフの取り組みはない
22. 車を運転する機会がない

「戦略を支える都市空間」

問 24 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | |

問 25 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | 6. 利用しない |

最後にあなたご自身のことについてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢は（平成 31 年 2 月 1 日現在）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～64 歳 | 7. 65～69 歳 | 8. 70 歳以上 |

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 2. 北区 | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区 |
| 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区 | 10. 手稲区 |

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、2月22日（金）までに投函してください。